

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
市民部人権男女共同参画課	ワーク・ライフ・バランス推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	性別にかかわらずなく、誰もが自身が望むワーク・ライフ・バランスを実現し、活躍することができるまちをめざす。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		男性の育児休業取得率（％）	46.0	50	78	78
		男性の育児・介護休業に肯定的な市民（％）	81.7	87.5	90	90
	目標（何を達成するのか） ・男性の家事・育児・介護等への参画促進に向けた市民意識の醸成、並びに男性の育児休業取得率の向上をめざす。 ・官民一体となって、誰もが仕事と家庭生活を両立し、活躍することができる職場づくりを推進する。	まつえWLB推進ネットワーク加入事業所数	182	192	202	202

事業概要	・既存の市の取組である市民向け各種講座や、「まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク※」との連携により、企業と市民それぞれに向けた効果的な意識啓発を展開する。 ・働きやすく働きがいのある職場づくりへの意識醸成を図るため、市内事業所に向けた「まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク」への加入促進及び啓発事業や研修会を行う。 ※まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク 経済界、労働界、教育機関、行政が共同で行った「まつえワーク・ライフ・バランス推進宣言」に賛同し、ワーク・ライフ・バランス推進に積極的に取り組む事業所が会員となっており、R7.1.23現在で182事業所が加入している。 (数値目標の目標年度) 「男性の育児休業取得率(%)」：2029(R11)年度 「男性の育児・介護休業に肯定的な市民(%)」：2026(R8)年度
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○男性の家事・育児等への参画促進 ・啓発ポスターの展示、各種イベントでのパネル展示を行った。 ・各種情報誌を活用した啓発、男性向け講座を実施した。 ○誰もが働きやすい職場環境づくり ・育児、介護等と仕事の両立に対する職場内の理解を深め、働きやすい職場環境づくりを進めることを目的としたセミナーを開催した。	○男性の家事・育児等への参画促進 ・男性の家事・育児参画促進に向けた連続セミナーの実施 ・啓発ポスターの展示、各種イベントでのパネル展示 ・各種情報誌を活用した啓発の実施 ○誰もが働きやすい職場環境づくり ・仕事と介護の両立支援に向けた連続セミナーの実施 ・まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク加入促進	○男性の家事・育児等への参画促進 ・啓発ポスターの展示、各種イベントでのパネル展示 ・各種情報誌を活用した啓発、男性向け講座の実施 ○誰もが働きやすい職場環境づくり ・各種セミナーの実施 ・まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク加入促進
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

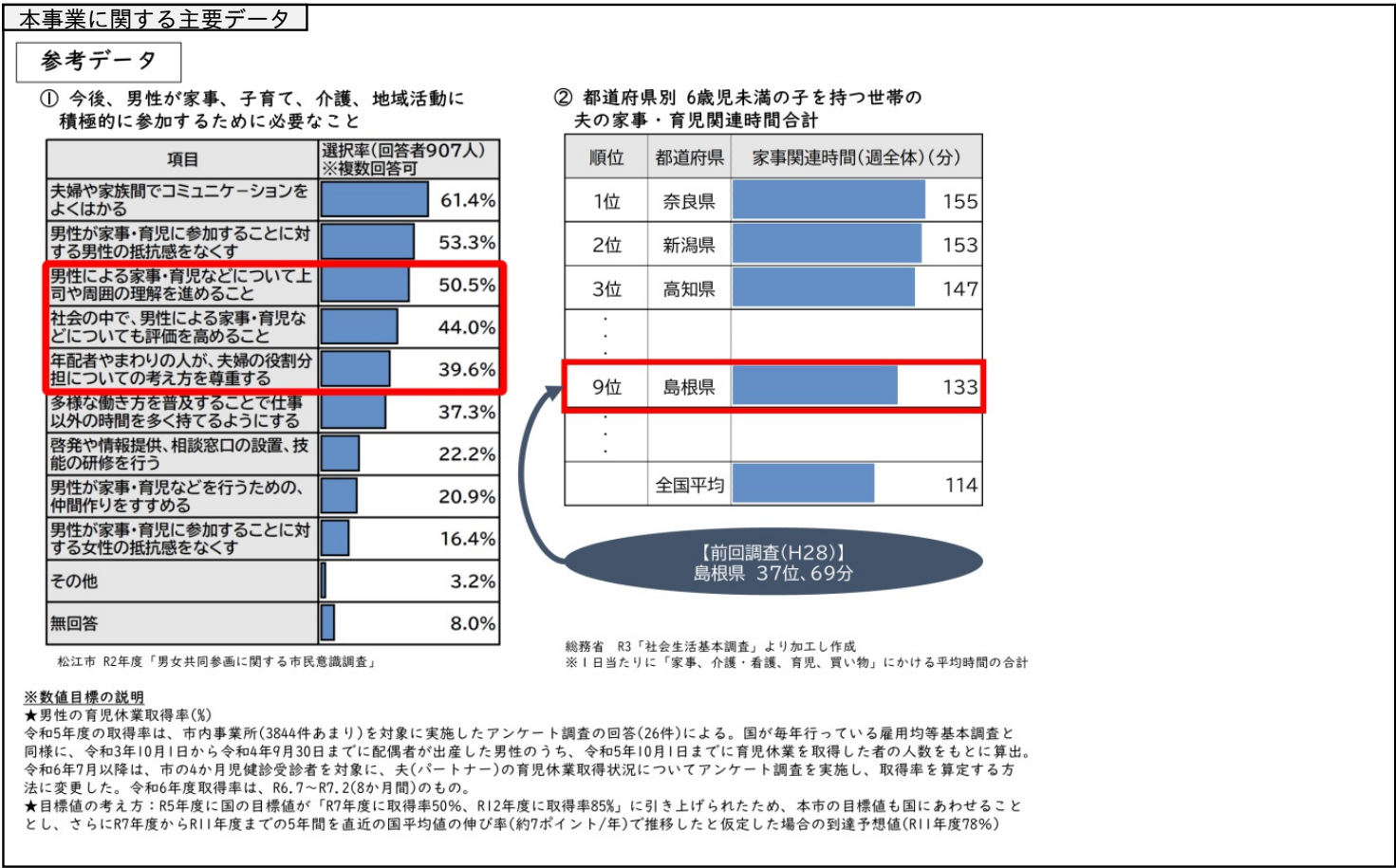
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		1,433
	国・県支出金		506
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	927
歳入合計		0	1,433

課題	・R2年実施の市民意識調査では、「男性の育児・介護休業取得に肯定的な市民の割合」が82.8%と高い結果となった一方で、上司や同僚等に迷惑をかけることへの遠慮や収入面の不安などから育休を取得しない男性も多い。 ・ワーク・ライフ・バランスを実現していくに当たっては、職場環境の改善や意識改革など課題が多岐に渡るため、まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワークをはじめ、国・県などの関係機関と連携し、取組みを進めていく必要がある。	方向性 ・男性が家事・育児等に参画するためには、男性本人の意識だけでなく、その男性を取り巻く経営者・上司・同僚・家族・地域住民といった全ての市民の理解が必要となる。引き続き、男性の家事・育児等への参画に理解を示し、応援するような市民意識の醸成に向けた意識啓発を全市に展開していく。 ・誰もが様々なライフイベントと仕事を両立し、健康に働き続けることができる職場づくりに向けて、各種制度の情報提供やセミナー等による意識啓発を進める。
----	---	--

市民部人権男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	ワーク・ライフ・バランスの推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	まつえWLB推進ネットワークへの加入促進	10月～11月	仕事と介護の両立支援セミナーの開催
	4月～3月	各種情報誌等を通じた意識啓発、情報提供	10月	情報誌「プリエール」特別号発行
	5月	まつえWLB推進ネットワーク総会	11月	「働き方改革」の啓発活動（懸垂幕の掲出等）
	8月～9月	男性の家事・育児参画促進セミナーの開催		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	54		
需用費	193		
役務費	222		
委託料	956		
使用料及び賃借料	8		
事業費計		1,433	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども政策課	子育てAⅠコンシェルジュ事業費・子育て情報発信強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・子育てと仕事の両立の困難さを解消する。 ・子育てに困っても誰にも相談できない「ワンオペ育児」を解消する。 ・松江市の子育て支援策等をよりわかりやすく市民へ伝える。	項目（成果指標） 子育て支援策の満足割合（％）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	AIコンシェルジュ利用者の満足割合（％）	85.9	88	88	88
	子育てに関する悩みや疑問について24時間相談できる環境を整備する。 子育てに関する情報発信を行い、支援策等の浸透を図る。	AIコンシェルジュ登録者数（人）	2,952	3,500	4,000	4,000

事業概要	子育てに関する疑問や悩みをLINEで24時間いつでも相談できる環境を提供する。また、登録者に対し子育てに関する情報発信を定期的に行い、支援策等の浸透を図る。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<子育てAIコンシェルジュ事業> ・相談機能の精度向上 ・母子健康手帳発行時に市役所の各種窓口にてチラシを配布 ・子育て情報及び庁内他課からの情報を配信 ・利用者アンケートを実施 <子育て情報発信強化事業> ・松江の子育て施策のイメージ向上のため、子育て情報発信キャラクターによる動画を作成	<子育てAIコンシェルジュ事業> ・相談機能の精度向上を図る。 ・母子手帳発行時に市役所の各種窓口にてチラシを配布する。 ・子育て情報及び庁内他課からの情報を配信する。 ・利用者アンケートを実施する。 <子育て情報発信強化事業> ・R7年度に作成した動画を市内各園に配布し、こどもや保護者にキャラクターの浸透を図ることで、松江の子育て施策のイメージ向上につなげる。	<子育てAIコンシェルジュ事業> <子育て情報発信強化事業> ・相談機能の精度向上を図る。 ・母子手帳発行時に市役所の各種窓口にてチラシを配布する。 ・子育て情報及び庁内他課からの情報を配信する。 ・利用者アンケートを実施する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,375	3,375
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,691	1,687
	一般財源	1,684	1,688
歳入合計		3,375	3,375

課題	・より多くの情報発信及び相談機能のより高い回答精度が求められている。 ・子育て支援策のわかりやすい情報提供が求められている。	方向性	・子育てAIコンシェルジュの相談機能の精度向上と情報発信の充実を図るとともに、利用者を増やすための周知啓発を行う。 ・わかりやすい内容となるよう、ホームページの更新を行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	子育てAIコンシェルジュ事業・子育て情報発信強化事業
第3次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	11月	サポートEXの実施	随時	子育てに関する情報発信
	12月	利用者アンケートの実施		
	3月	次年度へ向けてFAQの見直し		
	随時	相談機能FAQの追加・修正		

本事業に関する主要データ

<子育てAIコンシェルジュ事業>

【令和6年度 AIコンシェルジュ利用者アンケートより】

<子育て情報発信強化事業>

【松江市ホームページ】

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,177		
使用料及び賃借料	198		
事業費計			3,375

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部子育て給付課	子ども医療費助成

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもの疾病の早期発見及び早期治療を促進し、もって子どもの健全な育成及び安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを促進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	子育て世代の経済的負担の軽減 子どもの健全育成					

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度
	①0歳～中学3年生までの通院、入院及び薬局等に係る健康保険自己負担分の全額を助成 ・県制度に上乗せ・拡大助成（市独自事業） ②高校生年代の通院、入院に係る健康保険自己負担分の一部を助成（市単独事業） 自己負担額（1ヶ月・1医療機関） 通院：1割（上限1,000円） 入院：1割（上限2,000円） 薬局等：無料 ③高校生～20歳未満（慢性呼吸器疾患等16疾患群該当者で一定の要件を満たす者）の入院に係る健康保険自己負担分の一部を助成 ・県制度に上乗せ（市独自事業）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	医療費助成を継続 県制度へ上乗せ・拡大助成 ・中学3年生まで自己負担無料 ※R6年4月から中学生の通院費も自己負担無料	医療費助成を継続 県制度へ上乗せ・拡大助成 ・中学3年生まで自己負担無料 ・助成対象年齢を高校生年代まで拡大 自己負担額(1ヶ月・1医療機関) 通 院：1割(上限1,000円) 入 院：1割(上限2,000円) 薬局等：無料 ・拡大対象者数 約5,500人	医療費助成を継続 県制度へ上乗せ・拡大助成 ・中学3年生まで自己負担無料 ・高校生年代 自己負担額(1ヶ月・1医療機関) 通 院：1割(上限1,000円) 入 院：1割(上限2,000円) 薬局等：無料
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		903,184	993,891
財源内訳	国・県支出金	313,585	402,575
	地方債		
	その他	38,879	44,565
	一般財源	550,720	546,751
歳入合計		903,184	993,891

課題	・子育て環境における「医療費」に関する市民の関心は高い。 ・助成内容については自治体間で差異があり、近年、助成対象範囲は拡大傾向にある。 ・子ども医療費助成は国を挙げた取組が必要である。	方向性	・子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てながら住み続けていただくために子ども医療費助成を継続して実施する。 ・子育てしやすい社会の実現のため子育て環境の改善のひとつである子ども医療費助成について地域間格差が生じないように引き続き国県に対し要望していく。

こども子育て部子育て給付課 子ども医療費助成

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	子ども医療費助成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	申請受付、医療費助成		

本事業に関する主要データ				
◆1か月・1医療機関あたりの保険診療医療費個人負担額				
区分	所得制限	入院	通院	薬局
0歳～小学6年生	なし	無料	無料	無料
中学1年生～3年生	なし	無料	無料 (R6年4月～)	無料
高校生年代 ※R7年4月から助成対象	なし	1割 (上限2,000円)	1割 (上限1,000円)	無料
高校卒業～20歳未満 (16疾患群)	なし	1割 (上限2,000円)	助成対象外	助成対象外
◆対象者数実績（3月末）（単位：人）				
区分	R2	R3	R4	R5
0歳～就学前	11,293	10,863	10,595	10,092
小学1年生～6年生	10,883	10,857	10,891	10,786
中学1年生～3年生	20	87	116	157
高校1年生～20歳未満(16疾患群)	0	0	0	1
合計	22,196	21,807	21,602	21,036

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,872		
職員手当等	1,620		
共済費	944		
旅費	20		
需用費	466		
役務費	28,852		
扶助費	958,117		
事業費計		993,891	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	訪問型子育てサポート事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子育て中の親の孤立防止と育児の悩みや不安を緩和し、安心してこどもを産み育てられる環境づくりをすることで、こどもの健やかな育ちを支える。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		利用件数（件）	550	600	600	600
		子育てホームサポーターの数（人）	71	89	92	100
	目標（何を達成するのか）	子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80

事業概要	（数値目標の目標年度） 利用件数、子育てホームサポーターの数、子育て支援策の満足割合（こども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度
	妊娠中や就学前の子育て家庭で一時的に支援が必要な時に、市が委託した事業所から、子育てホームサポーターを利用者の自宅に派遣して、有償で家事援助やこどもの世話などの支援を行う。 〈実施事業所〉 公益社団法人 松江市シルバー人材センター 特定非営利活動法人 ケアサービス松江 有限会社 まごころサービス松江センター

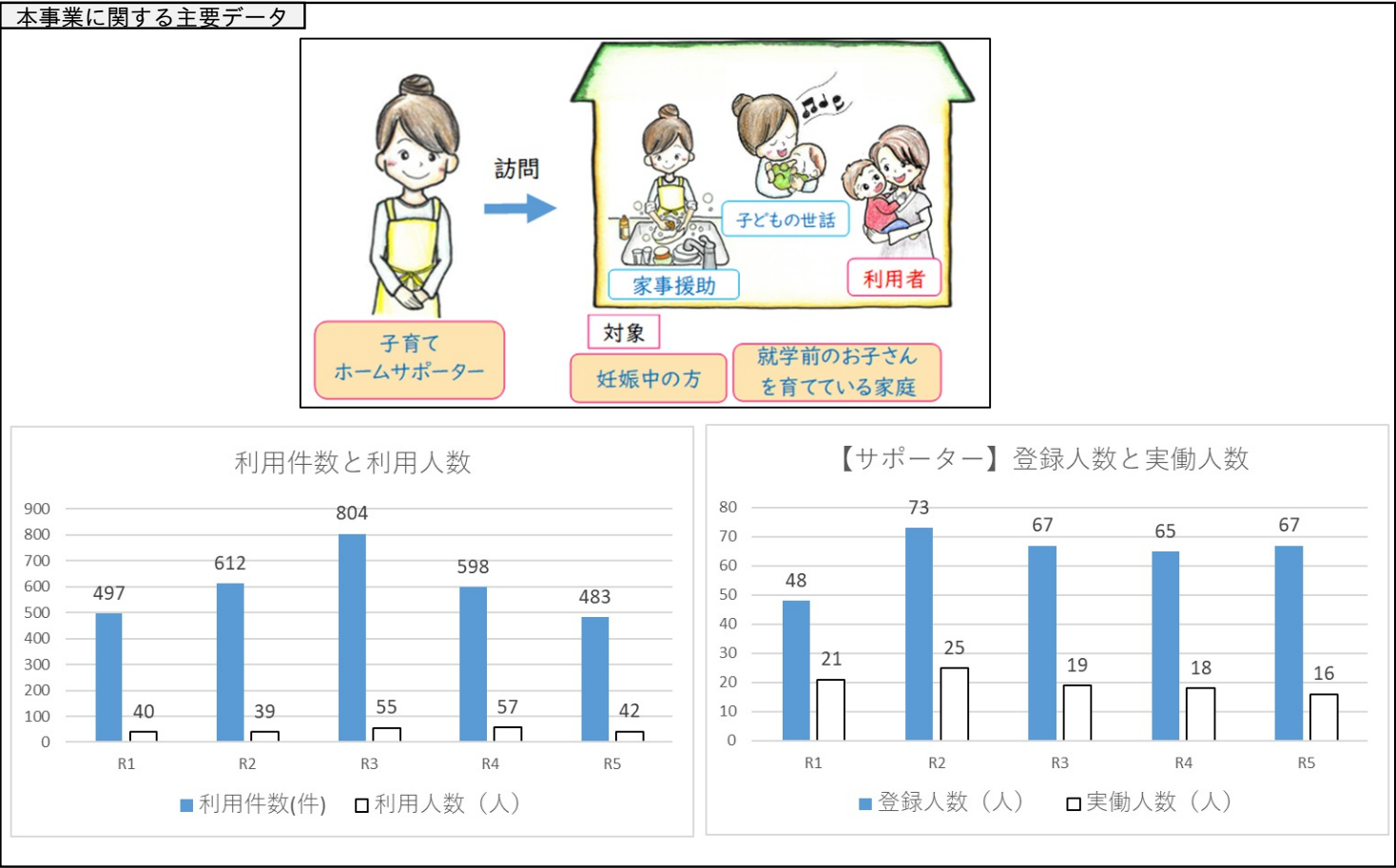
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・事業所に事業を委託し、妊娠中や子育て中の家庭に子育てホームサポーターの派遣を実施 ・多くの親子が利用できるよう、母子手帳アプリ「母子モ」やAIコンシェルジュ等を活用し、周知活動を行った。 ・市報や市ホームページ、子育て自主サークル、ファミリーサポートセンター等で事業や事業所、子育てホームサポーター募集等の周知を行った。	・事業所に事業を委託し、妊娠中や子育て中の家庭に子育てホームサポーターの派遣を行う。 ・多くの親子が利用できるよう、より効果的な周知活動を行う。 ・利用者の利便性を高めるため、登録方法等の検討を行う。	・事業所に事業を委託し、妊娠中や子育て中の家庭に子育てホームサポーターの派遣を行う。 ・多くの親子が利用できるよう、より効果的な周知活動を行う。 ・利用者の利便性を高めるため、登録方法等の検討を行う。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	750	1,013
	国・県支出金	240	506
	地方債		
	その他		
	一般財源	510	507
歳入合計		750	1,013

課題	・事業内容や利用方法が分かりにくい。	方向性	・母子手帳アプリ「母子モ」やAIコンシェルジュ等も活用し、周知活動を行うとともに、利用者の利便性を高めるため、登録方法等の検討を行う。 ・子育て支援センターの各種講座や子育て自主サークル、民間事業者、ファミリーサポートセンター（まかせて会員、おねがい会員等）と連携して、事業の紹介やサポーター募集の呼びかけを行い、利用者及びサポーターの増に繋げる。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	訪問型子育てサポート事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	サービスの提供		
	通年	サポーター認定		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	59		
役務費	78		
委託料	780		
負担金補助及び交付金	96		
事業費計		1,013	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	産前・産後ケア推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境をつくる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		健診時にうつ気分がない人の割合（％）	74.5	81	82	85
	目標（何を達成するのか）	子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	妊産婦への相談支援並びに退院後の母子への心身のケア、育児支援を行い、育児不安・育児負担の軽減を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 健診（4か月児健診）時にうつ気分がない人の割合：2029(R11)年度、子育て支援策満足割合（こども1人以上、40代まで）：2029(R11)年度
	1. 妊娠期支援（プレパパ・プレママ教室） 妊娠・出産に対する意識を高めることができる場を提供する。
	2. 産後ケア事業 産後1年未満の母親と乳児で、産後に心身の不調や育児不安等がある方に対して助産師が心身のケアや育児支援等を行う。 3. 多胎児養育家庭サポート事業 多胎児家庭への家事援助や育児サポート等を行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	1. 妊娠期支援 プレパパ・プレママ教室を実施（年12回×10組） 2. 産後ケア事業 通所型(委託先6カ所)、訪問型、宿泊型(委託先2カ所)、温泉型(委託先5カ所)を実施 3. 多胎児養育家庭サポート事業 通年実施	1. 妊娠期支援 プレパパ・プレママ教室を実施（年8回×15組） 2. 産後ケア事業 通所型(委託先8カ所)、訪問型、宿泊型(委託先2カ所)、温泉型(委託先6カ所)を実施。 新たに集団型(委託先1カ所)を開始。 3. 多胎児養育家庭サポート事業 通年実施	1. 妊娠期支援 プレパパ・プレママ教室を実施（年8回×15組） 2. 産後ケア事業 通所型(委託先9カ所)、訪問型、宿泊型(委託先2カ所)、温泉型(委託先6カ所)を実施。 集団型(委託先1カ所)を開始。 3. 多胎児養育家庭サポート事業 通年実施
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	33,906	46,635
	国・県支出金	22,672	31,500
	地方債		
	その他	3,693	4,541
	一般財源	7,541	10,594
歳入合計		33,906	46,635

課題	・産後ケアは、対象月齢の引き上げや利用日数の拡充に伴い利用者が増えており、希望日時にケアを受けられないことがある。 ・宿泊型は利用者増に加え、1回の利用時間（31時間）が長く施設スタッフの負担が増えている。 ・周産期の子育て支援施策として父親へのアプローチが弱い。	方向性	・委託施設の拡充に向け、引き続き公募や関係機関への働きかけ等を行う。 ・宿泊型の利用時間や利用料等の見直しを行う。 ・同時に複数の利用者へ対応できる集団型産後ケアを実施する。 ・温泉型に父親の参加（自費）も認めるとともに、政策モニターへの協力を依頼する。

こども子育て部こども家庭支援課 産前・産後ケア推進事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	産前・産後ケア推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年8回	プレパパ・プレママ教室実施	通年	産後ケア事業（温泉型）の実施
	通年	産後ケア事業（デイサービス型）の実施	月1回	産後ケア事業（集団型）の実施
	通年	産後ケア事業（訪問型）の実施	通年	多胎児養育家庭サポート事業の実施
	通年	産後ケア事業（宿泊型）の実施		

本事業に関する主要データ					
出生数の推移（住基異動受付集計表より）					
年 度	R1	R2	R3	R4	R5
出生数(人)	1,545	1,492	1,473	1,409	1,282
周産期医療機関からの妊婦・褥婦連絡票の推移(件)					
年 度	R1	R2	R3	R4	R5
妊 婦	21	41	35	25	23
褥 婦	175	216	190	206	175
多胎児の妊娠届出件数の推移（件）					
年 度	R1	R2	R3	R4	R5
多胎児の妊娠届出件数	18	22	23	28	21
産後ケア事業の利用延数の推移					
種 類	R1	R2	R3	R4	R5
通所型(件)	4	11	433	707	856
訪問型(件)	－	－	61	152	82
宿泊型(日)	－	－	－	105	379
母のエジンバラ（※1）の状況（赤ちゃん訪問時）					
年 度	R1	R2	R3	R4	R5
実 施 数(件)	1,410	1,301	1,331	1,320	1,205
9点以上の数(件)	78	82	51	70	47
9点以上の割合(%)	5.5	6.3	3.8	5.3	3.9
※1エジンバラ産後うつ病質問票(EPDS):産婦を対象として、産後うつ病をスクリーニングするために開発された質問票。合計30点中、9点以上をうつ傾向としてスクリーニングする。					

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,112	委託料	37,196
職員手当等	810		
共済費	487		
報償費	5,603		
旅費	20		
需用費	121		
役務費	286		
事業費計		46,635	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部保育所幼稚園課	医療的ケア児支援事業費（公立）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	医療的ケア児が保育施設において心身の状況に応じた適切な支援を受けられるようにすることにより、医療的ケア児の日常生活支援の向上と、その家族の離職の防止を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		受け入れ件数（件）	1	2	2	3
	目標（何を達成するのか）					
	医療的ケア児を公立及び私立の保育施設で受け入れるための体制や環境を整備し、適切かつ安全に保育を提供する。					

事業概要	医療的ケア児を公立保育施設で受け入れるために配置する看護師等の人件費等。 令和7年度予定：公立保育所等2名 （令和7年度要求から私立保育所等での受け入れは特別保育事業費に計上） 財源：保育対策総合支援事業費補助金医療的ケア児保育支援事業（補助率：国2/3 ※嵩上げを見込んだもの） ※令和7年度要求より科目名称変更（医療的ケア児支援事業費→医療的ケア児支援事業費（公立分））
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	幼保園1園で医療的ケア児を受け入れた。	公立保育所等2園で医療的ケア児を受け入れる。	公立保育所等2園で医療的ケア児を受け入れる。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		19,452
	国・県支出金		7,053
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	12,399
歳入合計		0	19,452

課題	医療技術の進歩に伴い、医療的ケア児が増加しており、医療的ケア児の保育ニーズが高まっている。 。医療的ケア児及びその保護者の意思を最大限に尊重し、各児の心身の状況に応じた適切な支援が受けられるよう、また医療的ケア児がその他の児童と共に保育や教育を受けられるよう、市は受入体制を構築し、関係機関が連携していく必要がある。	方向性	関係機関と密に連携をとりながら、今後の安定した受け入れ態勢の構築を目指す。
----	---	-----	---------------------------------------

こども子育て部保育所幼稚園課 医療的ケア児支援事業費（公立）

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	医療的ケア児保育事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	令和7年4月	医療的ケア児（継続）受入		
	受入以降随時	必要に応じて既受入児に関するケース会議を開催		
	随時	新たな受入希望があった場合、必要に応じてケース会議を開催		

本事業に関する主要データ							
医療的ケア児の状況（各年度3月末現在こども家庭支援課で把握している事案）（人）							
年度	1歳未満	1~2歳	3~4歳	5~6歳	7~12歳	13歳以上	計
R4	3	7	6	6	13	13	48
R5	4	1	3	2	11	11	32
R6	0	6	2	2	12	8	30

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	11,849		
職員手当等	4,544		
共済費	2,871		
旅費	120		
需用費	68		
事業費計		19,452	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	児童虐待予防対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	児童虐待の発生予防と発生時の適切な支援を行うことにより、全ての児童が地域において心身ともに健やかに成長することを目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		要保護児童人数(人)【4～3月】	527	339	330	305
	目標（何を達成するのか）	子育て支援策の満足割合(%)	61.95	80	80	80
	地域の理解、協力を得ながら、児童・家族及び関係機関からの相談・通告に対応するとともに、関係機関と連携して児童虐待の発生予防・早期発見・早期支援を行う。	親子関係形成支援を行う児童実人数(人)		10	10	30

事業概要	(数値目標の目標年度) 要保護児童人数【4～3月】:2029(R11)年度、子育て支援策の満足割合(こども1人以上、40代まで):2029(R11)年度、親子関係形成支援を行う児童実人数:2029(R11)年度
	令和5年4月に子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを統合した、こども家庭センターを設置し、家庭等からの相談を受けて、妊娠前から切れ目なく児童が心身ともに健やかに育成するための支援を行う。（児童福祉法第10条の2） また、児童虐待の通告窓口として（児童虐待の防止等に関する法律第6条）、調査・安全確認・相談等を行うとともに、松江市要保護児童対策協議会の調整機関として（児童福祉法第25条の2）要保護児童等（要保護児童・要支援児童・特定妊婦）の早期発見や適切な保護・支援を図ることを目的に、児童相談所等の関係機関と連携し、情報共有と支援内容の進行管理等を行う。 令和7年度からの新たな取組みとして、こどもとの関わり方に悩みを抱える保護者等に、講義やグループワーク、保護者同士の情報交換の場を設けるなどの支援を行う「親子関係形成支援事業」を実施する。

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	【要保護児童対策協議会】 代表者会議：1回 実務者会議：8回 個別事例検討会議：155回 【児童虐待防止セミナー】 実施回数：2回（計85人） 【出前講座】 実施回数：2回（計33人）		【要保護児童対策協議会】 代表者会議：1回 実務者会議：8回 個別事例検討会議：150回 【児童虐待防止セミナー】 実施回数：2回（計100人） 【出前講座】 実施回数：10回（計150人） 【親子関係形成支援事業】 実施回数：4回 （支援児童実人数10人）	【要保護児童対策協議会】 代表者会議：1回 実務者会議：8回 個別事例検討会議：150回 【児童虐待防止セミナー】 実施回数：2回（計100人） 【出前講座】 実施回数：10回（計150人） 【親子関係形成支援事業】 実施回数：4回 （支援児童実人数10人）
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

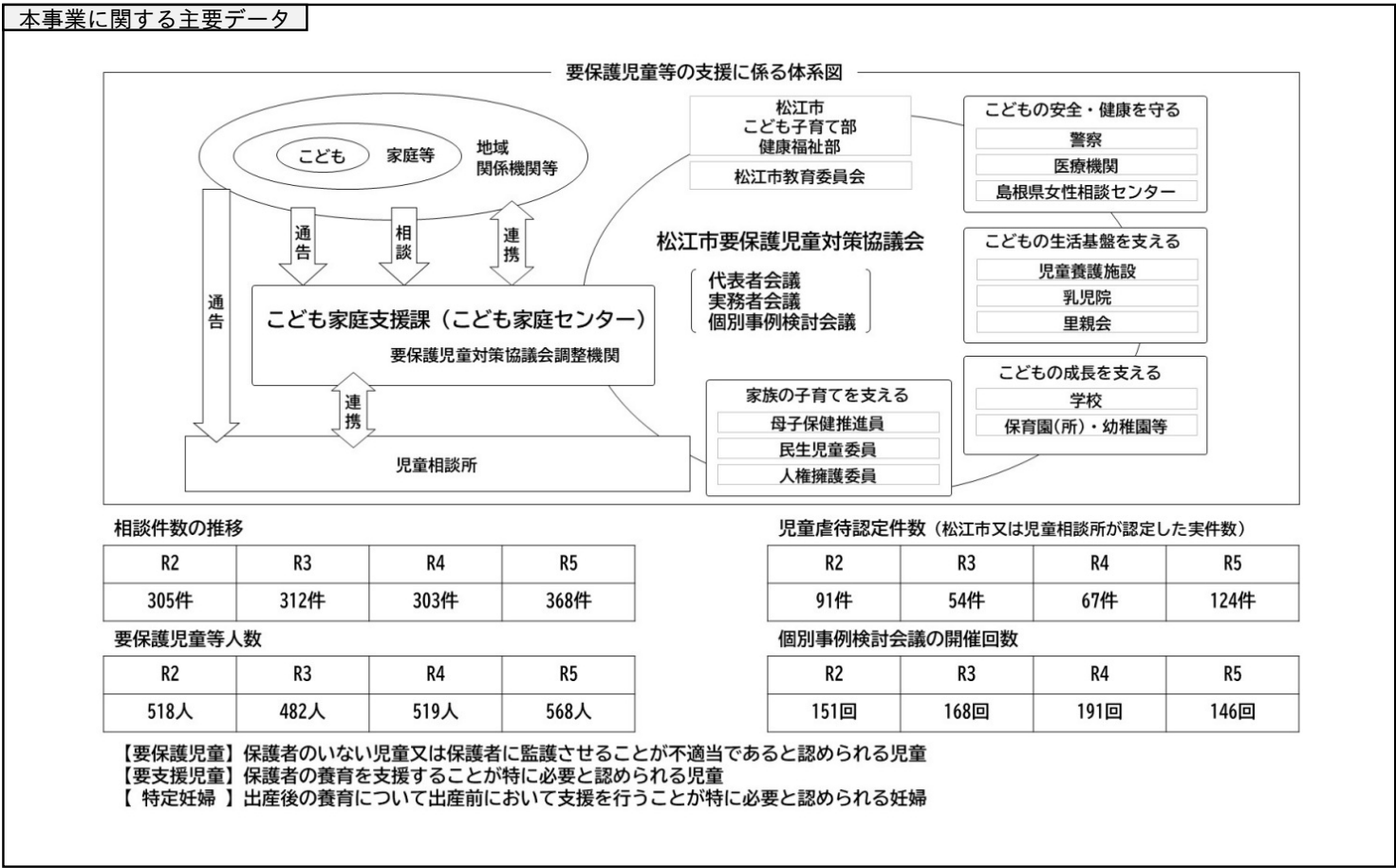
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		10,855	11,627
財源内訳	国・県支出金	9,017	9,644
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,838	1,983
歳入合計		10,855	11,627

課題	・支援を要するこどもや家庭についての相談が増えている。 ・保護者が抱える育児やしつけに関する悩みなどが、児童虐待の発生につながる場合がある。 ・複雑・多様化する児童相談及び児童虐待に対応するため職員の専門性が求められている。	方向性	・相談者の意向を踏まえたサポートプラン（支援計画）作成とヘルパー利用等、具体的な支援を提供する。 ・親子関係形成支援事業の実施により、こどもとの関わり方に悩む保護者等を支援し、虐待の未然防止を図る。 ・各種研修により職員のスキルアップを行う。

こども子育て部こども家庭支援課 児童虐待予防対策事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	子ども家庭総合支援拠点の機能強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	要保護児童対策協議会 代表者会議	11月	オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン
	6月～1月	要保護児童対策協議会 実務者会議	通年	出前講座
	通年	要保護児童対策協議会 個別事例検討会議	9月～10月	親子関係形成支援事業
	11月	児童虐待防止セミナー①	未定	児童虐待防止セミナー②



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	6,555	公課費	7
職員手当等	2,496		
共済費	1,548		
報償費	280		
旅費	179		
需用費	274		
役務費	288		
事業費計		11,627	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部子育て給付課	不妊治療費助成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	妊娠・出産を願う夫婦の希望を叶え、出生数の増加につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	不妊治療（一般不妊治療、生殖補助医療、先進医療）を受けている夫婦に対し、当該治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図り、治療を受けやすい環境をつくる。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度
	令和7年4月より、「このとり縁結び補助金」及び「特定不妊治療費助成事業」を廃止し、新たに「不妊治療費助成事業」を創設する。 ・対象者 松江市内に住所のある者（夫または妻の一方でも可、事実婚も含む）かつ医療保険各法の規定に基づく被保険者、組合員または被扶養者並びに松江市税の滞納がない者 【保険適用で一般不妊治療を実施した場合】 ○助成額 1年目上限60千円 2年目上限45千円 ○助成期間 2年間（妊娠特例あり） 【保険診療外で生殖補助医療を実施した場合】 ○助成額 1回上限300千円（ただし、採卵を伴わない治療の場合は上限100千円） ○助成回数 初回の申請にかかる治療の開始時点での妻の年齢が40歳未満であれば通算6回まで、40歳以上であれば通算3回まで 【保険診療で生殖補助医療を行い、あわせて先進医療を実施した場合】 ○助成額 1回の治療につき上限50千円 ○助成回数 回数制限なし

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	【参考】 ・このとり縁結び補助金 交付件数 175件 交付額 7,577千円 ・特定不妊治療費助成 助成件数 260件 助成額 19,974千円		新たに「不妊治療費助成事業」として 実施する。 ・一般不妊治療 185件／6,795千円 ・生殖補助医療 51件／10,856千円 ・先進医療 367件／14,568千円		助成事業を継続する。 ・一般不妊治療 185件／6,795千円 ・生殖補助医療 51件／10,856千円 ・先進医療 367件／14,568千円	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		33,020
	国・県支出金		12,712
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	20,308
歳入合計		0	33,020

課題	不妊治療費助成に係る助成内容について、より効果的に周知を図る必要がある。	方向性	妊娠・出産を希望する夫婦の不妊治療に係る環境整備に努める。

こども子育て部子育て給付課 不妊治療費助成事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	不妊治療助成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	申請受付、助成金交付		

本事業に関する主要データ									
不妊治療助成実績									
(単位：件、千円)									
事業名	R2		R3		R4		R5		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
このとり縁結び補助金 （一般不妊治療）	243	12,560	255	13,309	197	10,277	215	8,931	
特定不妊治療費助成事業 （生殖補助医療／先進医療）	298	59,688	370	84,437	274	28,973	422	25,275	
計	541	72,248	625	97,746	471	39,250	637	34,206	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	93		
役務費	85		
委託料	523		
備品購入費	470		
扶助費	31,849		
事業費計		33,020	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども政策課	保育所施設整備事業費補助金（交付金事業）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	安心して子どもを生み、育てられる環境を整備する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	待機児童数（4月1日時点）（人）	0	0	0	0
	民間保育所等の施設整備を推進し、待機児童の受け皿を確保するとともに、安全・安心な保育環境を整備する。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合(子ども1人以上、40代まで)：2029(R11)年度 保育所、認定こども園等の改築、修繕等の整備に要する経費の一部を補助。 国の就学前教育・保育施設整備交付金を活用。 ●事業費負担割合 保育提供体制の確保のための実施計画の採択を受けている市町村の「待機児童対策」「人口減少対策」「乳児等通園支援事業所に係る整備」（創設、増築、増改築、改築及び老朽民間児童福祉施設整備に限る）の場合：国2/3、市1/12、事業者1/4 上記以外の場合：国1/2、市1/4、事業者1/4
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・4月1日時点待機児童数0名 ・国の交付金の予算不足の影響により予定していた事業実施を見送ったため実績なし	令和6年度実施予定であった大規模修繕事業3件の事業を実施に対し補助を行う。	保育所等施設整備検討委員会を開催し、令和8年度の補助対象とする施設整備について決定する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	0	223,597
	国・県支出金	0	149,065
	地方債	0	70,700
	その他		
	一般財源	0	3,832
歳入合計		0	223,597

課題	築30年以上になる民間保育施設が増えてきており、改築や大規模な修繕が必要な施設が多く存在する。	方向性	老朽化に伴う改築及び大規模修繕に対して適切に補助を行う。
----	---	-----	------------------------------

こども子育て部こども政策課 保育所施設整備事業費補助金（交付金事業）

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	保育所等整備事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	第1次国交付金内示	10月	保育所等施設整備検討委員会
	6月	第3次国事前協議	3月	実績報告
	8月	第3次国交付金内示		
	4月～3月	工事着工～竣工		

本事業に関する主要データ														
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 予定	合計
創 設	0 件	0 件	0 件	1 件	3 件	1 件	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	7 件
増改築等	2 件	1 件	1 件	1 件	2 件	1 件	1 件	1 件	0 件	1 件	1 件	1 件	0 件	13 件
大規模修繕	2 件	1 件	2 件	1 件	2 件	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件	7 件	0 件	3 件	20 件
定員増(人)	30	20	30	30	205	80	33	37	0	0	11	0	0	476

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	223,597		
事業費計		223,597	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども政策課	私立保育所年度中途児童受入対策事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	年度中途の待機児童を解消するため。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	年度末待機児童数（人）	6	0	0	0
	年度中途に児童の受け入れが可能となるよう、予め保育士の確保を行う。					
		年度中途の入所枠確保数（枠）	276	258	258	

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合（子ども1人以上・40代まで）80％：2029（R11）年度
	年度中途における保育所入所待機児童を解消し、子育て環境の向上を図るため、年度中途に児童を受け入れるための保育士を早期に確保した保育所に対し、当該保育士の雇用に要する経費の一部を補助する。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	①保育士確保数（114人） ②年度中途の入所枠（276枠）		①保育士確保数（107人） ②年度中途の入所枠（258枠） ※R7の計画値は過去3年実績（R4～R6）の平均		①保育士確保数（107人） ②年度中途の入所枠（258枠）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		67,795	63,396
財源内訳	国・県支出金	33,898	10,224
	地方債		
	その他	30,000	0
	一般財源	3,897	53,172
歳入合計		67,795	63,396

課題	本市の待機児童数は、令和2年度末50人、令和3年度末3人、令和4年度末20人、令和5年度末1人、令和6年度末6人であり、過去5か年の年度末時点の待機児童数の平均は16人である。今後、待機児童数の増加を抑え、待機児童数0人を実現するためには、多くの児童の受け入れが可能となるよう継続した保育士確保の取組が必要である。	方向性	待機児童が発生しないようにするために、保育士確保の取組を継続し、年度中途の受け入れ体制を整える。
----	---	-----	--

こども子育て部こども政策課 私立保育所年度中途児童受入対策事業費補助金

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	私立保育所保育士確保対策事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7～8月	交付申請書受付		
	3月	変更交付申請書受付		
	3月	実績報告書受付		

本事業に関する主要データ						
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画
①保育士確保数（人）	102	102	106	114	107	107
②年度中途の入所枠確保数（枠）	252	227	271	276	258	258
※②年度中途の入所枠確保数（枠）は数値目標になじまないため直近の3年間(R4～R6)の実績の平均を記載する。						
年度中途の入所枠確保数（枠） 252227271276258 R3実績R4実績R5実績R6実績R7計画 ②年度中途の入所枠確保数（枠）						
	R3年度末 実績	R4年度末 実績	R5年度末 実績	R6年度末 実績		
待機児童数（人）	3	20	1	6		
入所不承諾者数（人）	255	260	273	233		

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	63,396		
事業費計		63,396	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部保育所幼稚園課	保育料の軽減

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子育て世代の経済的負担の軽減を図り、安心して子供を産み育てることができる環境づくりを促進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	子育て世代の経済的負担の軽減				

事業概要	（数値目標の目標年度）子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029(R11)年度 【保育料軽減】 ・0～2歳の保育料を軽減　．．．　国基準の約6割 【多子軽減】 ・同一世帯内の第3子以降　．．．　保育料を無償 ・低所得の子育て世帯の第2子　．．．　保育料を半額 ・兄弟姉妹同時入所　．．．　2人目の保育料を半額 保育料の世帯上限額を設定
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・保育料を国基準の概ね6割程度に軽減する。 ・生計を一にする兄弟が2人以上いる子どもの保育料無償化を継続する。		・保育料を国基準の概ね6割程度に軽減する。 ・生計を一にする兄弟が2人以上いる子どもの保育料無償化を継続する。	・保育料を国基準の概ね6割程度に軽減する。 ・生計を一にする兄弟が2人以上いる子どもの保育料無償化を継続する。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	保育料軽減は、国・県・市が財源を負担することで行っているが、今後も継続するためには財源の確保が必要である。	方向性	継続して財源が確保できるよう引き続き国・県に要望していく。
----	---	-----	-------------------------------

こども子育て部保育所幼稚園課 保育料の軽減

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	保育料の40％軽減

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ

○保育料軽減（0～2歳児）

	国基準	【上乗せ】松江市基準
保育料	所得に応じて8階層	所得に応じて16階層
	0円～104,000円	0円～60,000円（おおよそ6割程度に軽減）

公費負担額

利用者負担額

国負担(1/2)

県負担(1/4)

市負担(1/4)

市負担約3割

県負担約2割

○多子軽減による保育料無償化の対象者

	対象	国基準	【上乗せ】松江市基準
1号	満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、2号認定子ども以外	副食費	小3以下の第3子以降
2号	満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、家庭において必要な保育を受けることが困難な者		就学前以下の第3子以降
3号	満3歳未満の小学校就学前の子どもであって、家庭において必要な保育を受けることが困難な者		
		保育料（給食費込）	同一世帯内の第3子以降（1子、2子の年齢制限なし）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	妊婦・乳児等健診事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	母子保健法第13条に基づき、疾病・障がいの早期発見、母子の健康維持・増進を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		妊婦健診受診率（％）	76.8	95	96	96
	目標（何を達成するのか）	乳児健診受診率（1か月児）（％）	95.9	98	99	99
	妊婦の安心・安全な出産、乳児の健康維持・増進、疾病・障がいの早期発見のため、妊婦健診14回、乳児健診2回の助成を行い、定期的な健康チェックの機会の確保と、経済的負担の軽減を図る。					
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80

事業概要	（数値目標の目標年度） 妊婦健診受診率:2029(R11)年度、乳児健診受診率(1か月児):2029(R11)年度、子育て支援策満足割合(こども1人以上、40代まで):2029(R11)年度
	妊婦の安心・安全な出産、乳幼児の健康保持・増進、疾病・障害の早期発見を目的とし、医療機関において健康診査を実施する事業。 財源：母子保健衛生費国庫補助金（国1／2、市1／2）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・妊婦の安心・安全な出産、乳児の健康保持・増進、疾病・障がいの早期発見のため、妊婦および乳児に対して必要な健康診査を実施する。 ・妊婦健診14回、乳児健診2回を助成し、経済的負担の軽減と定期的な健康チェックの機会を確保する。	・妊婦の安心・安全な出産、乳児の健康保持・増進、疾病・障がいの早期発見のため、妊婦および乳児に対して必要な健康診査を実施する。 ・妊婦健診14回、乳児健診2回を助成し、経済的負担の軽減と定期的な健康チェックの機会を確保する。 ・多胎妊婦を対象に、通常の妊婦一般健康診査14回分を超えて受診した妊婦健康診査費用を助成する「多胎妊婦健康診査費用助成事業」を開始する。	・妊婦の安心・安全な出産、乳児の健康保持・増進、疾病・障がいの早期発見のため、妊婦および乳児に対して必要な健康診査を実施する。 ・妊婦健診14回、乳児健診2回を助成し、経済的負担の軽減と定期的な健康チェックの機会を確保する。 ・多胎妊婦を対象に、通常の妊婦一般健康診査14回分を超えて受診した妊婦健康診査費用を助成する「多胎妊婦健康診査費用助成事業」を実施する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金		145,214
	地方債		4,183
	その他		
	一般財源	0	141,031
	歳入合計	0	145,214

課題	R6年度は、前年度に比べて妊婦健康診査受診率が低下している。	方向性	妊婦健康診査受診率低下の要因を把握するとともに、妊娠届け出時等に丁寧な説明と受診勧奨を行う。
----	--------------------------------	-----	--

こども子育て部こども家庭支援課 妊婦・乳児等健診事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	妊婦健診事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	妊婦一般健康診査		
	通年	乳児一般健康診査		

本事業に関する主要データ				
・妊婦一般健康診査実施状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診票発行数（枚）	20,930	20,272	18,732	17,780
利用数（枚）	17,636	16,762	14,260	14,552
受診率（％）	84.3%	82.7%	76.1%	81.8%
・1か月児健診受診状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者数（人）	1,510	1,445	1,463	1,280
受診者数（人）	1,462	1,409	1,341	1,127
受診率（％）	96.8%	97.5%	91.7%	88.0%
R5受診者数：令和5年3月1日～令和6年2月28日 R5対象者数：令和5年4月1日～令和6年3月31日				
・10か月児健診受診状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者数（人）	1,374	1,381	1,470	1,392
受診者数（人）	1,309	1,276	1,360	1,236
受診率（％）	95.3%	92.4%	92.5%	88.8%
R5受診者数：令和4年6月1日～令和5年5月31日 R5対象者数：令和5年4月1日～令和6年3月31日				

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	704		
役務費	1,812		
委託料	138,229		
扶助費	4,469		
事業費計		145,214	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	妊産婦・新生児訪問事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	母子保健法第11条、17条、19条、児童福祉法第21条10の2に基づき、母性及び乳児の健康の保持増進を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		こんにちは赤ちゃん訪問率（％）	98.7	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	乳児のいる全ての家庭を訪問し、乳児と保護者の健康状態等の把握を行い、養育についての相談に応じる。	健診時にうつ気分がない人の割合（％）	74.5	81	83	85

事業概要	（数値目標の目標年度） こんにちは赤ちゃん訪問率、子育て支援策の満足割合（こども1人以上、40代まで）、健診（4か月児健診）時にうつ気分がない人の割合:2029(R11)年度 以下の事業を行い、要支援児童等を把握し、訪問により必要な支援をする。 ・母子保健法第11条の1に規定する新生児訪問指導事業 ・児童福祉法第21条の9に規定するこんにちは赤ちゃん訪問事業 ・母子保健法第17条に規定する妊産婦訪問指導事業 ・母子保健法第10条、第11条の2に規定する母子訪問指導事業 ・母子保健法第19条に規定する未熟児等訪問事業 財源：子ども・子育て支援交付金（国1/3、県1/3、市1/3）
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・生後4か月までの乳児がいる家庭に、市保健師、委嘱助産師が訪問を実施した。 ・支援が必要な家庭に対しては、産後ケアやヘルパー利用などの必要なサービスにつないだ。		・生後4か月までの乳児がいる家庭に、市保健師、委嘱助産師が訪問を実施する。 ・支援が必要な家庭に対しては、産後ケアやヘルパー利用などの必要なサービスにつなぎ、母子の健康状態の確認や、育児負担の軽減に努める。		・生後4か月までの乳児がいる家庭に、市保健師、委嘱助産師が訪問を実施する。 ・支援が必要な家庭に対しては、産後ケアやヘルパー利用などの必要なサービスにつなぎ、母子の健康状態の確認や、育児負担の軽減に努める。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			7,183
財源内訳	国・県支出金		4,704
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,479
歳入合計		0	7,183

課題	・支援を要する家庭は、育児不安、養育環境の問題、母親の疾患や障がい、精神疾患、ひとり親など課題が多岐に渡る。	方向性	・多岐に渡る課題に対し、医療機関、委嘱助産師、児童相談所等の関係機関と引き続き連携を図り、安心、安全な出産・子育てができるよう支援を行う。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	こんにちは赤ちゃん訪問事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	こんにちは赤ちゃん訪問事業		

本事業に関する主要データ					
○こんにちは赤ちゃん訪問事業 実施状況					
年度	件数			出生数	訪問率
	訪問	電話	計		
R1	1,475		1,475	1,545	97.5%
R2	1,365	128	1,493	1,492	100.1%
R3	1,390	21	1,411	1,473	95.8%
R4	1,363	23	1,386	1,409	98.4%
R5	1,248	0	1,248	1,282	97.3%
・出生数は住基異動受付集計表より。					
・R2年度以降は新型コロナウイルス感染症の不安から訪問を希望しなかった場合は電話対応したもの。					
・訪問件数には里帰り出産分も含まれていることから、出生数よりも訪問件数が上まわる場合がある。					

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,754		
職員手当等	673		
共済費	422		
報償費	3,711		
需用費	319		
役務費	304		
事業費計		7,183	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども家庭支援課	利用者支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施し、安心してこどもを産み育てられる環境をつくる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		妊娠届出時の面談割合（％）	100	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	健診時にうつ気分がない人の割合（％）	74.5	81	81	85
	妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、保健・医療・福祉：教育等の関係機関による切れ目のない支援を行い、育児不安の解消や虐待の未然防止に努める。	子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80

事業概要	（数値目標の目標年度） 妊娠届出時の面談割合、健診（4か月児健診）時にうつ気分がない人の割合、子育て支援策の満足割合（こども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度
	妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要に応じて個別に支援計画（サポートプラン）を策定し、地域の関係機関と連携した切れ目のない支援を行う。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・妊娠・出産・育児に関する各種相談に応じ、必要な保健指導を行うとともにニーズに応じた支援につなぐ。 ・必要に応じて個別にサポートプランを策定し、支援対対象者のニーズ把握と支援方針を明確にする。		・妊娠・出産・育児に関する各種相談に応じ、必要な保健指導を行うとともにニーズに応じた支援につなぐ。 ・必要に応じて個別にサポートプランを策定し、支援対対象者のニーズ把握と支援方針を明確にする。		・妊娠・出産・育児に関する各種相談に応じ、必要な保健指導を行うとともにニーズに応じた支援につなぐ。 ・必要に応じて個別にサポートプランを策定し、支援対対象者のニーズ把握と支援方針を明確にする。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			3,859
財源内訳	国・県支出金		3,215
	地方債		0
	その他		0
	一般財源	0	644
歳入合計		0	3,859

課題	・核家族化や地域のつながりが希薄となる中で、育児不安や負担を抱える子育て世帯が多い。	方向性	・行政のサービスに限らず、地域の子育て支援事業関係者が行っている取組みについての情報収集と周知を行う。 ・児童福祉機能につなぐ必要がある妊産婦及びその家庭の把握に努め、一体的に支援を行う。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	利用者支援事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	母子保健・子育て支援コーディネーターの相談・支援		

本事業に関する主要データ

母子保健コーディネーター（保健師）による相談件数（妊娠届出数）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数（件）	1,663	1,616	1,571	1,496	1,448	1,448	1,338	1,270	1,218

子育て支援コーディネーター（保育士）による相談件数

年度	R2	R3	R4	R5	R6
件数（件）	228	2,741	2,916	2,498	1,476

※令和5年度から保育所入所申し込みのスマート申請が開始されたことにより保育所関係の相談件数が減少している。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,266		
職員手当等	869		
共済費	572		
旅費	152		
事業費計		3,859	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
保育所幼稚園課	保育所・幼稚園地域交流活動推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域における子育て支援の充実を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	事業実施施設の割合（％）	77.6	99	99	100
	地域に開かれた保育施設として、子育て講座や地域交流により、子どもたちの豊かな育ちを支援する。					

事業概要	保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）において、島根県の「しまねすぐすぐ子育て支援事業」交付金を受けて、次の事業を行う。（1施設あたり上限50,000円、補助率10/10） ①子育て講座事業（子育て家庭の父母、家族等を対象にした講習会、講演会） ②地域交流活動事業（異年代、異校種の子ども同士との交流活動や在宅の子育て家庭を対象にした交流活動） （数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合：2029（R11）年度 事業実施施設の割合：2029（R11）年度
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	事業実施施設数：８０園／１０３園 事業実施施設の割合：７７．６％ 市立保育所・幼保園：１４園 私立保育所（認定こども園・小規模保育事業含む）：５１園 市立幼稚園：１４園 私立幼稚園（認定こども園含む）：１園		事業実施施設数：９９園／１００園 事業実施施設の割合：９９％		事業実施施設数：９９園／１００園 事業実施施設の割合：９９％	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	3,220	5,000
	国・県支出金	3,220	5,000
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		3,220	5,000

課題		方向性	子どもたちの豊かな育ちを支援するため事業を継続する。
----	--	-----	----------------------------

保育所幼稚園課 保育所・幼稚園地域交流活動推進事業

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	保育所・幼稚園地域交流活動促進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	子育て講座事業		
	通年	地域交流活動事業		

本事業に関する主要データ									
事業実施施設数									
年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6		
公立保育所・幼保園	16	16	12	8	6	16	14		
私立保育所等	56	55	38	33	33	58	51		
公立幼稚園	22	19	12	11	13	18	14		
私立幼稚園(こども園含む)	2	2	2	2	2	1	1		
合計施設数	96	92	64	54	54	93	80		
事業実施の割合(%)	92.3	88.5	60.4	50.5	50.9	87.7	77.6		

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部保育所幼稚園課	病児保育事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	病児保育施設を気軽に利用できるシステムにより、子育て世帯の育児と就労のさらなる両立支援を図る。	項目（成果指標） 子育て支援策の満足割合（％）	R6実績見込 61.95	R7計画 80	R8計画 80	目標値 80
	目標（何を達成するのか）	新規病児保育登録者数（人）	808	1,400	1,400	1,400
	病児保育利用者の利便性向上と利用者の増加	病児保育施設延べ利用者数（人）	5,429	6,400	6,400	6,400

事業概要	子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度、新規病児保育登録者数：2029（R11）年度、病児保育施設延べ利用者数：2029（R11）年度
	保護者が、就労などにより家庭で病気または病気回復期の児童を育児できない場合に、一時的に児童を預かる病児保育を行う。 病児保育施設の利用にかかる登録、予約及びキャンセルが24時間可能となるシステムを継続して利用する。
	<実施施設> 松江赤十字乳児院、松江市立病院すこやか保育室、融合乳児園、のぎこども園、つわぶきこども園

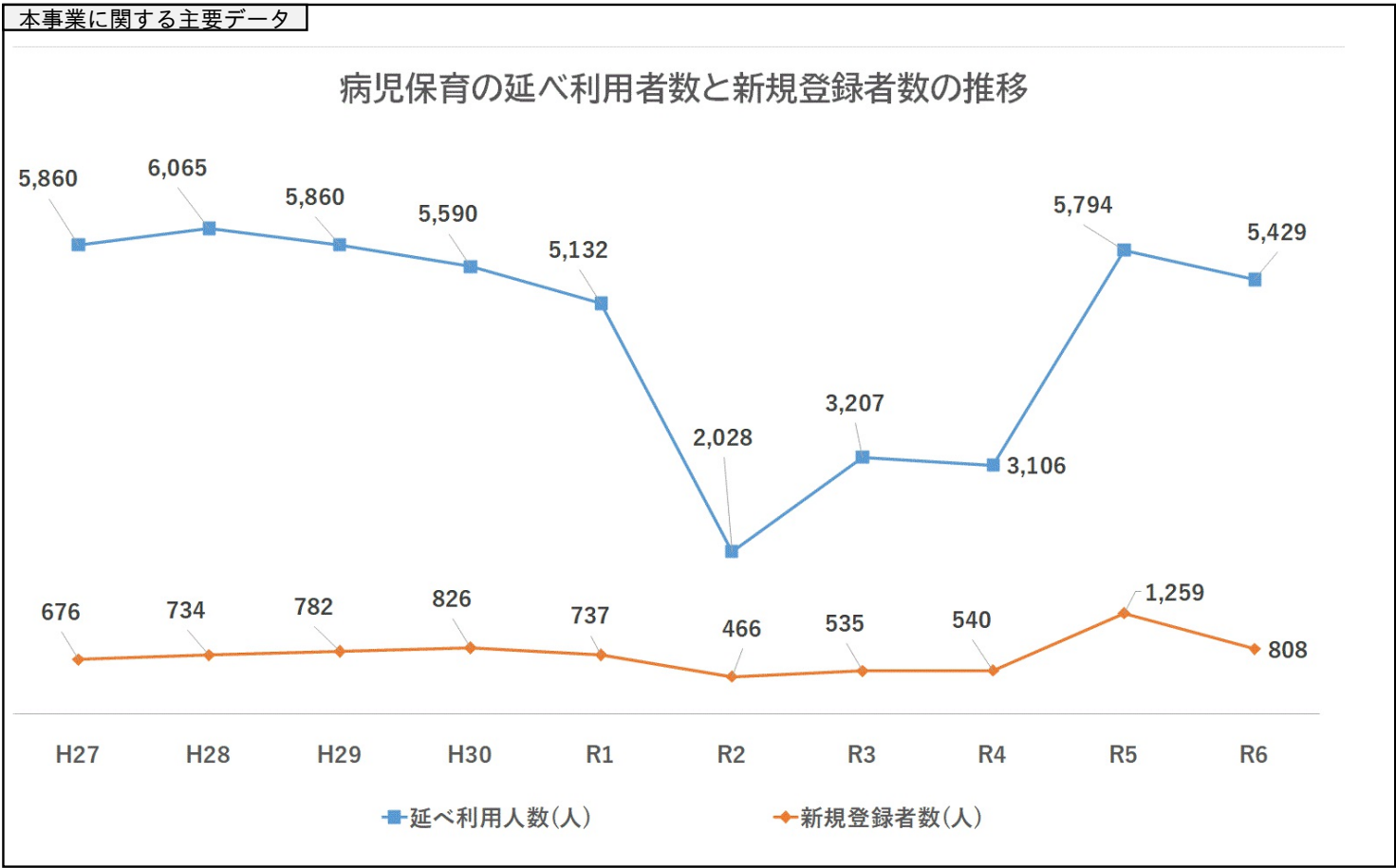
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	新規登録者数：808人 延べ利用者数：5,429人 委託料：87,516千円 ・利便性の向上を目的に、システム導入後も引き続きサービスや機能を追加・改良する。	新規登録者数：1,400人 延べ利用者数：6,400人 ・利便性の向上を目的に、システム導入後も引き続きサービスや機能を追加・改良する。	新規登録者数：1,400人 延べ利用者数：6,400人 ・利便性の向上を目的に、システム導入後も引き続きサービスや機能を追加・改良する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		90,222	95,901
財源内訳	国・県支出金	56,932	60,688
	地方債		
	その他		
	一般財源	33,290	35,213
歳入合計		90,222	95,901

課題	・病児保育を利用するための登録は市窓口で行う必要がある。 ・児童の情報は登録時点で市から5施設へ書類送付し共有しており、児童の成長に応じた情報の更新ができていない。 ・施設利用には電話予約が必要があるが、施設の営業時間のみの対応となっている。 ・施設の空き状況を確認するためには各施設へ問い合わせる必要がある。	方向性	・スマートフォンやパソコンを利用して、病児保育の利用にかかる登録、予約、キャンセルが24時間可能となるシステムを導入する。 ・各施設の空き状況はインターネットで確認できるようになる。 ・システムの導入により、利用者の利便性を向上させるとともに、病児保育の登録者及び施設の利用者を増やす。 ・利便性の向上を目的に、システム導入後も引き続きサービスや機能を追加、改良する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	病児保育支援システム運用		
	4月～3月	周知・啓発		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	93,195		
使用料及び賃借料	2,706		
事業費計		95,901	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子育て中の親の孤立化の防止と育児の悩みや不安を緩和し、安心してこどもを産み育てられる環境づくりをすることで、こどもの健やかな育ちを支える。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		利用者数（市内全支援センター利用者数）	73,000	73,000	73,000	73,000
		子育て支援策の満足度割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	子育てに関する不安感や負担感を緩和し、安心して喜びを感じながら子育て中の親子が気軽に集い交流や仲間づくりを行うことができる場を提供する。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 利用者数、子育て支援策の満足度割合（こども1人以上、40代まで）：2029（R11）年度
	「あいあい」と市内に8か所のサテライトの計9か所で事業を実施している。 ・子育てに関する不安や悩みの相談、援助の実施 ・親子の交流の場と遊びの場の提供及び仲間づくりの援助の実施 ・子育てサークルやボランティア等の支援団体の育成 ・子育て支援に関する情報の収集及び ・子育て支援に関する企画及び調整

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・各支援センターが地域の特色を取り入れた事業（地元の公民館や団体、人材との連携など）を行った。 ・交流事業（つどい）を実施。 ・子育て学習会、子育て＆子育て支援のための講座の実施。 ・相談事業の実施。 ・子育ての日に向けたキャンペーンの一環として、子育て自主サークルや子育てを応援する民間事業者と連携したイベント等を実施。 ・市の取り組みとあわせて、民間事業者が実施する子育て世帯向けの事業や取り組みなどの情報発信を行う仕組みについて、検討・調整を行った。 ・あいあい及び各サテライト間で安全・円滑に情報共有、連絡を行うネットワークシステムの整備について検討・調整を行った。	・各支援センターが地域の特色を取り入れた事業（地元の公民館や団体、人材との連携など）を行う。 ・交流事業（つどい）の実施。 ・子育て学習会、子育て＆子育て支援のための講座の実施。 ・相談事業の実施。 ・市の取り組みとあわせて、民間事業者が実施する子育て世帯向けの事業や取り組みなどの情報発信を行う。 ・あいあい及び各サテライト間で安全・円滑に情報共有、連絡を行うネットワークシステムを整備する。	・各支援センターが地域の特色を取り入れた事業（地元の公民館や団体、人材との連携など）を行う。 ・交流事業（つどい）の実施。 ・子育て学習会、子育て＆子育て支援のための講座の実施。 ・相談事業の実施。 ・市の取り組みとあわせて、民間事業者が実施する子育て世帯向けの事業や取り組みなどの情報発信を行う。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	98,000	117,197
	国・県支出金	49,646	49,646
	地方債	0	0
	その他	0	5
	一般財源	48,354	67,546
歳入合計		98,000	117,197

課題	・共働き世帯の増加等によるライフスタイルの変化から、土日・祝日のあそび場に対するニーズが高まっている。	方向性	・人員及び運営体制等を踏まえ、土日・祝日のあそび場の開設方法等を検討する。

こども子育て部こども家庭支援課 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	地域子育て支援拠点事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	相談事業実施、遊び場運営、つどい、学習会開催		

本事業に関する主要データ									
子育て支援センターの概要									
支援センター名	運営	場所	週開所日数	利用人数（人）					
				R1	R2	R3	R4	R5	
あいあい	直営	保健福祉総合センター	6日 休所：日曜	32,327	15,998	16,717	14,461	30,280	
わいわいルーム	直営	保健福祉総合センター	土、祝のみ開所	—	—	—	—	1,895	
おもちゃの広場	直営	市民活動センター	6日 休所：水曜	16,275	6,226	8,218	6,583	13,426	
鹿島子育て支援センター	指定管理 かしま福祉会	鹿島福祉センター	6日 休所：木曜	13,896	4,996	7,350	4,796	2,169	
美保関子育て支援センター	直営	美保関支所	3日 休所：火、金、土、日	1,720	781	1,362	1,149	3,383	
たまゆつどいの広場	直営	旧玉湯小学校グラウンド内	5日 休所：土、日、祝	6,577	4,362	4,262	3,849	2,924	
宍道子育て支援センター	直営	宍道公民館	5日 休所：土、日、祝	2,508	1,391	2,322	1,962	4,382	
やくも子育て支援センター	委託 たけかや福祉会	たけのこ館	5日 休所：土、日、祝	3,863	2,682	2,374	2,261	8,372	
松江赤十字乳児院（育児サロン）	委託 松江赤十字乳児院	松江赤十字乳児院	5日（補助対象は3日） 休所：土、日、祝	2,792	51	216	36	3,136	
東出雲子育て支援センター	直営	ヨリアイーナ東出雲	5日 休所：土、日、祝	5,496	2,074	2,920	1,318	1,053	
計				85,454	38,561	45,741	36,415	71,020	
				前年度比	45.12%	118.62%	79.61%	195.03%	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	51,641	委託料	30,213
職員手当等	18,146	使用料及び賃借料	920
共済費	10,880	備品購入費	201
報償費	1,105	負担金補助及び交付金	602
旅費	1,163		
需用費	1,893		
役務費	433		
事業費計		117,197	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部子育て給付課	母子家庭等対策総合支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ひとり親が安定した生活（就労等）を行うための自立支援を行うことにより、児童を健全に育成する環境を確保する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	貧困状態にある子どもや保護者を早期に発見し、確実な支援につなげていく。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029(R11) 年度 ・母子・父子自立支援員を配置し、様々な問題を抱えるひとり親の相談を受け、関係部署・機関との連携を図りながら、その生活の自立支援を行う。 ・どこに相談すればよいのか、どのような制度があるのかを分かりやすく周知する。 ・母子・父子自立支援プログラム(個々の児童扶養手当受給者の状況・ニーズ等に対応した自立目標や支援内容を設定した計画票)を策定し、継続的な自立・就業支援を実施する。
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	母子・父子自立支援員の継続配置 相談件数（計画） 4,200件		母子・父子自立支援員の継続配置 相談件数（計画） 4,200件	母子・父子自立支援員の継続配置 相談件数（計画） 4,200件
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		9,208	10,698
財源内訳	国・県支出金	129	168
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,079	10,530
歳入合計		9,208	10,698

課題	ひとり親の貧困率は高い状況にあり、生活状況も様々であるので、一人ひとりに合った支援が必要である。	方向性	関係部署や他機関と連携し、ひとり親家庭の経済的自立に向け支援体制を充実させるとともに、子どもの貧困や生活上の問題を抱えた家庭に必要な支援を行えるよう、保育所や学校等へ制度の周知を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	ひとり親家庭総合相談コーナー

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	相談受付		

本事業に関する主要データ

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
母子父子自立支援員数		4人	4人	4人	4人	4人
母子父子自立支援員への相談件数		4,061	4,062	4,192	4,431	3,292
（上記のうち父子相談）		189	206	170	273	228
主 な も の	就労に関すること・資格取得	218	215	169	139	131
	子どもの養育に関すること	397	237	233	185	102
	経済的な支援に関すること	1,870	1,995	2,162	2,440	1,793
	D V等に関すること	18	14	10	7	5
前年度比		111.5%	100.0%	103.2%	105.7%	74.3%

※令和6年度は3月末時点の件数

※母子・父子自立支援員4人中1人は母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計で予算措置。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	6,498		
職員手当等	2,496		
共済費	1,543		
旅費	161		
事業費計		10,698	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部子育て給付課	母子父子寡婦福祉資金貸付事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図り、あわせて児童の福祉を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	ひとり親家庭の親や児童に対し修学資金等を貸し付けることにより、ひとり親家庭等の自立促進に寄与する。					

事業概要	（数値目標の目標年度）子育て支援策の満足度（子ども1人以上、40代まで）：2029年（R11）年度【母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計】中核市移行に伴う県からの事務移譲事業。母子寡婦家庭の母、父子家庭の父や寡婦などを対象とし、必要な資金を低利子又は無利子で貸し付ける。＜貸付資金の種類＞修学資金、就学支度資金、修業資金、就職支度資金、技能習得資金 等
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	貸付事業実施。 母子・父子自立支援員1名雇用。 貸付金額（見込）89,186千円		貸付事業実施。 母子・父子自立支援員1名雇用。	貸付事業実施。 母子・父子自立支援員1名雇用。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	113,015	156,653
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	113,015	156,653
	一般財源	0	0
歳入合計		113,015	156,653

課題	子が卒業後就職できない、母親が失業・病気などにより償還が困難となるケースが多く、貸付償還金の未収金回収が課題となっている。	方向性	関係機関と連携し、償還指導や就労支援など幅広く地道に支援していく必要がある。また、長期滞納など回収困難となっている債権については、回収・調査業務の外部委託を開始し、回収率の向上を図るとともに、明らかに回収困難なものについては債権放棄を検討するなど滞納整理を進めていく。
----	---	-----	--

こども子育て部子育て給付課 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	母子父子寡婦福祉資金貸付事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	申請受付・貸付		
	随時	貸付金償還指導		

本事業に関する主要データ					
母子父子寡婦福祉資金貸付状況 貸付件数			(単位：件)		
資金種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修学	142	146	140	124	126
技能習得	2	2	1	1	0
修業	4	2	6	3	9
就学支度	63	70	43	56	65
その他	1	3	3	0	3
合計件数	212	223	193	184	203
貸付金額（千円）	118,269	128,950	105,147	89,002	101,386
※収納状況（R5年度実績） 収納率 現年：87.5％ 滞繰：11.8％ 全体：47.3％ 収入未済額（現年・滞繰）107,428円					

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
貸付金	116,387	委託料	27,721
報酬	2,166	備品購入費	8,163
職員手当等	832	負担金補助及び交付金	10
共済費	327		
旅費	51		
需用費	149		
役務費	847		
事業費計		156,653	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども家庭支援課	5歳児健診事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	就学を見据えた4歳後期の児を対象に、健診を実施することで、保護者に発達過程を意識させる機会とするとともに、就学に向けての適切な支援を提供し、心身の健全な発育・発達に資する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		一次健診（アンケート）受診率（％）	99.4	100	100	100
		二次健診（医師の診察等）受診率（％）	79.8	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80

事業概要	（数値目標の目標年度） 一次健診(アンケート)受診率:2029(R11)年度、二次健診(医師の診察等)受診率:2029(R11)年度、子育て支援施策満足割合(こども1人以上、40代まで):2029(R11)年度
	発達障がいの早期発見、早期支援により、保護者の育児不安軽減と、子どもたちの健全な発達を支援することで、安心して就学が迎えられるよう支援することを目的とする。（一次健診：年度内5歳になる児全員を対象としたアンケート）（二次健診：一次健診結果と保護者の希望により診察、相談を実施）乳幼児期からの一貫した支援体制づくりのために、教育（エスコ）・保健・福祉の連携を図り、情報の共有化のために5歳児健診システムを活用する。財源：母子保健衛生費国庫補助金（国1/2、市1/2）

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	1. 一次健診（保護者及び所属園・所へのアンケート） 《実施回数》年3回実施		1. 一次健診（保護者及び所属園・所へのアンケート） 《実施回数》年3回実施		1. 一次健診（保護者及び所属園・所へのアンケート） 《実施回数》年3回実施	
	2. 二次健診（医師の診察等） 《実施回数》年16回実施		2. 二次健診（医師の診察等） 《実施回数》年13回実施		2. 二次健診（医師の診察等） 《実施回数》年25回実施 ※二次健診の対象者基準を変更	
	達成度					

1	計画目標に向けて順調に推移
---	---------------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		5,661
	国・県支出金		2,830
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,831
歳入合計		0	5,661

課題	二次健診未受診の理由を把握できていない。	方向性	二次健診を受けない理由を把握できる方法を検討、実施する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	5歳児健診

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R7.4	健診案内文及び結果通知文の改訂	R8.3	5歳児健康診査事業検討会議
	R7.5	一次健診（アンケート送付）開始		
	R7.8	二次健診（医師の診察等）開始		
	R7.10	5歳児健康診査研修会開催		

本事業に関する主要データ

松江市の5歳児健康診査は母子保健部門（こども家庭支援課）と教育委員会（発達・教育相談支援センター）が共催で実施している全国でも珍しい取り組みである。教育部門と共催していることにより、就学に向けての支援をよりスムーズに行うことができている。

また、発達障がいや早期発見し、適切な支援を提供することで、こどもたちの健全な発達と保護者の育児不安の軽減を図り、安心して就学が迎えられるよう支援する。

○ 5歳児健診受診者数、受診率

	R3 年度			R4 年度			R5 年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
一次健診	1,738	1,725	99.3%	1,607	1,569	97.6%	1,550	1,530	98.7%
二次健診	199	159	79.9%	189	136	72.0%	220	165	75.0%

- ・一次健診：4歳9か月ごろに全員を対象に、アンケート方式による一次健診を行う。
保護者と入所入園の場合は保育士、幼稚園教諭に実施。
- ・二次健診：一次健診で二次健診の該当になった児に対して、集団健診方式による二次健診を行う。
さらに、フォローの必要な児には、エスコと連携して就学に向けての適切な支援を行う。

5歳児健康診査（二次健診）保護者へのアンケート結果（R5:157人）

1、5歳児健診がお子様の得意なところや苦手なところの気づきになりましたか。

回答	割合
はい	98.1%
わからない	1.3%
いいえ	0.6%

2、これからのお子様への関わり方の参考（悩み・不安の軽減）になりましたか。

回答	割合
はい	98.1%
わからない	1.9%

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,864	委託料	528
職員手当等	810		
共済費	515		
報償費	636		
旅費	41		
需用費	35		
役務費	232		
事業費計		5,661	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部保育所幼稚園課	業務効率化推進事業費（公立保育所）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	保育士・幼稚園教諭等の業務負担を軽減し保育・教育の質を向上するとともに保護者の利便性を向上する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		保育士1人あたり超勤時間（時間/月）	3.1	3.0	2.9	1
	目標（何を達成するのか）					
	ICTシステムを利用した児童の登降園管理、保護者連絡等					

事業概要	・令和4年3月に3園に導入。 ・新型コロナウイルス感染症対策を進めるため、令和4年度9月補正予算で残り全園（8園）への導入決定。
	・令和5年3月に残り全園（8園）に端末の導入完了。☑ ・令和5年4月からお知らせ配信機能、5月からは登降園管理、保護者連絡機能の稼働を開始。 ・令和7年3月から請求管理機能及び同機能を活用したキャッシュレス決済サービスを3園にて利用開始 ・令和7年3月から請求管理機能及び同機能を活用したキャッシュレス決済サービスを残り全園にて利用開始

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	帳票作成開始（出席簿・園日誌・行事予定）（4月～） ・0～3歳の連絡帳機能についてモデル園で試行運用（10月～） ・全施設で試験運用（2～3月） キャッシュレス機能の利用開始 ・モデル園3園で運用開始（2月～）		キャッシュレス機能のを全園で運用開始	引き続きシステムを利用
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費			10,581
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	10,581
	歳入合計	0	10,581

課題	・保育所等においては、子どもと接する本来の保育に加え、様々な事務を実施。各種料金計算等は、手書きしたものをエクセルに転記、集計しており、非効率でミスが発生しやすい状況にある。また、保育ニーズの増加や衛生・安全管理のためなどで超過勤務が恒常化している。	方向性	ＩＣＴ化を進めることで保育士等や保護者の負担を軽減する。
----	--	-----	-------------------------------------

こども子育て部保育所幼稚園課 業務効率化推進事業費（公立保育所）		
松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	保育業務ICT化推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
--------------	--

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	212		
役務費	2,397		
委託料	7,500		
使用料及び賃借料	472		
事業費計		10,581	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部保育所幼稚園課	業務効率化推進事業費（公立幼稚園）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	保育士・幼稚園教諭等の業務負担を軽減し保育・教育の質を向上するとともに保護者の利便性を向上する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		保育士1人あたり超勤時間（時間/月）	3.1	3	2.9	1
	目標（何を達成するのか）					
	ICTシステムを利用した児童の登降園管理、保護者連絡等					

事業概要	・令和4年3月に1園に導入。 ・新型コロナウイルス感染症対策を進めるため、令和4年度9月補正予算で残り全園（18園）への導入決定。 ・令和5年3月に残り全園（18園）に端末の導入完了。 ・令和5年4月からお知らせ配信機能、5月からは登降園管理、保護者連絡機能の稼働を開始。

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	帳票作成開始（出席簿・園日誌・行事予定）（4月～） キャッシュレス決済端末の利用開始（2月～）		引き続きシステムを利用	引き続きシステムを利用
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費			7,027
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	7,027
	歳入合計	0	7,027

課題	・幼稚園等においては、子どもと接する本来の教育・保育に加え、様々な事務を実施。各種料金計算等は、手書きしたものをエクセルに転記、集計しており、非効率でミスが発生しやすい状況にある。また、保育ニーズの増加や衛生・安全管理のためなどで超過勤務が恒常化している。	方向性	ＩＣＴ化を進めることで幼稚園教諭等や保護者の負担を軽減する。
----	---	-----	---------------------------------------

こども子育て部保育所幼稚園課 業務効率化推進事業費（公立幼稚園）		
松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	保育業務ICT化推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
--------------	--

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	330		
役務費	984		
委託料	5,595		
使用料及び賃借料	118		
事業費計		7,027	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
こども子育て部こども政策課	子育ての日イベント事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・市全体で子育てを応援する機運の醸成を図る ・市などが行う子育て支援施策の認知度の向上を図る	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		子育て支援策の満足割合（％）	61.95	80	80	80
	目標（何を達成するのか）	子育ての日イベント来場者の満足割合	97.6	98		98
	企業・団体等と連携したキャンペーンや親子で楽しめるイベントを通じて、行政の子育て支援施策や企業・団体等の子育て応援事業の情報発信を行い、社会全体で子育てを応援する機運を醸成する。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 子育て支援策の満足割合（子ども1人以上、40代まで）：2029(R11)年度 子育ての日イベント来場者の満足割合：2025(R7)年度 ・毎年11月19日を本市独自の「子育ての日」として設定（※令和5年度に設定済） ・「子育ての日」の前1週間に社会全体で子育てを応援するキャンペーンを実施 ・親子で楽しめるイベントを開催
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・10月27日に親子で楽しめるイベントを開催した。（来場者数：約3,000人） ・子育ての日（11月19日）を含む前1週間（11月13日から11月19日）に企業と連携し、子育てを応援する機運の醸成を図るキャンペーンを実施した。	・子育ての日の前1週間に企業と連携し、子育てを応援する機運の醸成を図るキャンペーンを実施する。 ・親子で楽しめるイベントを開催する。	R7年度にて事業終了予定（実施期間） ・令和5～7年度の3年間
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	6,205	6,394
	国・県支出金	1,601	3,197
	地方債		
	その他	3,000	1,598
	一般財源	1,604	1,599
歳入合計		6,205	6,394

課題	・キャンペーンは、認知度が低かったことも一つの要因となり、参画事業所数は目標の200社に対して81社と低い結果となった。	方向性	・「子育ての日」を象徴するイベントとキャンペーンを実施し、社会全体で子育てを応援する機運の醸成及び意識の定着を図る。 ・より丁寧な説明と呼びかけを行うことでキャンペーン参画企業の拡大を図る。
----	--	-----	--

こども子育て部こども政策課 子育ての日イベント事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	子育ての日イベント事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	イベント・キャンペーン実施運営業務委託プロポーザル、契約		
	10月～11月	企業・団体等へキャンペーンへの参画を呼びかけ		
	11月	子育ての日イベント開催		
	11月	子育ての日キャンペーン実施		

本事業に関する主要データ

11月19日は松江市の『子育ての日』

まち全体で子育て応援の機運を高めるイベントとキャンペーンを実施します

子育ての日ファミリーイベント開催

【実施日】 令和7年10月19日
【対象】 就学前～小学生低学年の子どもとその保護者
【概要】 ・親子で参加できるイベントを開催
・楽しみながら子育て支援情報を得られる機会の提供



子育ての日キャンペーン週間

【実施期間】 子育ての日を含む前1週間
【対象】 市内の企業・団体
【概要】 子育てを応援する取組の実施を呼びかけ、社会全体で子育てを応援する機運を醸成

キャンペーン取組例

A社：ノーマ残業ウィーク
B社：社員の子どもの行事への参加推進
C社：家族向け特典・割引

行政、地域、企業、NPO など様々な立場の個人や組織、コミュニティ等が、こどもや子育て世代の視点に立って、その最善の利益を第一に考えながら、一体感を持ってアクションを起こしていくことで、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図ります。

#こどもまんなか松江の実現

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	54		
委託料	6,190		
使用料及び賃借料	150		
事業費計		6,394	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	発達・教育相談支援センター運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	障がい等によるこどもたちの生活や学習上の困難さに早期に気づき、切れ目のない相談体制のもと適切な支援につなげる。	項目（成果指標） 就学支援に対する保護者の納得度割合（％）	R6実績見込 90	R7計画 90	R8計画 90	目標値 92
	目標（何を達成するのか）	進路選択に対する生徒の満足割合（％）	90	90	90	90
	①異なる専門性（教育・保健・福祉・医療）の高度な連携【連携強化】	交流学習計画授業時数の割合（％）	42	43	43	47
	②選択可能な学びの場や支援体制の整備の充実【支援拡充】 ③まわりの大人の子どもも理解力の向上と共生社会意識の醸成【意識転換】					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】：2029（R11）年度 項目名 中学校3年生特別支援学級在籍生徒の進路選択に対する満足割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度 項目名 年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】：2029（R11）年度
	・発達・教育相談支援センター「エスコ」は、教育を中心に保健・福祉・医療等との連携を深め、乳幼児期から一貫した相談支援を実施している。幅広い発達段階や多様な障がいの状況等を有するケースに対応しており、適切な実態把握や丁寧で継続した相談対応、効果的な療育を実施すること等が求められている。
	・専門スタッフの人件費、電話代等、センター運営にかかる諸経費。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・相談支援体制の一層の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人増とする。 ・教育・保健・福祉・医療等の関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。	・読み書きに困難さを抱えるこどもの相談支援体制の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人増とする。 ・教育・保健・福祉・医療等の関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。	・読み書きに困難さを抱えるこどもの相談支援体制の充実を図る。 ・教育・保健・福祉・医療等の関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		50,863	56,563
財源内訳	国・県支出金	1,778	2,500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	49,085	54,063
歳入合計		50,863	56,563

課題	・相談件数は平年並みだが、相談内容が複雑化しており、支援ニーズも多様化している。今後は教育だけでは、対応が困難なケースの増加が予想される。	方向性	・困難なケースの増加に対応するため、教育・保健・福祉・医療等との連携強化を図り支援にあたる。
	・困難なケースへの対応、関係機関との連携、早期の気づきに応じた適切な助言指導及び効果的な療育等が求められており、スタッフの高い専門性の維持が必要である。		・学校、園所等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導を進める。 ・「松江市特別支援教育推進計画（2023～2025）」に沿って、学校、園所等現場の支援体制の整備を進める。

教育委員会発達・教育相談支援センター 発達・教育相談支援センター運営費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	発達・教育相談支援センターの運営

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	特別支援教育コーディネーター説明会	6月・9月	特別支援教育コーディネーター研修会
	4月	専門巡回相談、就学相談の申込受付開始	11月初旬	就学相談申込受付締切
	5～3月	専門巡回相談、就学相談の実施	12月中旬	専門巡回相談申込受付締切
	6～3月	特別支援教育就学審議会（月1回、10回開催）	2～3月	次年度の各種相談、特別支援教育コーディネーター研修等検討

本事業に関する主要データ

幼児児童生徒等別相談件数の状況								単位:件	
	幼 児		小学生		中学生		高校生	成人	合 計
	～4歳	5歳	通常	特学	通常	特学			
R1	1,036	1,602	1,127	160	182	58	8	3	4,176
	2,638		1,287		240		11		
R2	950	1,300	1,038	303	155	72	3	1	3,822
	2,250		1,341		227		4		
R3	832	1,241	1,146	273	171	43	2	3	3,711
	2,073		1,419		214		5		
R4	755	1,157	904	313	168	72	5	1	3,375
	1,912		1,217		240		6		
R5	768	1,274	1,037	394	152	74	6	2	3,707
	2,042		1,431		226		8		

【通常】通常の学級に在籍する児童生徒、【特学】特別支援学級に在籍する児童生徒の相談件数

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	31,346		
職員手当等	12,759		
共済費	7,823		
旅費	875		
需用費	117		
役務費	310		
負担金補助及び交付金	3,333		
事業費計		56,563	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	医療的ケア児支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資し、もって安心してこどもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的としている。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		就学支援に対する保護者の納得度割合（％）	90	90	90	92
	目標（何を達成するのか）					
	医療的ケア児が医療的ケア児でない児童生徒等と共に教育を受けられるよう最大限に配慮しつつ適切に支援を行うことで、医療的ケア児の可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のための必要な力を培う。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】：2029（R11）年度 ・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され（R3.6.18公布、R3.9.18施行）、医療的ケア児に対して教育を行う体制の拡充が図られるよう、医療的ケア児が在籍する学校に対して必要な支援措置を講じる。 ・令和5年度から継続して医療的ケア児が入学する市立小学校1校へ看護師を配置する。また、体制整備のための会議や研修等を実施する。
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・市立小学校1校で医療的ケア児を受入れるため看護師を配置する。 ・医療的ケア児への支援についての体制整備、必要なサービスの総合調整等のための会議や研修等を実施する。 ・こども子育て部等と連携して就学前の医療的ケア児に関する情報共有を行い、必要に応じて市立学校での受け入れ準備を行う。		・市立小・中・義務教育学校で医療的ケアを必要とする児童生徒の情報を収集し、必要に応じて受け入れ準備を行う。 ・こども子育て部等と連携して就学前の医療的ケア児に関する情報共有を行い、必要に応じて市立学校での受け入れ準備を行う。		・市立小・中・義務教育学校で医療的ケアを必要とする児童生徒の情報を収集し、必要に応じて受け入れ準備を行う。 ・こども子育て部等と連携して就学前の医療的ケア児に関する情報共有を行い、必要に応じて市立学校での受け入れ準備を行う。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			1,649
財源内訳	国・県支出金		549
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	1,100
歳入合計		0	1,649

課題	・支援体制の整備に向けた、看護師の安定的な確保が必要である。	方向性	・適切な就学に向けて、医療的ケア児及び保護者との相談を早期から丁寧に進める。
	・医療的ケアを実施する学校内での協力体制の構築、仕組みづくりが必要である。		・医療的ケア児を安心・安全に受け入れるための支援体制を整備する。
	・全ての教職員へ学校における医療的ケアの教育的意義等の理解啓発を図る必要がある。		・こども子育て部や健康福祉部との連携による早期からの切れ目ない支援体制の充実を図る。
		・共生社会に向けた理解促進を図る。	

教育委員会発達・教育相談支援センター 医療的ケア児支援事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	医療的ケア児支援事業（市立小・中・義務教育学校）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	小学校1校へ看護師配置	4月以降	次年度以降の医療的ケア児受入体制の検討
	4月	学校内での支援体制整備		
	4月以降	国への補助金申請		
	4月以降	次年度以降の医療的ケア児についてこども子育て部等との情報共有		

本事業に関する主要データ

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,158		
職員手当等	410		
共済費	6		
旅費	75		
事業費計		1,649	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	児童クラブ運営委託費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・放課後児童の健全育成	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		児童クラブ待機児童数(人)	46	0	0	0
		※5/1時点 公設民設合計				
	目標（何を達成するのか）					
	・小学校区の地域特性やニーズに応じたきめ細かな運営の実施 ・待機児童の解消 ・基準条例に即した施設や運営体制の整備 ・放課後児童支援員の育成、人材確保					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 児童クラブ待機児童数 2029（R11）年度
	【公設児童クラブ運営】 保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場の提供、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立など、その健全な育成を図ることを目的とした放課後児童健全育成事業を実施している公設児童クラブに対して指定管理料を支出する。 平成5年事業開始後、令和7年度には41クラブ58室で実施。条例で定める設備運営基準に基づき、各クラブのニーズに対応しながら、待機児童の解消や受入数の適正化などを順次進めている。 ・指定管理者：27運営委員会、1社会福祉法人、1民間事業者 ・国庫補助基準額に対する負担割合 国1／3・県1／3・市1／3

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・令和5年度で決定した次期指定管理の運営方法に従い、令和7年度以降の指定管理者を決定した。（指定管理期間令和7～令和9年度） ・地域の運営委員会での運営（36クラブ：非公募） ・民間事業者等による運営（5クラブ：公募3クラブ、非公募2クラブ）		・地域の運営委員会から民間事業者等へ運営を移行した4クラブについて、年数回の定例会を開催する。 ・その内容を各公設児童クラブと民間事業者等へ情報提供を行うとともに、課題等を整理し、検証を行う。		・地区の運営委員会から民間事業者等へ運営の移行をした4クラブについて、年数回の定例会を開催し、内容を各児童クラブと民間事業者へ情報提供を行いながら、各運営委員会に民間事業者等への移行について意見の集約を行う。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	467,393	481,581
	国・県支出金	240,824	270,090
	地方債	0	0
	その他	126,085	96,465
	一般財源	100,484	115,026
歳入合計		467,393	481,581

課題	・年度によっては待機児童が発生する校区がある。 ・現指定管理者である運営委員会は任意団体であり、責任の所在が不明確などの構造的な問題が顕在化してきている。	方向性	・民間事業者等への運営主体の移行について、令和7年度から令和9年度の3年間の指定期間において検証を行う。 ・その検証結果や地域の実情を踏まえ、市の提案に賛同した児童クラブについては、順次、令和10年度からの民間事業者等への運営主体の移行を進める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	放課後児童健全育成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	指定管理年度協定書締結		
	7月～2月	市と指定管理者（民間事業者等）の定例会の開催		
	8月・3月	児童クラブ連絡協議会の開催		
	12月～1月	新年度入会児童募集		

本事業に関する主要データ							
児童クラブ入会状況(毎年5月1日現在)							
公設児童クラブ	開設箇所数	R1 41箇所57室	R2 41箇所58室	R3 40箇所61室	R4 40箇所60室	R5 41箇所59室	R6 41箇所58室
	定員	2,212	2,150	2,235	2,211	2,204	2,170
	入会児童数	1,864人	1,893人 (1,886人)	1,877人 (1,868人)	1,875人 (1,867人)	1,815人 (1,800人)	1,718人 (1,701人)
民間児童クラブ	開所箇所数	27箇所	31箇所	33箇所	41箇所	42箇所	45箇所
	定員	952	1,084	1,147	1,513	1,571	1,691
	入会児童数	961人 (788人)	1,093人 (859人)	1,155人 (884人)	1,436人 (1,039人)	1,548人 (1,131人)	1,664人 (1,200人)
合 計	入会児童数	2,825人 (2,652人)	2,986人 (2,745人)	3,032人 (2,752人)	3,311人 (2,906人)	3,363人 (2,931人)	3,382人 (2,901人)
	入会率	25.8% (48.8%)	27.3% (50.2%)	27.7% (50.7%)	30.4% (53.2%)	31.2% (55.0%)	32.2% (56.7%)
※令和2年度からこどもが徒歩移動できる距離に民設児童クラブがない、児童数が少なく帰宅後はこども同士で遊ぶことができないなど、地域への配慮すべき事由がある校区においては、4年生以上の入会を認める。							
※()は入会児童数のうち1～3年生							
※島根大学教育学部附属義務教育学校の児童も含む							

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	481,581		
事業費計		481,581	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	児童クラブ施設整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	児童クラブの適正な維持管理	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標になじまない。				
	目標（何を達成するのか）					
	施設の状況に応じて、計画的に改修等を行う。					

事業概要	児童クラブの施設・設備等の整備を行う。施設・設備の耐用年数を踏まえ、優先度の高いものから実施する。
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・恵曇児童クラブ空調設備更新工事 ・持田児童クラブエアコン取替工事		・美保関児童クラブ空調更新工事 ・川津児童クラブ空調更新設計委託工事	・引続き、施設や設備が老朽化している児童クラブの、改修等を行い環境改善を図る。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		5,275	20,896
財源内訳	国・県支出金	0	10,298
	地方債	5,100	9,200
	その他	0	0
	一般財源	175	1,398
歳入合計		5,275	20,896

課題	・施設の老朽化が進行している。	方向性	・特定建築物定期点検等の設備の定期点検を通じて、施設の状況を把握し、計画的に改修等を行う。
----	-----------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	放課後児童健全育成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～9月	設計		
	10月～3月	工事		

本事業に関する主要データ											
公設児童クラブ一覧表(令和6年5月1日現在)											
NO	校区	クラブ名	開設年度	NO	校区	クラブ名	開設年度	NO	校区	クラブ名	開設年度
1	古志原	古志原地区児童クラブ	H5	22	乃木	乃木児童クラブ	H7	43	八雲	やくも児童クラブ	H4
2		古志原地区児童クラブ分室	H22	23		乃木児童クラブ分室1	H31	44	八束	八束っ子児童クラブ	H11
3		古志原地区第2児童クラブ	H19	24		乃木児童クラブ分室2	H31	45	秋鹿	秋鹿児童クラブ	H17
4	大庭	大庭地区児童クラブ	H5	25	古江	乃木第2児童クラブ	H15	46	恵曇	恵曇児童クラブ	H17
5		大庭地区第2児童クラブ	H19	26		古江地区児童クラブ	H8	47	本庄	本庄児童クラブ	H18
6	城北	城北児童クラブ	H5	27		古江地区児童クラブ分室	H23	48	大野	大野児童クラブ	H18
7		城北児童クラブ分室1	H21	28	持田	持田児童クラブ	H9	49	美保関	美保関児童クラブ	H21
8	母衣	城北児童クラブ分室2	R2	29		持田第2児童クラブ	R5	50	掛屋	掛屋児童クラブ	H11
9		城東地区児童クラブ	H6	30	雑賀	雑賀児童クラブ	H10	51		掛屋児童クラブ分室	H29
10	川津	川津児童クラブ	H6	31	生馬	生馬児童クラブ	H11	52	出雲郷	出雲郷児童クラブ	H13
11		川津児童クラブ分室	H28	32	中央	中央児童クラブ	H11	53		出雲郷児童クラブ分室	H23
12		川津第2児童クラブ	H16	33		中央第2児童クラブ	H20	54	意東	意東児童クラブ	H14
13	竹矢	竹矢児童クラブ	H6	34	法吉	比津児童クラブ	H13	55		意東児童クラブ分室	R3
14		竹矢第2児童クラブ	H26	35		比津児童クラブ分室	H20	56	忌部	いんべ児童クラブ	H24
15	津田	津田児童クラブ(第1)	H6	36	朝酌	朝酌児童クラブ	H17	57	島根	しまね潮風児童クラブ	H27
16		津田児童クラブ(第2)	H14	37	玉湯	玉湯児童クラブ	H10	58	佐太	佐太児童クラブ	H27
17		津田児童クラブ(第3)	H20	38		玉湯児童クラブ分室1	H25	41児童クラブ 58室			
18	内中原	城西地区児童クラブ	H7	39	宍道	玉湯児童クラブ分室2	R3				
19		城西地区第2児童クラブ	H21	40		しんじっ子クラブ	H12				
20		城西地区第3児童クラブ	H26	41		しんじっ子クラブ分室	H30				
21		城西地区第3児童クラブ分室	H26	42	来待	きまちみちくさクラブ	H12				

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,016		
工事請負費	19,880		
事業費計		20,896	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	児童クラブ運営補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・多様なニーズに対応し、柔軟な受け入れが可能である民設民営児童クラブの運営を支援する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		児童クラブ待機児童数（人）	46	0	0	0
	目標（何を達成するのか）	※5/1時点 公設民設合計				
	・待機児童解消 ・多様なニーズへの対応					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 児童クラブ待機児童数 2029（R11）年度
	【民間児童クラブ補助】 ・待機児童解消や利用者のニーズに応じた選択肢を増やすため、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業を実施する社会福祉法人等の団体に対し補助金を交付する。 ・国庫補助基準額に対する負担割合 国1/3・県1/3・市1/3

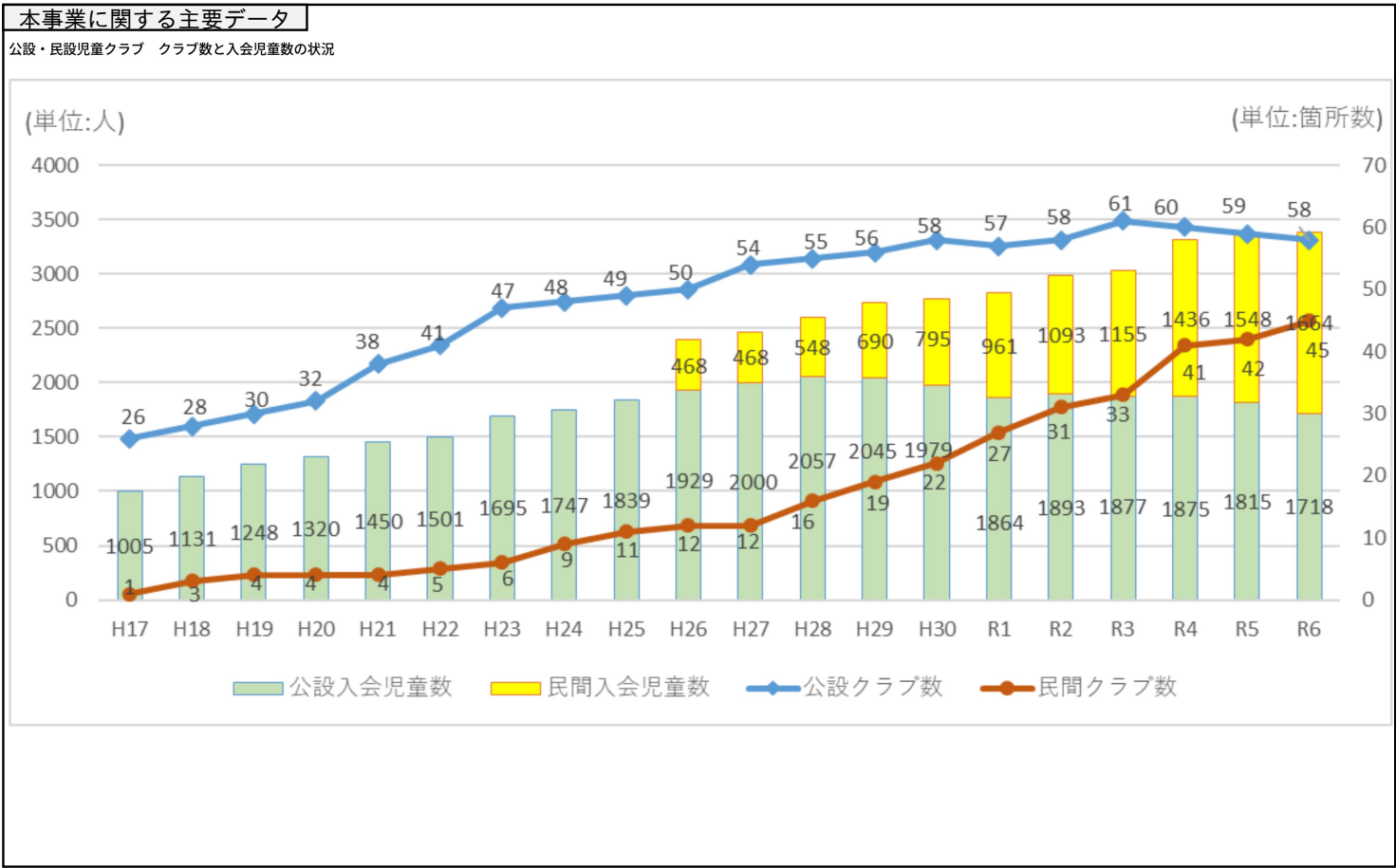
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○45児童クラブ ○新規開設3か所 ・こそけん学園中央校エンジンルーム ・遊冒キッズ ・新ひよしサンサンクラブ	○45児童クラブ ○新規開設2箇所 ・こそけん学園津田校第4ルーム ・フレアー児童クラブ ○閉所2箇所 ・学童保育たわやまっこクラブ ・学童保育施設ウイズキッズMT-M校	○45児童クラブ ○引続き運営補助を行っていく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	435,925	459,461
	国・県支出金	290,616	306,306
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	145,309	153,155
歳入合計		435,925	459,461

課題	・クラブ数や受け入れ人数が増えているが、待機児童の目標達成にはいたらなかった。引き続き待機児童解消に向けた取り組みの継続が必要である。	方向性	・待機児童対策や利用者ニーズに応じた選択肢を増やすため、民設民営児童クラブへの運営支援を継続して行う。また、国の制度を注視し、補助対象事業の拡充を検討する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	放課後児童健全育成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付申請、交付決定	3月	実績報告、精算
	6月	補助金支払い（1回目）		
	1月	変更交付申請、交付決定		
	2月	補助金支払い（2回目）		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	459,461		
事業費計		459,461	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	放課後こども教室事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	学校を核として地域全体で地域の将来を担うこどもたちを育成するとともに地域のコミュニティの活性化を図る。	項目（成果指標） 放課後こども教室実施小学校数（校）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			32	32	32	33
	目標（何を達成するのか）	一体型こども教室・児童クラブ実施数（校）	21	21	21	22
	放課後等における地域のこどもたちの安全・安心な活動場所を確保し、様々な体験活動の機会を提供することにより、こどもたちの豊かな人間性を養う。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 放課後こども教室実施小学校数（校）：2029（R11）年度 項目名 一体型こども教室・児童クラブ実施数（校）：2029（R11）年度
	・「放課後児童対策パッケージ2025」に基づき、地域のこどものために放課後等に安全・安心な活動場所を確保し、地域の方々の参画を得て、自由遊びや体験・交流活動等の様々な活動を体験する機会を提供する。
	・地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境の推進を図る。 ・国庫補助基準額に対する負担割合 国1/3

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・放課後子ども教室と児童クラブの一体型実施21校区 ・活動の充実のためスタッフの要望に沿った研修を9回開催 ・情報誌「Tweet」の発行	・放課後こども教室と児童クラブの一体型実施21校区 ・活動の充実のためスタッフの要望に沿った研修を10回程度開催 ・情報誌「Tweet」の発行	・放課後こども教室と児童クラブの一体型実施21校区 ・活動の充実のためスタッフの要望に沿った研修を10回程度開催 ・情報誌「Tweet」の発行
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		25,554	28,831
財源内訳	国・県支出金	8,139	9,167
	地方債	0	0
	その他	9,276	10,482
	一般財源	8,139	9,182
歳入合計		25,554	28,831

課題	・児童クラブ及び地域や小学校と更なる連携が必要である。 ・コーディネーターやスタッフが不足している。	方向性	・継続運営、内容の充実に向け、スタッフ等への研修の充実や情報交換の場を設ける。 ・児童クラブや地域、小学校との横のつながりの強化に向け、引き続き支援を行っていく。

教育委員会生涯学習課 放課後こども教室事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった ここで育ててよかった
	主要施策	放課後こども教室事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	コーディネーター委嘱式、事務説明会、情報交換会		
	4月～	事業実施		
	5月～	スタッフ研修会実施		
	8月～	情報誌「Tweet」の発行		

本事業に関する主要データ					
令和6年度 こどものための学びあい支えあい講座一覧					
No.	講 座 名	開催回数	参加者数(人)	内 容	講 師
1	救命講習 5/9、10、14、17、22	5	182	心肺蘇生法・応急処置の仕方・AEDの使い方を身につける。	松江市消防本部 松江北消防署 救命救急士
2	支援の必要なこどもの理解と接し方支援Ⅰ（基礎編） 6/13	1	64	支援の必要な子どもについて理解し、基本的な対応の仕方について考える。	発達・教育相談支援センター(エスコ) 教育指導講師
3※	障がい者スポーツ体験 ～ポッチャも体験しよう～ 7/9	1	48	障がい者スポーツを体験することを通して、障がい者スポーツへの理解と共感を深める。様々な障がい者スポーツの紹介を通して、クラブや教室での体験促進につなげる。	島根県障害者スポーツ協会
4	知って安心！食物アレルギー ～現状と対応のポイント～&応急手当 9/18	1	48	食物アレルギーについての正しい知識とその対応の仕方、保護者や学校との連携の在り方について学ぶ。こどもの日常に起きるけが等に対する応急手当の仕方と対応について学ぶ。	松江市教育委員会 学校教育課 保健体育係長
5※	アンガーコントロール講座 ～よりよい人間関係をめざして～ 10/11	1	64	アンガーマネジメントについて初歩的なテクニックを学び、よりよい人間関係のづくり方やこどもへの接し方について学ぶ。	日本アンガーマネジメント協会 尾崎 浩一 氏
6	安全管理研修 ～こども達の安心・安全な放課後のために～ 10/23、29	2	78	初期消火・通報の仕方を学ぶ。（消火訓練未実施の児童クラブは1名以上参加）児童の安全確保や防犯対策についての具体的な方法について学ぶ。	松江南消防署 松江警察署
7	支援の必要なこどもの理解と接し方Ⅱ（専門編） 12/5	1	36	支援の必要な子どもについて、講話やグループ別対話・意見交換を通して理解を深めるとともに、具体的な対応の仕方を学んだり、スタッフ同士のつながりを深めたりする機会とする。	発達・教育相談支援センター(エスコ) 教育指導講師他
8※	みんなで伝える 本の楽しさ 1/20	1	41	読み聞かせの意義、目的、効果的な読み聞かせのポイントや児童書の選書の仕方等、実演を交えながら学ぶ。ビッグブックやハネルシアターなどの多様な図書の良さを知ってもらうとともに各クラブ・教室での派遣依頼につなげる。	松江市立図書館 司書
9	実践に学ぶ 児童クラブの取組紹介 2/19	1	47	他のクラブの実践紹介を聞くことにより、自分のクラブ・教室での取組を再確認し、新たな刺激を受けて取組を充実させる。その後、みなさんで意見交換をする。	各児童クラブ 松江市教育委員会 生涯学習課
※ 放課後等ディサービスのスタッフ参加(障がい者福祉課)					
放課後子ども教室実施状況					
年度	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）
登録児童	1,720人	1,741人	1,522人	1,456人	1,422人
安全管理者数	468人	461人	451人	444人	435人

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	9,805		
需用費	10		
役務費	2,458		
委託料	16,547		
使用料及び賃借料	11		
事業費計		28,831	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ふるさとを愛し、主体的に自己の将来を考えるこどもの育成。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		職業人出前授業 小5～中3の受講割合（％）	42.3	46	47	50
		将来の夢や目標を持つ小6の割合（％）	81.6	82	83	87
	目標（何を達成するのか）	将来の夢や目標を持つ中3の割合（％）	64.1	68	69	72

事業概要	(数値目標の達成目標年度) 項目名 職業人出前授業（「まつえ『こども夢☆未来』塾」）小5～中3の受講割合：2029（R11）年度 項目名 将来の夢や目標を持つ小6、中3の割合：2029（R11）年度 ※R7年度より、本事業費に「キャリア・パスポート推進事業費」を統合することに伴い、目標項目を「地域や社会に関心のある小6、中3の割合」から「将来の夢や目標を持つ小6、中3の割合」に変更。
	・「まつえ『こども夢☆未来』塾」（職業人出前授業）や中学生の社会体験（職場体験）学習の支援、キャリア・パスポートの活用等を通して、学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図る。 ・小6を対象に国宝松江城を教材とした学習「松江城授業プロジェクト」を実施し、ふるさと教育の充実を図る。
	・「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・「まつえ『こども夢☆未来』塾」を31校（小16校、中15校）で実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」を8校20クラスで実施。 ・職場体験学習受入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。		・「まつえ『こども夢☆未来』塾」の拡充・実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・職場体験学習受入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。 ・小1を対象に「キャリア・パスポート用ファイル」を配布。		・「まつえ『こども夢☆未来』塾」の拡充・実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・職場体験学習受入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。 ・小1を対象に「キャリア・パスポート用ファイル」を配布。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,185	3,351
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,185	1,700
	一般財源	0	1,651
歳入合計		3,185	3,351

課題	・グローバル社会の中で自立した生活ができる人材を育成するためには、キャリア教育・ふるさと教育を推進し、社会人になるための基礎的な力を育てることが必要である。 ・引き続き、ふるさとにある「ひと・もの・こと」といった教育資源を活用した体験活動の充実を図っていくことが必要である。	方向性	・発達の段階に応じた系統的なキャリア教育・ふるさと教育を展開し、地域の教育力を生かした学校教育活動を引き続き推進する。 ・児童生徒だけでなく、保護者を含めたキャリア・パスポートの活用を進める。 ・「まつえ『こども夢☆未来』塾」において、多様な職種や価値に触れさせるために、時代や学校、こどものニーズに応じたプレゼンター（講師）を拡充していく。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	キャリア・パスポート用ファイルの配布		
	6月～12月	「松江城授業プロジェクト」の実施		
	6月～2月	「まつえ『こども夢☆未来』塾」の実施		

本事業に関する主要データ	
○まつえ「こども夢☆未来」塾 ・H26年度より、小5～中3を対象に実施。 R4年度 33校（小20校・中13校） R5年度 34校（小20校・中14校） R6年度 31校（小16校・中15校）	
○松江城授業 ・H28年度より、全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施。	
○職場体験学習 ・主に中3（義務教育学校9年生）を対象に実施。 R4年度 11校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から6校が中止。(内5校は事業所を呼び、職業についての講話を聞く。) R5年度 17校において実施。中止校はなし。 R6年度 17校において実施。中止校はなし。	

R7節別当初予算額内訳（千円）				
節名称		金額	節名称	金額
報償費		210		
需用費		614		
委託料		77		
使用料及び賃借料		2,450		
事業費計				3,351

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	コミュニティ・スクール推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	こどもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		地域や社会に関心のある小6の割合（％）	83.9	74	75	80
	目標（何を達成するのか）	地域や社会に関心のある中3の割合（％）	74.3	66	70	80
	市立小・中・義務教育学校において、学校運営協議会制度を導入する。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 地域や社会に関心のある小6、中3の割合：2029（R11）年度 ※当該項目の実績は全国学力調査における類似の質問事項に対する結果を引用している。
	・各学校における学校運営の改善や児童生徒の健全育成を進めることができる「地域とともにある学校づくり」や学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。 ・市立各小・中・義務教育学校・高校に学校運営及び学校運営への必要な支援に関して協議する機関として「学校運営協議会」を設置する。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・各校の学校運営協議会の充実を図るために、会長や校長を対象にした「コミュニティ・スクール連絡協議会」と「地域学校協働本部連絡会」を同時開催。		・各校の学校運営協議会の充実や地域学校協働本部との連携を図るため、会長や校長を対象にした「コミュニティ・スクール連絡協議会」と「地域学校協働本部連絡会」を同時開催。		・各校の学校運営協議会の充実や地域学校協働本部との連携を図るため、会長や校長を対象にした「コミュニティ・スクール連絡協議会」と「地域学校協働本部連絡会」を同時開催。	
	・小・中・義務教育学校は地域学校協働本部と連携して実施。		・小・中・義務教育学校は地域学校協働本部と連携して実施。		・小・中・義務教育学校は地域学校協働本部と連携して実施。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		1,641	2,293
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,641	2,293
歳入合計		1,641	2,293

課題	・学校運営協議会委員を対象に、制度に関する理解を更に図っていく必要がある。 ・この制度が有効に機能するために、地域学校協働本部との連携を強化していく必要がある。 ・校内や地域に対してコミュニティ・スクールに関する理解を更に深めていく必要がある。	方向性	・学校運営協議会会長や校長を対象とした連絡協議会を実施し、制度に対する理解を図っていく。 ・地域学校協働本部との連携を図るため、地域学校コーディネーターの学校運営協議会への参画を進める。 ・市内全校に設置したことにより、校内を含め地域に対してコミュニティ・スクールに関する理解を深めていく。 ・学校運営協議会で学校の課題について共有し、議論できるようにしていく。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	コミュニティ・スクール推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学校運営協議会委員の任命	2月～3月	学校運営協議会の開催（各校）
	5月～6月	学校運営協議会の開催（各校）		
	6月	コミュニティ・スクール連絡協議会の開催		
	10月～11月	学校運営協議会の開催（各校）		

本事業に関する主要データ	
OR2年度よりコミュニティ・スクールを一部モデル校（18校）に設置	
OR4年度に市立全小・中・義務教育学校・高等学校に設置完了	
OR6年度「コミュニティ・スクール連絡協議会」研修会（地域学校協働本部連絡協議会と同時開催）	
・参加者：学校運営協議会・学園教育推進会議会長・委員、学校代表、地域学校コーディネーター 138名	
・内容：事例紹介（湖北学園）、講話（学校運営協議会と地域学校協働本部の連携）、学園グループ協議（意見交換）	
・講師：NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重 幸恵 氏	

R7節別当初予算額内訳（千円）				
節名称		金額	節名称	金額
報酬		2,016		
需用費		166		
役務費		111		
事業費計		2,293		

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	「夢☆未来」学力育成推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ふるさと松江を愛し、確かな学力と豊かな人間性を持ち、力強く未来を切り拓く児童生徒を育成する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る小学校割合（％）	30.3	55	60	75
		全国学調 全国値を上回る中学校割合（％）	37.5	65	70	80
	目標（何を達成するのか）					
	・学力向上対策を充実し、こどもたちの確かな学力の伸長を図る。 ・研修を充実し、教員の指導力・授業力の向上を図るとともに、こどもたちの学習意欲の向上を図る。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 全国学力調査（小6・中3） 全国値を上回る小中学校の割合：2029（R11）年度 ・算数・数学を対象教科として次の人員を配置し、児童生徒の学力向上と学習基盤づくりの推進等の充実を図る。 【学力向上支援員】 授業補助や補充学習サポートを行う。【配置校】4校程度 【学力向上支援講師】 少人数授業を主担当で行うことが可能。【配置校】8校程度 ・松江市学力調査（対象：小5・6、中1・2）を実施し、児童生徒の学習状況を客観的に把握して、学力向上を図る。 ・たつじんテスト（小3）を実施し、児童の学習のつまづきの要因を把握し、児童の学習支援を行う。 ・学力向上担当の教育指導講師（3人）を配置し、学校訪問の設定や巡回指導主事訪問等の充実を図る。
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	(1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用 ・支援員 4人／支援講師 8人 (2)学力定着診断テスト・プリント（算数・数学）の配信 ・全国学力調査過去問（小3～中3対象） ・市独自のプリント・テスト（小4～6対象） ・算数ミニテスト（小5・6対象） (3)指導主事による学校訪問の実施 ・指導講師2人配置		(1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用（支援員 4人／支援講師 8人） (2)松江市学力調査の実施（小5～6：国語・算数／中1～2：国語・数学・英語） (3)たつじんテスト実施(小3) (4)指導主事による学校訪問指導の実施 (5)「算数・数学」テスト・プリントの配信（全国学調過去問や市独自プリント・テスト等） ・指導講師3人配置	(1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用（支援員 4人／支援講師 8人） (2)松江市学力調査の実施（小5～6：国語・算数／中1～2：国語・数学・英語） (3)たつじんテスト実施(小3) (4)指導主事による学校訪問指導の実施 (5)「算数・数学」テスト・プリントの配信（全国学調過去問や市独自プリント・テスト等） ・指導講師3人配置
	達成度			
	2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	43,291	60,443
	地方債	0	23,212
	その他	0	0
	一般財源	43,291	37,231
	歳入合計	43,291	60,443

課題	・全国学力調査結果（小6国算、中3国数英）において、中3国語以外は、全国平均値を下回る結果であり、教員の指導力向上が必要である。 ・中学校の家庭学習の時間も全国値を下回る状況が続いており、確かな学力の定着に向けて家庭学習の在り方や保護者との連携などの対策を検討する必要がある。 ・各種学力調査の結果分析や授業改善に向けた対策など学力調査結果の効果的な活用方法が市内各校で十分に共有されていない。	方向性	・こどもたち一人一人の教育的ニーズに応えるきめ細かな指導を行うために、授業補助を行う学力向上支援員や少人数授業を主担当で受け持つ学力向上支援講師といった人的支援のさらなる充実を図る。 ・市学力調査を活用し、個々の児童生徒の結果に基づいた復習に取り組み学力の定着を図るとともに、調査実施学年を校内の代表値として同一集団の経年比較をすることによって、各校の取組の成果と課題を確認し次年度に向けた検証改善サイクルを回す。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	「夢☆未来」学力育成推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学力向上支援員・支援講師配置	12月	松江市学力調査
	5月	学力向上担当者会	1月	松江市学力調査結果分析
	6月	学力向上支援員・支援講師配置校訪問	3月	次年度の学力向上支援員・支援講師配置準備
	10月～11月	学力向上支援員・支援講師配置校訪問	※4月～7月	たつじんテストの実施

本事業に関する主要データ

○学力向上支援員【週29h】：学習支援が必要な児童生徒に個別対応（TTによる学習指導におけるT2）
→その他：教材教具の開発／補充学習会の企画運営／学力向上に係るデータ分析 等

○学力向上支援講師【週20h】：少人数指導におけるT1による学習指導（原則として習熟度別少人数授業の実施）
※単元によってはTTによるT2（またはT1）担当
→その他：授業準備や成績作業／若手教員育成のための示範授業 等

学力向上支援員 4校配置
週29H勤務(基本:T2)

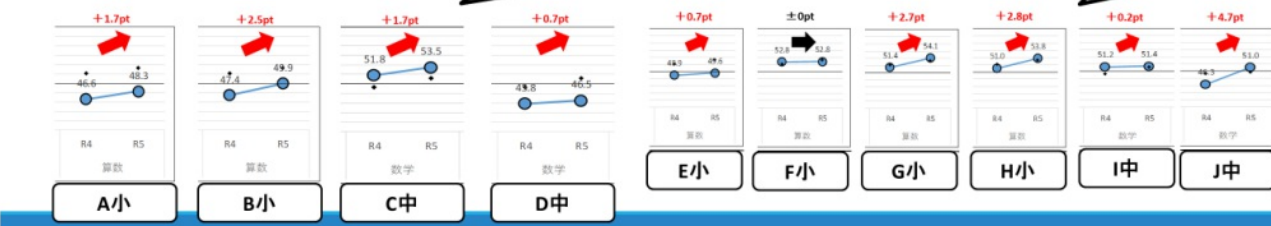
<配置対象学年>小学校:第6学年、中学校:第2学年
<配置対象教科>小学校:算数、中学校:数学

支援員配置全校でUP！

学力向上支援講師 6校配置
週20H勤務(基本:T1)

<配置対象学年>小学校:第6学年、中学校:第2学年
<配置対象教科>小学校:算数、中学校:数学

(R小だけ±0ptでしたが)その他支援講師配置校はUP！(※V中は+4pt越え)



※TT：複数の教師が協力して行う授業形式

※T1：全体の授業を進める教師

※T2：集団全体を見ながら支援が必要な児童生徒を中心に支援する教師

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	29,615		
職員手当等	11,355		
共済費	8,805		
旅費	711		
委託料	9,247		
負担金補助及び交付金	710		
事業費計		60,443	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	I C T活用教育推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	情報化社会に対応できる能力育成を図るため、「松江市版GIGAスクール構想」に基づき、市立小・中・義務教育学校におけるICT活用の環境を整え、情報活用教育を推進していく。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る小学校割合（％）	30.3	55	60	75
	目標（何を達成するのか）	全国学調 全国値を上回る中学校割合（％）	37.5	65	70	80
	児童生徒に1人1台端末や市立小・中・義務教育学校の全クラスにICT教育機器を配備し、授業の質の向上や児童生徒の学力の育成を図る。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 全国学力調査 全国値を上回る小中学校の割合（％）：2029（R11）年度
	H26年度から、各小・中・義務教育学校にICT教育機器（書画カメラ・プロジェクター・スクリーン等）の整備を行い、R2年度からは新学習指導要領に対応したICT教育機器整備を新ICT3点セット（電子黒板、タブレット、ネット環境）に切り替え、配備済みの旧3点セットは理科室以外の特別教室で活用する。また、児童生徒1人1台端末の環境を整備する。 R3年度末に松江市GIGAスクール構想を策定。R4年度にICT教育推進係を新設。R5年度にICT教育整備係を新設。教育指導講師2人をICT活用教育専任（ICT支援員）で配置し、ICT機器を活用した授業支援及び教員向けのICT研修の開催等、ICT活用教育の充実を図る。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・継続:電子黒板リース、タブレットリース ・ICT研修会：49回、リーダー研修：2回、ほっとライン訪問：30回以上 ・ICT教育推進検討委員会の開催：3回 ・ICT活用事例発表会の開催：1回 ・オンライン授業実施に向けた著作物利用手続き等 ・タブレット用ドリルソフトの活用 ・タブレット端末次期更新計画の検討 ・次期GIGAスクール構想の検討・策定 ・Googleライセンスの発行	・継続:電子黒板リース、タブレットリース ・次期GIGAタブレット調達 ・ICT研修会の開催、授業支援の実施 ・ICT活用事例発表会の開催 ・オンライン授業実施に向けた著作物利用手続き等（授業目的公衆通信補償金） ・タブレット用ドリルソフトの活用	・継続:電子黒板リース、1人1台端末リース ・ICT研修会の開催、授業支援の実施 ・ICT活用事例発表会の開催 ・オンライン授業実施に向けた著作物利用手続き等（授業目的公衆通信補償金） ・タブレット用ドリルソフトの活用
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	212,293	243,823
	国・県支出金	144,201	152,000
	地方債		
	その他	20,230	28,937
	一般財源	47,862	62,886
歳入合計		212,293	243,823

課題	・ICT機器を効果的に活用した学びの推進と授業改善により学習意欲を高め、主体的に伝え合い学ぶ合うこどもの育成に向けた研修やプログラミング教育等に対応するデジタル教材やコンテンツを活用した授業研修等の充実が必要である。 ・児童生徒や教員のICT活用スキルの向上や環境整備を進める必要がある。 ・最新の活用事例やICT機器情報を把握しながら将来的な展望や計画を策定していく必要がある。	方向性	・電子黒板、タブレットを日常的に活用できるようICT活用研修やICT支援員（指導講師）による情報提供、訪問支援について、一層の充実を図る。 ・校務でのICT活用を進め、教職員の活用スキル向上に繋げる。 ・全教科におけるデジタルコンテンツの活用へ向け、学習支援ソフトの導入等一層のICT環境整備が望まれる。

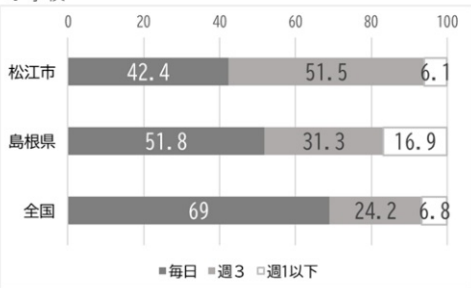
松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	ICT活用教育推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	電子黒板・タブレットリース料支払い	1月	新1人1台端末の活用開始
	4月～3月	Googleworkspaceの活用		
	5月	授業目的公衆送信補償申請		
	5月～12月	ICT活用推進リーダー教員・全教員対象研修		

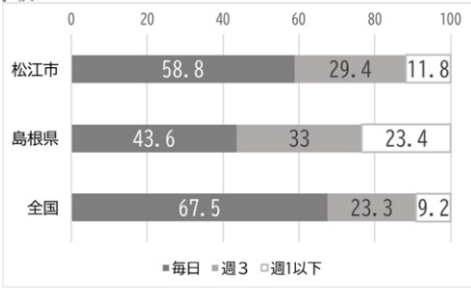
本事業に関する主要データ

■児童・生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたタブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用したか
(出典：令和6年度 全国学力・学習状況調査、回答：学校)

小学校

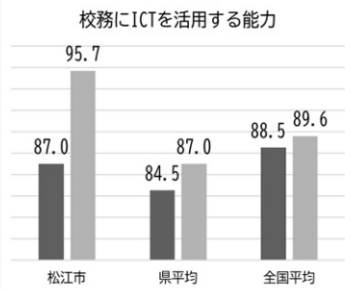


中学校

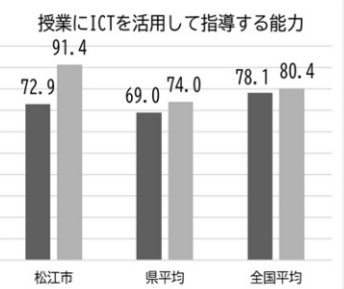


■教員のICT活用指導力の状況
(出典：令和5年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査、回答：教員)

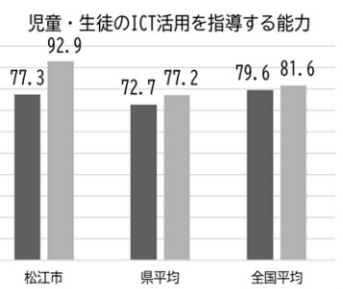
校務にICTを活用する能力



授業にICTを活用して指導する能力



児童・生徒のICT活用を指導する能力



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,416	使用料及び賃借料	208,799
職員手当等	1,693	補償補填及び賠償金	2,221
共済費	1,097		
旅費	304		
需用費	9,810		
役務費	10,695		
委託料	4,788		
事業費計		243,823	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	外国語教育推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	学習指導要領実施における外国語教育の拡充及び重点化により、今後さらに外国語教育を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る中学校割合（％）	37.5	65	70	80
	目標（何を達成するのか）	市学調 前年度比偏差値上昇校の割合（％）		70	73	80
	・市立小・中・義務教育学校における外国語教育を推進し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力や外国語の学習への意欲を高める。 ・外国語教育における小中学校の連携を円滑にすすめる。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 全国学力調査(小6・中3) 全国値を上回る中学校割合（％）：2029（R11）年度 項目名 松江市学力調査(小6・中2) 偏差値（全国推定値との差）が前年より上昇した学校の割合（％）：2029（R11）年度
	・英語の専門性を有する専任スタッフを配置し、市立小・中・義務教育学校における外国語教育に指導・助言を行い、教員の指導力向上と児童生徒の英語力向上を図る。 ・指導主事とともに小学校における外国語・外国語活動及び中学校英語の授業訪問や訪問指導を行うことにより、教材やICT、外国語指導助手（ALT）等の活用状況を把握し、今後の整備に活かす。 ・外国語教育指導協力員やALTの配置や派遣について、指導主事の補助を行う。 ・外国語教育に関わる教材の充実を図る。 ・児童生徒の英語での発信力、コミュニケーション力の育成を目的として「松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト」事業を実施する。 ※R6年度末の鳥根県学力調査廃止に伴い、R7年度より松江市学力調査の項目を成果指標に変更したが、令和7年度予算説明後、新たに同一集団の学力の伸びに着目した項目を成果指標として変更した。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ実施		専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ実施		専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ実施	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,453	3,718
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,453	3,718
歳入合計		3,453	3,718

課題	・各校における外国語・外国語活動や英語科への取組や整備に差がある。 ・外国語教育指導協力員やALTをさらに有効に活用するための研修及び配置の工夫等が必要である。	方向性	・学習指導要領における外国語教育について、市立小・中・義務教育学校の教員へ研修や授業改善のための指導を行う。 ・ICT機器や教材について、整備や活用を進める。
	・学習指導要領についての相互理解や指導において小中学校の連携が十分とは言えない。		・外国語教育指導協力員やALTがより効果的に活用されるよう、人材確保や配置の工夫、研修に努める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	外国語教育推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	専任スタッフ配置		
	5月～	学校訪問指導		
	7月	イングリッシュキャンプ		
	11月	イングリッシュコンテスト		

本事業に関する主要データ

1. 外国語教育に係る学校訪問回数(令和6年度までは実績、令和7年度は予定)		
年度	回数	内 訳
R2	30	中学校訪問15、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4、その他3(市教研授業研修会)
R3	31	小学校訪問12、中学校訪問6、高等学校1、小学校専科加配教員研修7、フォローアップ研修5
R4	28	小学校訪問9、中学校訪問7、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4
R5	29	小学校訪問11、中学校訪問6、小学校専科加配教員研修1、フォローアップ研修5、小中高連携事業6
R6	21	小学校訪問12、中学校訪問3、小学校専科加配教員研修1、フォローアップ研修3、その他2(市教研授業研修会)
R7	24	小学校訪問10、中学校訪問5、小学校専科加配教員研修4、フォローアップ研修5

➡新型コロナウイルス感染症対応により、2回中止

2. 外国語教育に係る研修(令和6年度実績)		
研修名(開催時期または回数)	主な対象(参加人数)	主な研修内容
小学校外国語教育研修(7月)	小学校教員(30名)	デジタル教科書の活用について
小学校外国語専科加配教員研修(2回)	該当教員 (7名)	授業参観をとおして授業力の向上を図る

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,141		
職員手当等	821		
共済費	510		
報償費	20		
旅費	20		
需用費	191		
役務費	15		
事業費計		3,718	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	外国語指導助手（ＡＬＴ）配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市立小・中・義務教育学校及び皆美が丘女子高等学校での外国語教育の充実を図るため、英語を母語とする外国人を外国語指導助手（ALT）として配置する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る中学校割合（％）	37.5	65	70	80
	目標（何を達成するのか）	市学調 前年度比偏差値上昇校の割合（％）		70	73	80
	国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりをめざし、ネイティブスピーカーの生きた英語や文化に触れる機会を増やすことによって、児童生徒の興味・関心や英語でのコミュニケーション能力を高める。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 全国学力調査（小6・中3） 全国値を上回る中学校の割合（％）：2029（R11）年度 項目名 松江市学力調査（小6・中2） 偏差値（全国推定値との差）が前年より上昇した学校の割合（％）：2029（R11）年度
	○学習指導要領に示されるグローバル社会に対応できる人材の育成 ・外国語教育を充実させ、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を伸ばすことを目的に、16人の外国語指導助手（ALT）を市立小・中・義務教育学校及び皆美が丘女子高に配置している。（学級数に応じた日数、原則学園毎に同ALTを配置） ・児童生徒の英語や外国への興味・関心を高めるとともに、国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりを行う。
	※R6年度末の島根県学力調査廃止に伴い、R7年度より松江市学力調査の項目を成果指標に変更したが、令和7年度予算説明後、新たに同一集団の学力の伸びに着目した項目を成果指標として変更した。

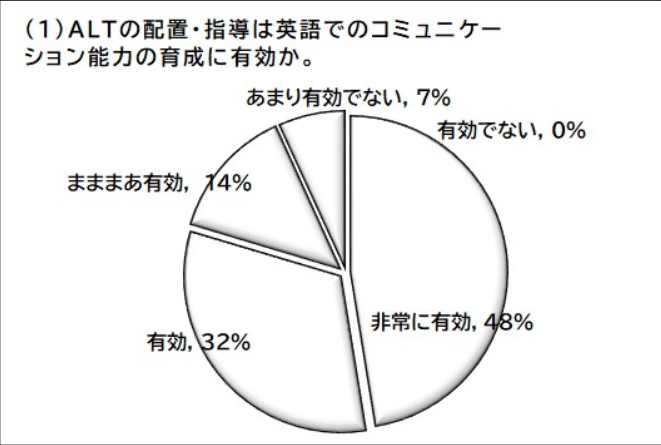
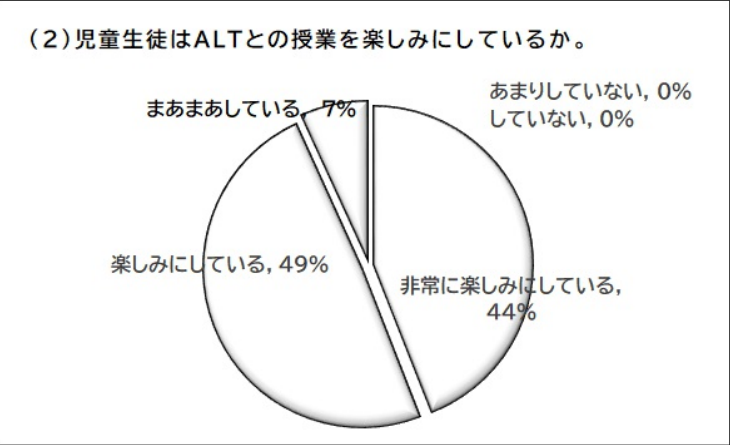
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・外国語指導助手配置 16人 ・ALTの有効活用に向けた学校訪問及び研修等による指導の実施。	・外国語指導助手配置 16人 ・ALTの有効活用に向けた学校訪問及び研修等による指導の実施。 ・令和8年度～10年度の契約に向けたプロポーザルの実施。	・外国語指導助手配置 16人 ・ALTの有効活用に向けた学校訪問及び研修等による指導の実施。
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		73,709	73,709
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	73,709	73,709
歳入合計		73,709	73,709

課題	・現在松江市ではALTを学園（中学校区）ごとに配置している。外国語教育における小中学校の円滑な接続が行われるよう一層の工夫や研修が必要である。	方向性	・学習指導要領における「外部人材の活用」の在り方について、学校訪問や研修会の際に指導助言を行う。 ・派遣契約におけるALT活用について、学校訪問等の機会に周知・指導を行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	外国語指導助手（ALT）配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	ALT配置		
	5月～	ALT研修（年間3回）・・・契約事務所による		
	12月	学校による評価		
	2月	次年度計画作成		

本事業に関する主要データ																									
「令和6年度松江市外国語指導助手(ALT)の配置に係る調査」(R7.2月実施) ※各学校(小・中・義務教育学校・皆美が丘女子高校)より回答																									
(1)ALTの配置・指導は英語でのコミュニケーション能力の育成に有効か。  <table border="1"><caption>ALT配置・指導の有効性に関する調査結果</caption><thead><tr><th>有効性</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>非常に有効</td><td>48%</td></tr><tr><td>有効</td><td>32%</td></tr><tr><td>まままあ有効</td><td>14%</td></tr><tr><td>あまり有効でない</td><td>7%</td></tr><tr><td>有効でない</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	有効性	割合	非常に有効	48%	有効	32%	まままあ有効	14%	あまり有効でない	7%	有効でない	0%	(2)児童生徒はALTとの授業を楽しみにしているか。  <table border="1"><caption>児童生徒のALT授業に対する関心に関する調査結果</caption><thead><tr><th>関心度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>非常に楽しみにしている</td><td>44%</td></tr><tr><td>楽しみにしている</td><td>49%</td></tr><tr><td>まあまあしている</td><td>7%</td></tr><tr><td>あまりしていない</td><td>0%</td></tr><tr><td>していない</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	関心度	割合	非常に楽しみにしている	44%	楽しみにしている	49%	まあまあしている	7%	あまりしていない	0%	していない	0%
有効性	割合																								
非常に有効	48%																								
有効	32%																								
まままあ有効	14%																								
あまり有効でない	7%																								
有効でない	0%																								
関心度	割合																								
非常に楽しみにしている	44%																								
楽しみにしている	49%																								
まあまあしている	7%																								
あまりしていない	0%																								
していない	0%																								

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	73,709		
事業費計		73,709	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	小学校外国語教育指導協力員派遣事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市立小・義務教育学校（前期課程）での外国語・外国語活動の授業及び国際理解教育の充実を図るため、英語の指導力を有する外国語教育指導協力員を配置する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		授業や指導がより充実する肯定的回答（％）	100	100	100	100
		※小学校外国語教育指導協力員配置調査				
	目標（何を達成するのか）					
	国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりをめざし、英語によるコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を身に付けたこどもを育てる。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 授業や指導がより充実する肯定的回答（％）：2029（R11）年度
	・学習指導要領における小学校3・4年生「外国語活動」の必修化及び5・6年生教科「外国語」により、この事業を充実する必要がある。 ・小学生が英語に慣れ親しみながら意欲的に学ぶため、英語の専門性と多様な知識や経験を持つ外国語教育指導協力員がモデルを示したり、担当教員と協力しながら対話や活動、授業準備等を行ったりする。 ・専科加配のあった学校を除く市立小・義務教育学校（前期課程）に、外国語教育指導協力員を配置することを原則とする。

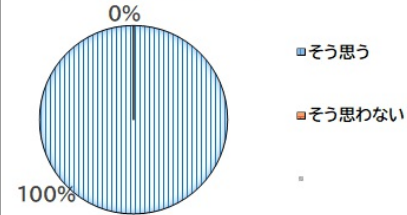
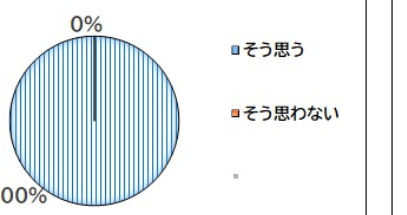
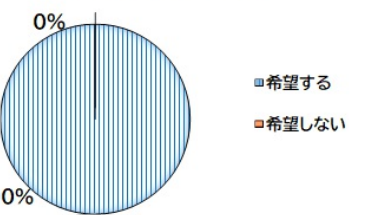
事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・外国語教育指導協力員配置 8人（小学校23校、義務教育学校2校） ・派遣回数 960回		・外国語教育指導協力員配置 8人（小学校23校、義務教育学校2校） ・派遣回数 960回		・外国語教育指導協力員配置 8人（小学校23校、義務教育学校2校） ・派遣回数 960回	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		5,684	5,684
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	5,684	5,684
歳入合計		5,684	5,684

課題	・各校での需要や要望が高まっているが十分な配置ができていない。 ・外国語教育を推進するため外国語教育指導協力員の派遣回数を増やしていくとともに、より有効な活用についての検討や研修等を進める必要がある。	方向性	・小学校外国語教育が中学校での教育に繋がるよう、外国語教育指導協力員のよりよい活用について検討する。 ・十分な指導力を有する外国語教育指導協力員の確保と派遣回数の増加に向けた体制を整備する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	小学校外国語教育指導協力員派遣事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	外国語教育指導協力員配置		
	1月	学校による評価		
	2月	次年度配置計画		

本事業に関する主要データ	
「令和6年度松江市小学校外国語教育指導協力員配置に係る調査」(R7.2月実施) ※外国語教育指導協力員配置校回答	
(1)外国語教育指導協力員の配置は児童にとって効果的である。 	(2)外国語教育指導協力員の配置は教員にとって効果的である。 
(3)令和7年度小学校外国語教育指導協力員配置を希望するか。 	
〔(1)児童にとって〕特にどのような点で効果的か。(複数回答可) 1. 児童に標準的な英語を聞かせることができる。 92 % 2. 学習活動や教材等が工夫されている。 52 % 3. 異文化理解・国際交流 56 % 4. その他（・児童の書いた文章のチェック、英語でのコミュニケーションの手助け） 〔(2)教員にとって〕特にどのような点で効果的か。(複数回答可) 1. 授業や指導がより充実する。 92 % 2. 教員の準備等の負担が軽減される。 44 % 3. 指導方法が参考になる。 76 % 4. その他（・言語上の間違いを指摘してもらえる）	

R7節別当初予算額内訳（千円）					
節名称		金額	節名称		金額
報償費		5,684			
事業費計			5,684		

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	学校図書館司書配置事業費（小学校）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 図書の貸出や返却業務、図書館環境整備により、読書活動や学習活動の活性化を図る。 ・ 児童の読書や学習に関する図書の選定等の相談や指導を行うことにより、読書活動の意欲向上と充実を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る小学校割合（％）	30.3	55	60	75
	目標（何を達成するのか）	市学調 前年度比偏差値上昇校の割合（％）		70	73	80
	児童の読書意欲を高めるとともに授業での学習資料の提供や探究的な学習の補助をするなど、教職員と共に学校図書館活用教育の充実を図る。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 全国学力調査（小6・中3） 全国値を上回る小学校割合（％）：2029（R11）年度 項目名 松江市学力調査（小6・中2） 偏差値（全国推定値との差）が前年より上昇した学校の割合（％）：2029（R11）年度
	全市立小・義務教育学校前期課程に学校司書を配置し、児童生徒の情報リテラシーの習得と読書活動に対する意欲向上、学習資料の相談や提供、探究的な学習の補助等を通して、学校図書館活用教育の充実を図る。 ・ 小学校（義務教育学校八束学園、玉湯学園前期課程を含む）：計33人（週27h勤務17人、週23h勤務16人）
	※毎年他県から学校図書館活用教育の先進地区として松江市へ行政視察があり、学校教育課内に設置する学校図書館支援センターで対応している。 ※R6年度末の島根県学力調査廃止に伴い、R7年度より松江市学力調査の項目を成果指標に変更したが、令和7年度予算説明後、新たに同一集団の学力の伸びに着目した項目を成果指標として変更した。

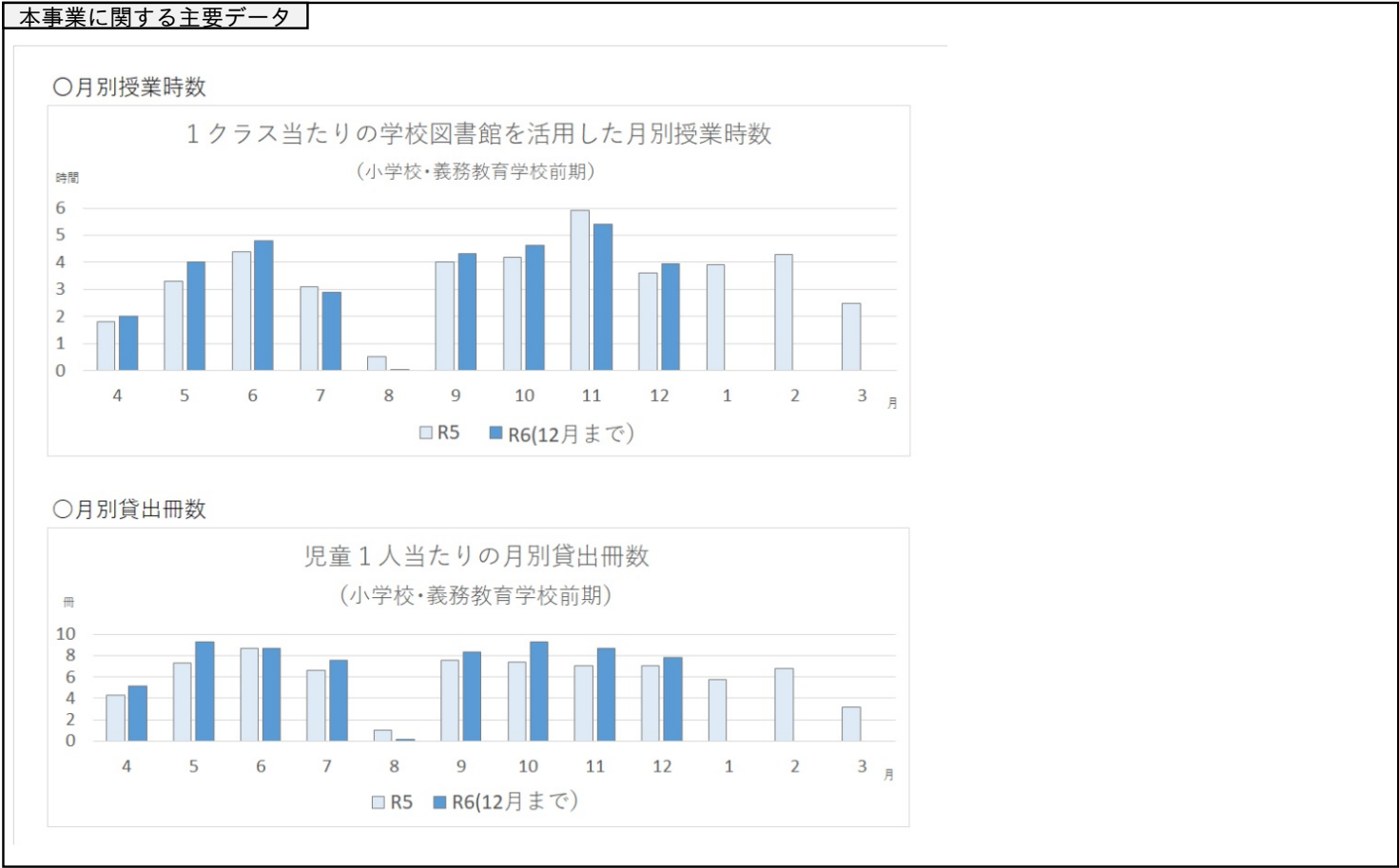
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・ 市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ33人配置（週27時間17人、週23時間16人 計33人）	・ 市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ33人配置（週27時間17人、週23時間16人 計33人）	・ 市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ33人配置（週27時間17人、週23時間16人 計33人）
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		81,436	89,278
財源内訳	国・県支出金	20,346	22,963
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	61,090	66,315
歳入合計		81,436	89,278

課題	・ 学習指導要領における理念に基づき、こどもたちが社会に出てからも様々な課題に対処し、解決できる資質・能力を身に付けるために、学校司書の全校配置を継続するとともに、学校規模に応じた勤務時間について計画的に取り入れることが必要である。 ・ 学校図書館活用教育の充実のために構築した校内体制を活用し、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書が協働し様々な教科での実践に取り組む必要がある。	方向性	・ 学校司書全校配置を継続して校内体制の充実を図り、司書教諭や授業担当教員との連携を強化し、学校図書館を活用した授業時数を増やす。 ・ 学校司書・司書教諭の資質・能力の向上を図るための研修を充実させる。 ・ 児童一人当たりの年間貸出冊数を伸ばし、本や資料との出会いの機会を増やすことで、読書活動を活性化させる。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	学校図書館司書配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	全小学校・義務教育学校へ学校司書配置		
	4月～12月	学校司書対象研修会実施		
	2月～3月	次年度の学校司書配置準備		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	53,399		
職員手当等	20,463		
共済費	13,216		
旅費	2,200		
事業費計		89,278	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会学校教育課	学校図書館司書配置事業費（中学校）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 図書の貸出や返却、図書館環境整備により、読書活動の活性化を図る。 ・ 生徒や教員へ資料選定等の相談、効果的な資料の提供等、学習活動をサポートすることにより、生徒の学習内容の理解と意欲向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る中学校割合（％）	37.5	65	70	80
		市学調 前年度比偏差値上昇校の割合（％）		70	73	80
	目標（何を達成するのか）					
	生徒の読書意欲を高めるとともに、生徒や教職員から授業で使う学習資料の相談や提供、探究的な学習の補助をするなど、教職員と共に学校図書館活用教育の充実を図る。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度）
	項目名 全国学力調査（小6・中3） 全国値を上回る中学校割合（％）：2029（R11）年度
	項目名 松江市学力調査（小6・中2） 偏差値（全国推定値との差）が前年より上昇した学校の割合（％）：2029（R11）年度
	全市立中・義務教育学校後期課程に学校司書を配置し、児童生徒の情報リテラシーの習得と読書活動に対する意欲向上、学習資料の相談や提供、探究的な学習の補助等を通して、学校図書館活用教育の充実を図る。 ・ 中学校（義務教育学校八束学園、玉湯学園後期課程を含む）：計15人（週27h勤務8人、週23h勤務7人）
	※毎年他県から学校図書館活用教育の先進地区として松江市へ行政視察があり、学校教育課内に設置する学校図書館支援センターで対応している。 ※R6年度末の島根県学力調査廃止に伴い、R7年度より松江市学力調査の項目を成果指標に変更したが、令和7年度予算説明後、新たに同一集団の学力の伸びに着目した項目を成果指標として変更した。

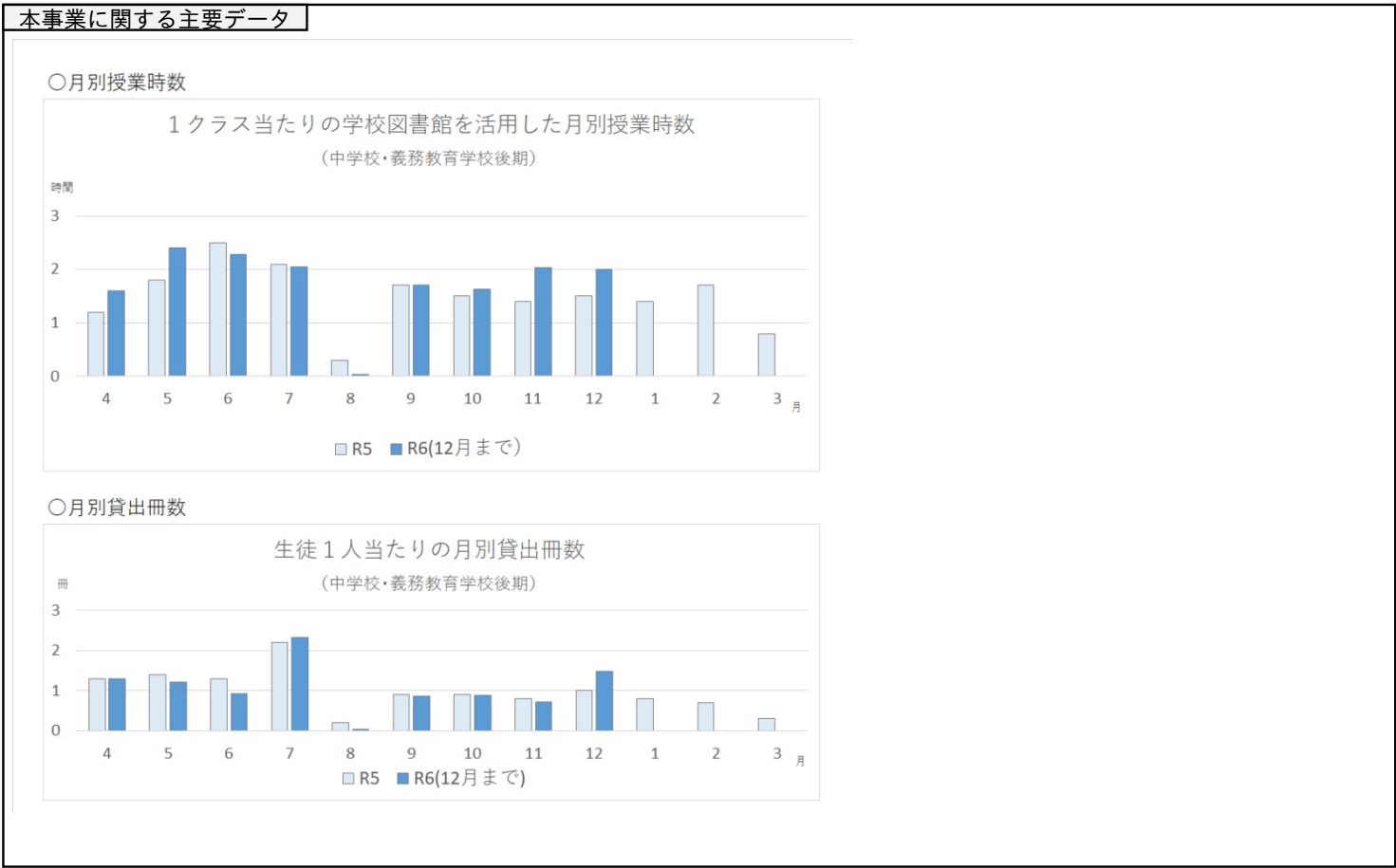
事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置（週27時間勤務8人、週23時間勤務7人、計15人）		市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置（週27時間勤務8人、週23時間勤務7人、計15人）		市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置（週27時間勤務8人、週23時間勤務7人、計15人）	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		37,998	40,863
財源内訳	国・県支出金	9,248	10,511
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	28,750	30,352
歳入合計		37,998	40,863

課題	・ 学習指導要領における理念に基づき、こどもたちが社会に出てからも様々な課題に対処し、解決できる資質・能力を身に付けるために、学校司書の全校配置を継続するとともに、学校規模に応じた勤務時間について計画的に取り入れることが必要である。 ・ 学校図書館活用教育の充実のために構築した校内体制を活用し、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書が協働し様々な教科での実践に取り組む必要がある。	方向性	・ 学校司書全校配置を継続して校内体制の充実を図り、司書教諭や事業担当教員との連携を強化し、学校図書館を活用した授業時数を増やす。 ・ 学校司書・司書教諭の資質・能力の向上を図るための研修を充実させる。 ・ 生徒一人当たりの年間貸出冊数を伸ばし、本や資料との出会いの機会を増やすことで、読書活動を活性化させる。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	学校図書館司書配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	全中学校・義務教育学校へ学校司書配置		
	4月～12月	学校司書対象研修会実施		
	2月～3月	次年度の学校司書配置準備		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	24,412		
職員手当等	9,355		
共済費	6,050		
旅費	1,046		
事業費計		40,863	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	特別支援学級介助員配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	特別支援学級に在籍する児童生徒に対する安全確保や介助を行い、学校生活への適応や学習活動の充実を図る。特にインクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援学級児童生徒の交流及び共同学習の充実を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		進路選択に対する生徒の満足割合（％）	90	90	90	90
	目標（何を達成するのか）	交流学習計画授業時数の割合（％）	42	43	43	47
	①特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保と必要な介助・支援を行う。 ②5人以上在籍する特別支援学級に配置する。 ③障がいの程度が重度な児童生徒の地域の学校への就学ニーズに応じる。	就学支援に対する保護者の納得度割合（％）	90	90	90	92

事業概要	（数値目標の達成目標年度）
	項目名 中学校3年生特別支援学級在籍生徒の進路選択に対する満足割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度
	項目名 年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】：2029（R11）年度
	項目名 就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】：2029（R11）年度
	・特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保や必要な介助、交流及び共同学習の充実のため「特別支援学級介助員」を配置する。 ・配置にあたっては、各学級に在籍する児童生徒の人数や実態を踏まえた上で、人的支援の必要性を精査して行う。 ・事業開始：平成7年度

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・小学校（義務教育学校前期課程含む）16校21人、中学校5校6人 計27人配置		・小中学校（義務教育学校含む）計28人配置（1人増）		・特別支援学級に在籍する児童生徒数の増加と教育的ニーズの多様化が進んでおり、配置の必要性の高い学級が増えているため、配置を拡充し基礎的環境整備を整える。	
	・週19時間以内の勤務 ・報酬1,351円／時間 ・校外教育活動旅費：年間4,000円 ・研修：年3回		・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,351円／時間 ・校外教育活動旅費：年間4,000円 ・研修：年3回		・週19時間以内の勤務	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		36,457	41,127
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	36,457	41,127
歳入合計		36,457	41,127

課題	・特別支援学級在籍児童生徒数の増加と障がいの多様化が進んでおり、担任1人での対応が難しい学級が増加している。	方向性	・一人一人の教育的ニーズに応じた指導と、通常の学級の児童生徒との交流及び共同学習をより充実させるために、特別支援学級介助員の配置を拡充し、基礎的環境を整える。
	・障がいの程度が重度であっても、地域の学校で育てたい保護者が増えていること、通常の学級での交流及び共同学習を必要とする児童生徒が増えていること等から、特別支援学級介助員の配置のニーズが高まってきている。		・管理職、通常の学級担任、特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター等との連携を図り、学校全体で特別支援学級児童生徒の教育を推進する。 ・特別支援学級担任の指導力の向上を図るために、研修や巡回相談を充実させる。

教育委員会発達・教育相談支援センター 特別支援学級介助員配置事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	特別支援学級介助員配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	任用、説明会	3月	次年度配置校決定
	6・9・12月	研修、配置校訪問		
	7・12・3月	配置校から「支援状況報告書」提出		
	8月～	次年度に向け配置の在り方等の検討		

本事業に関する主要データ

特別支援学級設置数の推移(小・中学校合計)

令和6年5月1日現在

単位:学級

年度		R1	R2	R3	R4	R5	R6
学級種別	知的障がい	47	49	47	49	50	51
	肢体不自由	10	11	13	13	13	10
	病弱・身体虚弱	8	10	11	8	7	15
	弱視	5	6	4	4	4	4
	難聴	8	9	8	5	4	4
	自閉症・情緒障がい	58	60	62	67	73	74
	合計	136	145	145	146	151	158

特別支援学級在籍児童生徒数の推移(小・中学校合計)

令和6年5月1日現在

単位:人

年度		R1	R2	R3	R4	R5	R6
学級種別	知的障がい	150	170	174	177	185	187
	肢体不自由	11	12	15	14	15	12
	病弱・身体虚弱	10	11	14	10	11	19
	弱視	5	6	4	4	4	4
	難聴	10	11	10	7	6	5
	自閉症・情緒障がい	215	238	268	307	339	361
	合計	401	448	485	519	560	588

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	28,750		
職員手当等	11,218		
共済費	124		
旅費	1,035		
事業費計		41,127	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	青少年支援センター運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	様々な困難を抱えるこども・若者から相談を受け、悩みを解決するための必要な支援を行う。	項目（成果指標） 就労等体験協力事業所数	R6実績見込 51	R7計画 51	R8計画 51	目標値 51
	目標（何を達成するのか）					
	様々な困難を抱えるこども・若者の円滑な社会生活及び自立					

事業概要	様々な困難を抱えるこども・若者やその家族から気軽に相談できるセンターとして運営する。支援については、居場所支援（学び・生活支援）、就労支援など相談者の要望を踏まえ、相談者に寄り添いきめ細やかな支援を継続的に実施する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○こども・若者に関する相談・支援 ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 ・青少年支援連絡会、青少年支援セミナー、及び事例検討会の開催 ・就労等体験協力事業所の開拓	○こども・若者に関する相談・支援 ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 ・青少年支援連絡会、青少年支援セミナー、及び事例検討会の開催 ・就労等体験協力事業所の開拓	○こども・若者に関する相談・支援 ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 ・青少年支援連絡会、青少年支援セミナー、及び事例検討会の開催 ・就労等体験協力事業所の開拓
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		2,560	2,482
財源内訳	国・県支出金	457	449
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	2,103	2,033
歳入合計		2,560	2,482

課題	・引き続き関係機関とのネットワークを強化し、切れ目ない支援体制の構築を行っていく必要がある。 ・支援者の困難特性が複雑化しており、これに対応できる指導員のスキル向上を図る必要がある。	方向性	・誰もが気軽に相談できる環境づくりを行う。 ・相談者の実情に合わせ、寄り添いながらきめ細やかな支援を行い、最終的には社会人としての自立ができるよう導く。 ・相談者の要望等を踏まえながら関係機関との連絡・協議の機会を増やすなど、ネットワークを強化し、切れ目ない支援体制の構築を行っていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	青少年支援事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	相談・支援業務		
	7月	青少年支援連絡会の開催（年1回）		
	随時	青少年支援セミナーの開催		
	随時	事例検討会の開催		

本事業に関する主要データ

松江市青少年支援センターでは...

不登校、ひきこもり、障がい、問題行動など様々な困難を抱える39歳までのこども・若者本人や家族などから相談を受け、助言や専門機関を紹介するとともに、心の安定を図ることを大切にした各種支援に取り組んでいます。また、必要に応じてより適した支援機関等にもおつなぎします。

◆青少年支援センターだより「はぐくみ」

青少年支援連絡会

青少年支援セミナー

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	424		
旅費	19		
需用費	206		
役務費	187		
使用料及び賃借料	1,646		
事業費計		2,482	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	青少年自立支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	様々な人との交流や体験を通して、松江市の将来を担うこども・若者たちの自立を支援する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		主催講座参加者数（人）	234	260	300	400
	目標（何を達成するのか）					
	・主催講座への参加者数の増加 ・スタジオ利用者数の増加					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 主催講座参加者数（人）：2029（R11）年度
	こども・若者の居場所や自立に向かうきっかけとなる事業を、地域、利用者、講師、行政などから構成される「音楽＆ものづくりスタジオ運営委員会」に委託して実施する。 ○市民活動センター内の「音楽スタジオ」及び「ものづくりスタジオ」を活用した居場所・文化創造の各事業 ・主催講座 音楽講座（ドラム、ボーカル、ピアノ、エレキギター） ものづくり講座（レザークラフト、クッキング、軽スポーツ） ・スタジオの貸出

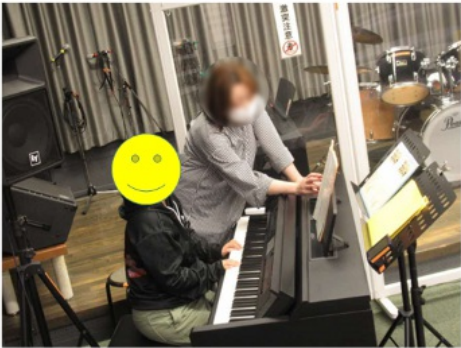
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・講師と指導員との連携を取りながら主催講座を運営することで、青少年支援センター通所者が毎回楽しく講座に参加している様子がうかがえた。 ・青少年支援センター通所者以外にも困難を抱えるこども・若者の居場所として、主催講座の利用があった。 ・貸出の周知により、音楽スタジオの利用者が増加した。1月末時点利用者数（延べ）262人 ・ものづくりスタジオも換気設備が整い貸出を再開した。	・困難を抱えるこども・若者が参加しやすい主催講座を企画し、青少年支援センターに通所する相談者の参加を促す。 ・困難を抱えるこども・若者が安心して主催講座に参加できるよう、講師と指導員との連携を密にしていく。 ・引き続き貸出の周知により、スタジオ利用者を増やす。	・困難を抱えるこども・若者が参加しやすい主催講座を企画し、青少年支援センターに通所する相談者の参加を促す。 ・困難を抱えるこども・若者が安心して主催講座に参加できるよう、講師と指導員との連携を密にしていく。 ・引き続き貸出の周知により、スタジオ利用者を増やす。
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		4,931	5,495
財源内訳	国・県支出金	1,000	1,000
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,931	4,495
歳入合計		4,931	5,495

課題	・市内の居場所に通っている困難を抱えるこども・若者の主催講座への参加について、受入れ体制などが課題である。 ・音楽スタジオの楽器や音響機材などが老朽化してきており、今後更新のための経費がかかってくる。	方向性	・スタジオの運営については、地域の人材や団体との連携、関係者の理解・協力を得ながら、限られた財源の中で創意工夫し事業を行う。 ・主催講座を中心とした事業を展開し、より多くの居場所を作っていく。 ・こども・若者の居場所、活動の場としてスタジオの利用促進を図る。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	青少年支援事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	第1回運営委員会		
	10月	第2回運営委員会		
	3月	第3回運営委員会		
	通年	主催講座、スタジオ貸出		

本事業に関する主要データ	
令和6年度音楽＆ものづくり講座活動実績	
スティックビル内にある音楽スタジオ、ものづくりスタジオを活用し、各種主催講座を開催。	講座受講者感想 ・もっとのびのび楽しく、踊りながら歌えるようになりたい。（ボーカル） ・好きな歌のメロディー部分を練習できたので良かった。（ピアノ） ・皆で楽しく体を動かせたので良かった。（軽スポーツ） ・革を切ったり縫ったりの作業は難しいけど、集中できて楽しい。（レザークラフト）
■音楽講座の様子	■ものづくり講座 作品
	 
ピアノ 講座	クッキング講座 レザー講座

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,133		
職員手当等	810		
共済費	511		
旅費	41		
委託料	2,000		
事業費計		5,495	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	青少年居場所事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	困難を抱えるこども・若者の自立を促すため、こども・若者の居場所の設置、運営を行う団体を支援する。	項目（成果指標） 支援団体数(団体)	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			4	4	4	6
	目標（何を達成するのか）					
	困難を抱えるこども・若者の自立					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 支援団体数（団体）：2029（R11）年度
	島根県「子ども・若者自立支援総合推進事業補助金」（R2年度～R7年度、補助率1/2）を活用し、NP0法人等が困難を抱えるこども・若者の自立につなげるために行っている居場所の提供や就労支援事業を支援する。 補助率2/3（1団体当たり限度額2,000千円） 事業費8,000千円（市4,000千円 県4,000千円）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・NP0法人等が困難を抱えるこども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援することができた。 ・支援団体の活動の視察や事業進捗状況の確認、意見交換を行い、連携を図ることができた。	・NP0法人等が困難を抱えるこども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援する。 ・より多くの団体が制度を利活用できるよう、市内の居場所事業を行うNP0に対してPRに努める。	・NP0法人等が困難を抱えるこども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援する。 ・より多くの団体が制度を利活用できるよう、市内の居場所事業を行うNP0に対してPRに努める。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		8,000	8,000
財源内訳	国・県支出金	4,000	4,000
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	4,000	4,000
歳入合計		8,000	8,000

課題	より多くの困難を抱えるこども・若者を支援することが可能となるよう、今後も多くの団体への支援ができる仕組みを検討する必要がある。	方向性	居場所事業を行っている団体との連携を密にして、困難を抱えるこども・若者を支援するとともに、より多くの団体への支援を行っていく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	青少年支援事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	交付申請受付・交付決定		
	3月	事業完了		

本事業に関する主要データ			
〔令和6年度〕			
補助団体	事業内容	令和5年度 利用人数 （対象者：小学生～39歳）	
		延べ人数（人）	実人数（人）
特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	① 中間就労の場としての古本店「本町堂」の運営 ② 居場所（読書や交流できる場）としての活用 ③ 地域とつながる外出イベントの開催	764	20
特定非営利活動法人 YCSスタジオ	① 居場所・フリースペースの提供 ② 個人（本人・保護者）相談 ③ 親の会（電話・メール）実施 ④ 地域イベント時での出店	84	5
特定非営利活動法人 バリアフリー・シネマ＆ ライフ・ネットワーク	① コミュニケーションに困難・不安を抱える方を対象にバリアフリー映画の制作、声優体験	237	15
特定非営利活動法人 スペース	① 不登校のこどもを対象としたフリースクール事業 ② 小学生を対象とした体験事業 ③ 中学生を対象とした受験対策の学習支援 ④ 小学生を対象とした学校の長期休暇期間中の居場所事業	703	30

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,000		
事業費計		8,000	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
中央図書館	中央図書館運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	図書や記録などの資料を適正に収集・整理・保存し、一般公衆が利用できるように提供することで、市民の教養や調査研究、レクリエーションなどに役立ててもらおう。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		中央図書館貸出冊数（冊）	421,947	430,500	430,500	496,000
		中央図書館利用者数（人）	90,738	92,500	92,500	94,000
	目標（何を達成するのか） 市民が利用しやすい図書館づくり	高校生1人あたりの年間貸出冊数（冊）	0.6	0.8	0.8	1.0

事業概要	松江市立中央図書館の管理運営費。 運営は、公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に委託。 ・市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。 ・市立図書館の核となる中央図書館は、2つの地域館（島根・東出雲）、移動図書館車及び配本事業との連携、並びに地域や学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書サービスを提供する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	「第3次松江市子どもの読書活動推進計画」に係る読書についてのアンケート調査の実施 【その他財源内訳】 市立図書館定期講座受講料:70千円、広告料収入:147千円	・中高生世代に向けた読書活動推進の取り組み ・電子書籍導入に向けた検討 ・民間の書店との読書普及に向けた連携 ・読書バリアフリーに関するPRの強化等	・中高生世代に向けた読書活動推進の取り組み ・民間の書店との読書普及に向けた連携 ・読書バリアフリーに関するPRの強化等
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			31,996
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		260
	一般財源	0	31,736
歳入合計		0	31,996

課題	・利用者の新規拡大 ・中高生世代の読書活動推進 ・読書バリアフリー対応 ・電子書籍導入に向けた検討 ・他部局等との連携強化	方向性	・松江市立図書館全体で、市民一人当たりの年間貸出冊数:4冊をめざす。 ・中高生への本に関するPR方法などを工夫し、貸出冊数の増加をめざす。 ・民間の書店や福祉関係施設との連携を強化し、本に親しむ環境の醸成を図る。 ・電子書籍導入の検討について、学校図書館との連携を強化する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	図書館の運営

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	月水木金土曜日	移動図書館車の運行	年3回	「よるの図書館」の開催
	木土曜日	おはなし会の実施	2月頃	蔵書点検
	各月1回土曜日	定期講座（古文書・小泉八雲）の開催		
	年7回	語り手のための講座		

本事業に関する主要データ

市民一人あたりの貸出冊数

【中核市】

	都市名	人口 (千人)	個人貸出数 (千冊)	団体貸出数 (千冊)	1人当たりの 貸出数(冊)
1	吹田	379	3,849	73	10.35
2	枚方	398	3,816	59	9.74
3	豊中	409	3,456	120	8.74
4	高槻	350	2,924	111	8.67
5	高知	323	2,292	219	7.77
6	明石	305	2,120	39	7.08
7	一宮	382	2,549	39	6.77
8	豊田	419	2,754	38	6.66
9	西宮	483	3,209	9	6.66
10	八尾	264	1,648	85	6.56
11	宇都宮	519	3,365	30	6.54
12	松本	237	1,524	26	6.54
13	岐阜	404	2,384	18	5.95
14	高松	424	2,406	47	5.79
15	前橋	333	1,858	18	5.63
16	岡崎	385	1,990	101	5.43
17	旭川	328	1,733	35	5.39
18	高崎	371	1,941	10	5.26
19	福山	463	2,345	63	5.20
20	倉敷	480	2,381	103	5.18
21	水戸	271	1,255	34	4.76
22	豊橋	373	1,753	20	4.75
23	久留米	303	1,389	43	4.73
24	川口	606	2,788	11	4.62
25	越谷	345	1,548	34	4.59

	都市名	人口 (千人)	個人貸出数 (千冊)	団体貸出数 (千冊)	1人当たりの 貸出数(冊)
26	金沢	449	2,007	51	4.58
27	碧野川	229	1,001	34	4.52
28	鳥取	185	746	79	4.46
29	大津	344	1,417	77	4.34
30	下関	254	1,029	74	4.34
31	長野	372	1,539	49	4.27
32	富山	411	1,729	19	4.25
33	船橋	646	2,714	5	4.21
34	長崎	406	1,680	15	4.17
35	川越	353	1,449	21	4.16
36	柏	431	1,755	29	4.14
37	函館	248	1,022	3	4.13
38	八王子	562	2,284	34	4.12
39	福井	260	951	65	3.91
40	姫路	531	2,010	16	3.82
41	奈良	353	1,337	7	3.81
42	呉	213	794	11	3.78
43	東大阪	482	1,760	23	3.70
44	福島	273	914	74	3.62
45	いわさ	315	1,114	22	3.61
46	八戸	223	755	27	3.51
47	鹿児島	600	2,063	39	3.50
48	青森	275	912	49	3.49
49	松山	507	1,749	20	3.49
50	佐世保	243	796	45	3.46

	都市名	人口 (千人)	個人貸出数 (千冊)	団体貸出数 (千冊)	1人当たりの 貸出数(冊)
51	横須賀	393	1,318	2	3.36
52	郡山	320	995	45	3.25
53	尾崎	460	1,369	37	3.06
54	山形	242	718	15	3.03
55	和歌山	363	1,086	6	3.01
56	大分	478	1,402	22	2.98
57	秋田	303	724	19	2.45
58	那覇	318	724	18	2.33
59	甲府	186	409	13	2.27
60	宮崎	401	852	25	2.19
61	松江	199	191	96	1.44
62	盛岡	285	386	23	1.44
平均					4.75

【島根県】

	都市名	人口 (千人)	個人貸出数 (千冊)	団体貸出数 (千冊)	1人当たりの 貸出数(冊)
1	安来	37	204	45	6.73
2	出雲	175	1,098	40	6.50
3	大田	33	137	35	5.21
4	浜田	52	253	11	5.08
5	雲南	36	118	15	3.69
6	益田	45	120	11	2.91
7	江津	22	30	9	1.77
8	松江	199	191	96	1.44
平均					4.03

出典：『日本図書館協会 日本の図書館 統計と名簿2023』

※各項目の数字は、2023年3月末日（R4年度末）現在の数字。

※令和4年度は、フタバホールの大規模改修工事に伴い、1年を通じて中央図書館を臨時休館としていた。（代替サービス実施期間：R4.6.2～R5.7.31）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	2		
需用費	386		
役務費	47		
委託料	30,365		
使用料及び賃借料	1,179		
公課費	17		
事業費計		31,996	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
松江市立皆美が丘女子高等学校	皆美が丘女子高魅力化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「より広く より高く」の校訓のもと、 ○地域を学び地域を愛し地域社会に活力を与えその発展を担う女性／○グローバルな感性と高い志を備えた女性／○生涯にわたって主体的に生きる女性 の育成を目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		入学者一般選抜募集定員競争率	0.63	1.00	1.00	1.00
	目標（何を達成するのか）	入学定員充足率	0.68	1.00	1.00	1.00
	中国四国地方唯一の公立女子高として他校との差別化を図り、より一層特色を明確にして魅力を高め、高等学校に進学する受験生やその保護者にも選ばれる学校を目指す。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） ○入学者一般選抜募集定員競争率：2030（R12）年度までに1.00以上 ○入学定員充足率：2030（R12）年度までに1.00
	（事業概要） ○学科再編（普通科に総合選択制を導入・国際コミュニケーション科を新設・学校設定科目として地域密着型の課題解決型学習「まっえ学」を設定）／○部活動の充実／○高大連携・高専連携／○校名変更

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・まっえ学コーディネーターを「魅力化コーディネーター」に名称変更し、魅力化事業全般にかかる連携業務を担当するものとして2名に増員※ ・高大(専)連携の推進（継続） ・学校の取組を情報発信（継続） ・ALTの常駐化（R6新規） ・外国語大学でのキャンパス体験（継続） ・台北市立大学との訪問交流（R6新規）※ ほか、魅力化に必要な事項	・魅力化コーディネーターを配置（継続）※ ・高大(専)連携の推進（継続） ・学校の取組を情報発信（継続） ・ALTの常駐化（継続） ・外国語大学でのキャンパス体験（継続） ※ ・台北市立大学との訪問交流（継続） ・中国杭州との交流事業※ ほか、魅力化に必要な事項	・魅力化コーディネーターを配置（継続）※ ・高大(専)連携の推進（継続） ・学校の取組を情報発信（継続） ※ ・ALTの常駐化（継続） ・外国語大学でのキャンパス体験（継続） ・台北市立大学との訪問交流（継続）※ ・中国杭州との訪問交流（継続）
	（※は別事業費あり。）	（※は別事業費あり。）	ほか、魅力化に必要な事項
	達成度		（※は別事業費あり。）
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	6,909	10,321
	地方債		0
	その他	187	280
	一般財源	6,722	10,041
歳入合計		6,909	10,321

課題	・入学者定員割れの解消 ・他校との差別化 ・学校の魅力をPR ・独自採用した教員の資質向上のための他校との人事交流【教育総務課】	方向性	・本校の特色を明確にして学校の魅力を高める。 ・協定に基づく島根県立大との連携事業や外国語大学でのキャンパス体験など、高大（専）連携を推進する。 ○ ・台北市立大学や中国杭州第十四中学との交流を継続する。 ・SNSを活用した情報発信や中学校での進路説明会への参加など積極的にPR活動を行う。 ・独自採用による教員は現行の体制を維持しつつ、県立高校からの派遣を継続する。【教育総務課】

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	女子高魅力化推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	外国語大学でのキャンパス体験	時期調整	中国杭州との交流事業
	10月	台北市立大学との交流事業		
	通年	高大（専）連携の推進		
	通年	学校の取組を情報発信		

本事業に関する主要データ

○皆美が丘女子高等学校 入学者選抜・入学者・生徒数の推移

普通科

年度	入学定員	推薦選抜	一般選抜				2次募集	合格者数 (計)	入学者数	入学定員 充足率	生徒数			
		内定者数	募集定員	出願者数	競争率	合格者数	合格者数				1学年	2学年	3学年	(計)
令和2年度	90	12	78	50	0.64	50	4	66	66	0.73	67	88	72	227
令和3年度	90	19	71	73	1.03	71	0	90	90	1.00	90	66	85	241
令和4年度	90	21	69	58	0.84	56	0	77	77	0.86	78	88	66	232
令和5年度	90	11	79	83	1.05	79	0	90	90	1.00	90	76	84	250
令和6年度	90	14	76	54	0.71	53	1	68	68	0.76	70	85	71	226

国際文化観光課/国際コミュニケーション科

年度	入学定員	推薦選抜	一般選抜				2次募集	合格者数 (計)	入学者数	入学定員 充足率	生徒数			
		内定者数	募集定員	出願者数	競争率	合格者数	合格者数				1学年	2学年	3学年	(計)
令和2年度	30	5	25	17	0.68	14	0	19	19	0.63	19	16	19	54
令和3年度	30	4	26	8	0.31	8	0	12	12	0.40	12	19	15	46
令和4年度	30	3	27	21	0.78	20	0	23	23	0.77	23	12	18	53
令和5年度	30	4	26	7	0.27	10	1	15	15	0.50	15	19	11	45
令和6年度	30	3	27	11	0.41	11	0	14	14	0.47	14	13	18	45

【合 計】

年度	入学定員	推薦選抜	一般選抜				2次募集	合格者数 (計)	入学者数	入学定員 充足率	生徒数			
		内定者数	募集定員	出願者数	競争率	合格者数	合格者数				1学年	2学年	3学年	(計)
令和2年度	120	17	103	67	0.65	64	4	85	85	0.71	86	104	91	281
令和3年度	120	23	97	81	0.84	79	0	102	102	0.85	102	85	100	287
令和4年度	120	24	96	79	0.82	76	0	100	100	0.83	101	100	84	285
令和5年度	120	15	105	90	0.86	89	1	105	105	0.88	105	95	95	295
令和6年度	120	17	103	65	0.63	64	1	82	82	0.68	84	98	89	271

※「生徒数」は学校基本調査による各年度5月1日現在の人数。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	6,212	使用料及び賃借料	989
職員手当等	810	負担金補助及び交付金	139
共済費	1,196		
報償費	23		
旅費	272		
需用費	669		
役務費	11		
事業費計		10,321	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部生活福祉課	生活困窮者就学支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	生活困窮世帯で一般的に言われている「貧困の連鎖」を防止するため、対象世帯の中学2年生、3年生に対する学習支援を行うことにより、将来の自立促進を図るもの。	項目（成果指標） 事業利用生徒進学率（3年生）（％）	R6実績見込 100	R7計画 100	R8計画 100	目標値 100
	目標（何を達成するのか）	要・準要保護生徒進学率（3年生）（％）	98.8	98.8	98.8	99
	「貧困の連鎖」を防止するため、対象世帯の中学2年生、3年生に対する学習支援を行うことにより、高校進学率を高める。					

事業概要	本事業は、生活保護世帯を含む生活困窮世帯（要保護世帯および準要保護世帯）の中学2年生、3年生を対象として、次に掲げる取組を、適切、公正、中立かつ効率的に実施する能力を有する事業者に委託して実施する。（国庫補助率1／2、市負担率1／2） ①学習支援 高校受験のための進学支援、学校の勉強の復習、学習の習慣づけ ②居場所（自習室）の提供 子どもが安心して通える場所の提供 ③進路相談等 個別の進路相談、進学に必要な奨学金などの公的支援の情報提供 ※中学2年生は、令和6年度から対象 （数値目標の目標年度） 事業利用生徒進学率（3年生）：2029(R11)年度、要・準要保護生徒進学率（3年生）：2029（R11）年度
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【実績見込】 本事業利用者の高校進学率：100.0% 利用人数：146名(中学2年生、3年生合計) 指導回数：生徒1人あたり全30回 中学2年生（8月から3月までの月4回）／1回90分 中学3年生（7月から2月までの月4回）／1回90分 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所	【事業計画】 本事業利用者の高校進学率：100.0% 利用定員：150名(中学2年生、3年生合計) 指導回数：生徒1人あたり全30回 中学2年生（8月から3月までの月4回）／1回90分 中学3年生（7月から2月までの月4回）／1回90分 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所	【事業計画】 本事業利用者の高校進学率:100.0% 利用定員：150名(中学2年生、3年生合計) 指導回数：生徒1人あたり全30回 中学2年生（8月から3月までの月4回）／1回90分 中学3年生（7月から2月までの月4回）／1回90分 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		7,761	8,370
財源内訳	国・県支出金	3,880	4,185
	地方債		
	その他		0
	一般財源	3,881	4,185
歳入合計		7,761	8,370

課題	令和元年度、2年度、3年度、4年度、5年度に本事業を利用した要保護・準要保護生徒の高校進学率は、100.0%であり目標を達成している（アンケートで回答が得られた利用者のみ）。 生活困窮世帯を対象としているためプライバシー保護に万全を期す必要がある。	方向性	本事業の実施にあたっては、利用生徒のプライバシー保護に万全を期し、安心して利用できる学習支援を継続して行う。 本事業は令和6年度から中学2年生も対象として実施。令和6年度は146名の利用があったことから、令和7年度は150名の定員で実施予定。 多くの対象の方に利用頂けるように関係課と連携し、周知を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	生活困窮世帯の学習支援

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	3月～4月	プロポーザル募集開始	8月	学習指導開始（中学2年生）
	5月	委託事業者選定・対象世帯へ事業案内送付	2月	学習指導終了（中学3年生）
	6月	利用生徒募集・利用生徒決定	3月	学習指導終了（中学2年生）・事業完了
	7月	学習指導開始（中学3年生）		

本事業に関する主要データ	
【数値目標データ】	
高校進学率（令和6年3月卒業生徒）	
令和5年度	
松江市全体	99.2%（1,802人/1,816人）
■要保護生徒①	100%（25人/25人）
内訳	
本事業利用生徒	100%（4人/4人）
本事業未利用生徒	100%（21人/21人）
■準要保護生徒②	97.9%（236人/241人）
内訳	
本事業利用生徒	100%（82人/82人）
本事業未利用生徒	96.9%（154人/159人）
■要保護・準要保護生徒①＋②	98.1%（261人/266人）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	11		
役務費	134		
委託料	8,225		
事業費計		8,370	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	多文化共生推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	多様性を尊重し、誰もが心豊かに暮らし、活躍できる多文化共生のまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		多文化理解を促進する事業への参加者数	2,320	2,400	2,600	3,000
	目標（何を達成するのか）					
	松江市多文化共生推進プランに基づき、「言葉の壁を乗り越えるまち」「誰もが安心して暮らし続けられるまち」「多様性を尊重し、誰もが活躍できるまち」づくりを目指す。					

事業概要	外国人住民にとっても住みやすいまちをつくるために必要な生活支援を行うとともに、松江市民との交流の場をつくる。また、松江市民の国際理解を深める機会を提供する。 なお、松江市多文化共生推進プランについて、令和7年度末で第1期計画期間が満了することから、今年度検討委員会を開催し、改定を行っていく。 （1）松江市多文化共生推進プラン改定（2）留学生・外国人住民支援（防災訓練、文化体験等）（3）多文化交流イベント（交流の場づくり）（4）国際理解講座（国際交流員や外国人住民による文化紹介講座）（5）行政情報の多言語化（6）日本語教室等との協働
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	（1）出前講座、自主企画講座、動画配信による国際理解講座等を実施 （2）外国人相談窓口を設置し、また、市政情報の多言語化などを実施 （3）外国人住民向け防災訓練などを実施 （4）多文化共生を推進するための交流イベントなどを実施	（1）松江市多文化共生推進プランの改定 ①検討委員会の開催（7月、10月、2月） ②外国人住民を対象としたアンケートの実施（8月ごろ） （2）出前講座、自主企画講座、動画配信による国際理解講座等を実施 （3）外国人相談窓口を設置し、また、市政情報の多言語化などを実施 （4）外国人住民向け防災訓練などを実施 （5）多文化共生を推進するための交流イベントなどを実施	（1）出前講座、自主企画講座、動画配信による国際理解講座等を実施 （2）外国人相談窓口を設置し、また、市政情報の多言語化などを実施 （3）外国人住民向け防災訓練などを実施 （4）多文化共生を推進するための交流イベントなどを実施
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	687	1,219
	国・県支出金	128	128
	地方債		
	その他	140	140
	一般財源	419	951
歳入合計		687	1,219

課題	外国人住民支援については、現状の把握や、外国人コミュニティとの人脈づくりが必要である。また、支援だけでなく、外国人住民が地域で活躍できる場づくりが必要である。	方向性	松江市多文化共生推進プランの推進を図る。
----	---	-----	----------------------

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	多文化共生推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座の実施	11月	多文化共生イベント実施
	通年	外国人住民相談窓口の設置	2月	外国人住民向け防災訓練実施
	6月	職員向けやさしい日本語研修実施	7、10、2月	検討委員会の開催（松江市多文化共生推進プラン）
	7月	多文化共生イベント実施	8月ごろ	外国人住民向けアンケートの実施（松江市多文化共生推進プラン）

本事業に関する主要データ							
多文化理解を促進する事業への参加者							
	年度	R1（H31）	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）
	小学校	10件 999人	14件 917人	9件 816人	12件 976人	12件 1368人	11件 762人
出前講座	中・高・大学等	6件 102人	2件 231人	9件 452人	10件 216人	10件 463人	19件 524人
	公民館・自治会等	16件 320人	6件 96人	9件 184人	6件 135人	5件 138人	6件 129人
	その他	14件 311人	10件 140人	15件 292人	17件 408人	23件 525人	40件 687人
	自主企画講座				10件 174人	9件 173人	9件 123人
外国人住民向け事業等		9件 175人	0件 0人	2件 22人	4件 147人	2件 113人	4件 95人
	計	55件 1907人	32件 1384人	44件 1766人	59件 2056人	61件 2780人	89件 2320人

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	119		
報償費	166		
需用費	210		
役務費	638		
委託料	86		
事業費計		1,219	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
市民部人権男女共同参画課	男女共同参画事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「市民一人ひとりが性別にかかわらず、ともに支えあい、いきいきと暮らしていける松江」の実現	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		固定的な性別役割分担意識の否定割合（%）	78.9	81	82	82
		市の審議会等への女性の参画率（%）	36.6	40	40	40
	目標（何を達成するのか）					
	○性別による固定的役割分担意識の解消や男女の地位の平等感の向上など意識改革を図る。 ○DVや各種ハラスメントなどあらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動と相談体制の充実を図る。					

事業概要	第3次松江市男女共同参画計画（計画期間：令和4年度～8年度）を実行性のある計画とするための施策に取り組む ＜第3次計画の3つの基本目標＞ ①男女共同参画意識が浸透した社会の実現 ②男女がともに活躍できる社会の実現 ③あらゆる暴力の根絶など安心して暮らせる社会の実現 ＜施策の一例＞ ①年代に応じた各種講座や出前講座を中心とした意識啓発事業 ②市民や事業所に向けたワーク・ライフ・バランスに向けた意識啓発事業 ③あらゆる暴力の防止に向けた啓発や相談体制の充実 【数値目標説明】 成果指標「固定的な性別役割分担意識の否定割合」「市の審議会等への女性の参画率」……目標年度：令和8年度 出典：第3次松江市男女共同参画計画
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせ、パネル展示やセミナー等による啓発を行った。 ○対象者層のニーズに応じた出前講座等を実施した。 出前講座29回、男性講座3回、両立支援セミナー1回 ○女性を取り巻く問題解決に向け、女性相談や法律相談、カウンセリングを実施した。 ○第3次松江市男女共同参画計画の数値目標の一部見直しを行った。	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせた、パネル展示やセミナー等による啓発の強化。 ○出前講座の実施。 ○女性相談や法律相談、カウンセリングの実施。 ○男女共同参画に関する市民意識調査の実施。 ○「松江市審議会等における女性の登用率向上のガイドライン」の見直し。	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせた、パネル展示やセミナー等による啓発の強化。 ○出前講座の実施。 ○女性相談や法律相談、カウンセリングの実施。 ○第4次松江市男女共同参画計画の策定。
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

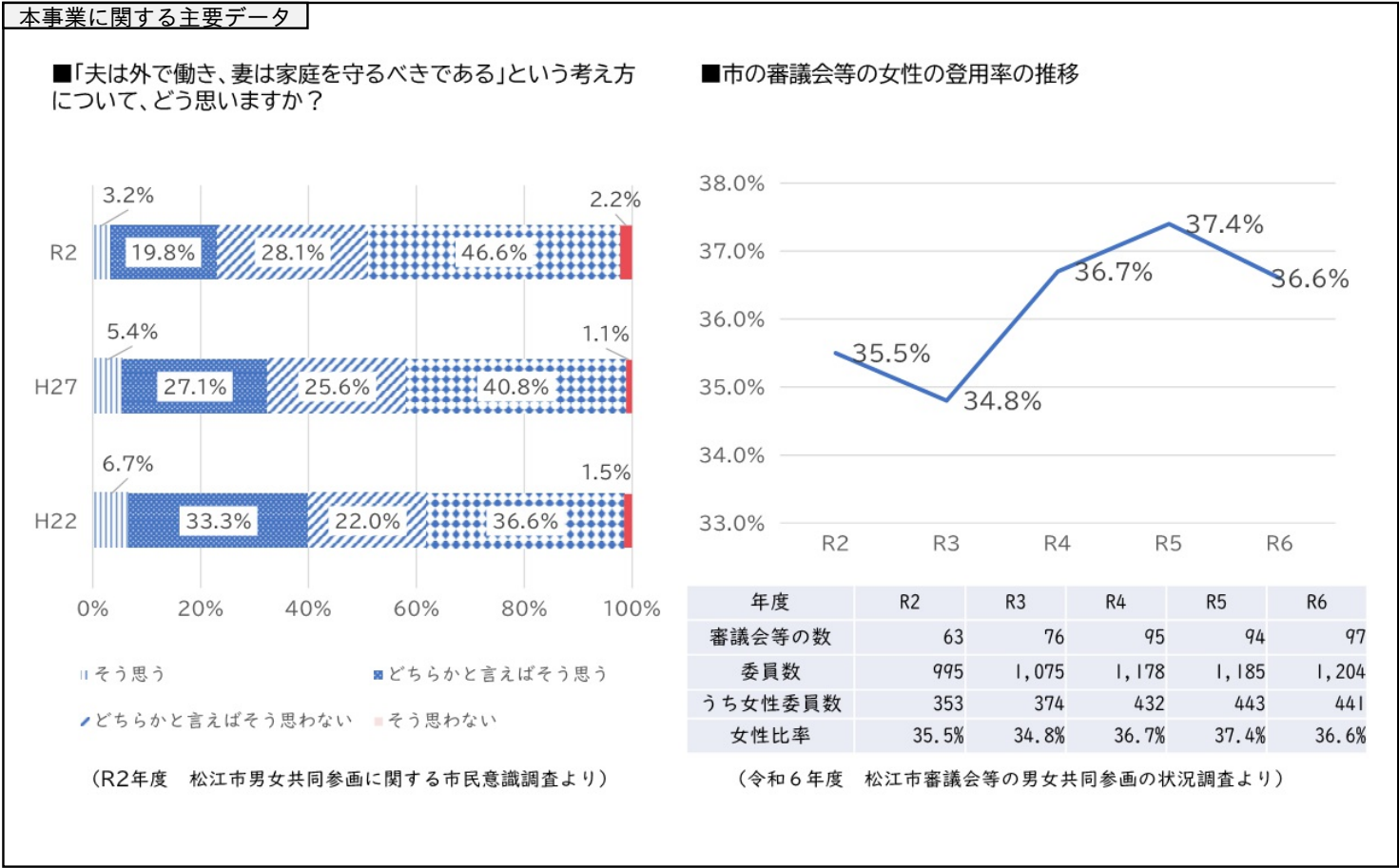
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	11,928	15,341
	国・県支出金	1,593	1,653
	地方債		
	その他		
	一般財源	10,335	13,688
歳入合計		11,928	15,341

課題	○性別による固定的役割分担意識の解消や、あらゆる暴力の根絶など男女共同参画社会の実現するためには、幼少期から各年代に応じたきめ細やかな教育や啓発活動を行う必要がある。 ○政策決定の場における女性の参画率が不十分である。	方向性	○地域ごとに選出されている男女共同参画サポーターと連携し、その地域のニーズにあった出前講座を実施し、男女共同参画への意識浸透を図る。 ○DV等の啓発については、DV講座の開催などに合わせて、相談機関・窓口の周知を行うなど、関係団体等と連携し啓発を行っていく。あわせて、中学生や高校生など若い世代への啓発活動を強化していく。 ○政策決定の場における女性の参画率向上に向けて、ガイドラインの見直しに合わせ、女性が参画しやすい環境づくりの意識浸透を図る。
----	--	-----	--

市民部人権男女共同参画課 男女共同参画事業

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	男女共同参画の推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座	8月	市民意識調査
	通年	女性相談、法律相談、カウンセリング	11月	女性に対する暴力をなくす運動期間事業
	年2回程度	男女共同参画審議会		
	6月	男女共同参画週間事業		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	6,463	委託料	2,560
職員手当等	2,294	使用料及び賃借料	189
共済費	1,463	負担金補助及び交付金	235
報償費	1,190		
旅費	282		
需用費	389		
役務費	276		
事業費計		15,341	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	特別支援教育支援員配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	通常の学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がい等、学習や行動上特別な支援を必要とすることもたちに対して、学校生活への適応や学習活動の充実を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		交流学习計画授業時数の割合（％）	42	43	43	47
	目標（何を達成するのか）					
	①きめ細かな対応と校内支援体制の強化②学習意欲の維持・向上 ③不適応の未然防止					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学习計画授業時数の割合【各年5月1日時点】：2029（R11）年度
	・通常の学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がい等、学習や行動上特別な支援を必要とすることもたちへの支援の充実のため「特別支援教育支援員」を配置する。 ・通常の学級において特別な支援を必要としている児童生徒は増加しており、校内の支援体制の確立とともに、担任を中心とした分かりやすい指導のもと、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行う。 ・事業開始：平成19年度

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・小学校18人、中学校7人、義務教育学校2人 計27人配置 ・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,446円/時間 ・校外教育活動旅費:年間1,500円 ・研修:年3回	・小中学校（義務教育学校含む）計28人配置（1人増） ・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,446円/時間 ・校外教育活動旅費:年間1,500円 ・研修:年3回	・通常の学級に在籍する特別な支援を必要としている児童生徒は増加しており、増員を含めた適正な配置のあり方を検討し、校内支援体制の充実を図る。 ・週19時間以内の勤務
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			44,042
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	44,042
歳入合計		0	44,042

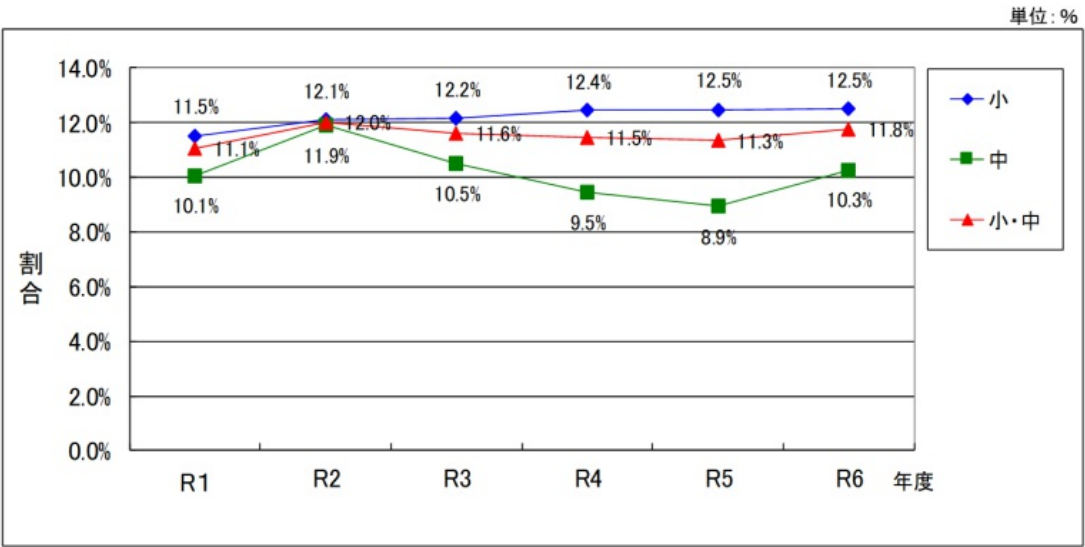
課題	・特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、特別支援教育支援員の配置を含め、人的対応が必要なケースも多い。 ・校内支援体制の中での特別支援教育支援員の位置付けと、活用の在り方を明確にしていく必要がある。	方向性	・特別支援教育支援員の必要性やその効果について把握し、増員を含め適正な配置の在り方を検討する。 ・校内支援体制を中心となって機能させる役割の教員（特別支援教育コーディネーター）との連携を強化し事業を進める。 ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図るために、個別の指導計画や個別の教育支援計画の利活用を進める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	特別支援教育支援員配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	任用、説明会	8月～	次年度に向け配置の在り方等の検討
	5月	配置校から「活用に関する計画書」提出	3月	次年度配置校決定
	6・9・12月	研修、配置校訪問		
	7・12・3月	配置校から「支援状況報告書」提出		

本事業に関する主要データ

◇通常学級における特別な支援が必要な児童生徒の割合



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	30,771		
職員手当等	12,008		
共済費	133		
旅費	1,130		
事業費計		44,042	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館管理費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公民館の適正な維持管理	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		公民館年間利用者数（人）	700,500	900,000	930,000	1,000,000
	目標（何を達成するのか）					
	社会教育施設並びに地域の拠点として住民にとって利用しやすい施設となるよう、必要な保守点検管理や修繕等を行う。また、地域を主体とする公民館運営を推進する。					

事業概要	（数値目標の達成目標年度） 項目名 公民館年間利用者数（人）：2029（R11）年度
	指定管理制度により、地域に根ざした（地域特性やニーズに応じたきめ細かな）公民館運営を行う。 公民館の維持管理にかかる経費 [指定管理] 市内29公民館について、公設自主運営方式により、市からの指定管理料と地元費により運営する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・市内29公民館を指定管理者制度により運営した。 ・優秀な人材を安定的に確保・育成するため、学歴、職歴の経験年数換算制度の導入、超過勤務制度の確立、休暇制度の充実による公民館職員の処遇改善を図った。	・市内29公民館を指定管理者制度により運営する。	・市内29公民館を指定管理者制度により運営する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		705,514	714,160
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	98	118
	一般財源	705,416	714,042
歳入合計		705,514	714,160

課題	・ 建築後35年以上経過する公民館が7館あり、全体的に施設の老朽化が進行している。	方向性	・ 修繕については、緊急性等により優先順位をつけて随時実施する。 ・ 老朽化が進む施設については、改修や移転等について検討・調整を行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	公民館の管理

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ
松江市公民館の設置状況
1.指定管理者の管理する公民館（29公民館） 城東公民館／城北公民館／城西公民館／白湯公民館／朝日公民館／雑賀公民館／津田公民館／古志原公民館／川津公民館／朝酌公民館／法吉公民館／竹矢公民館／乃木公民館／忌部公民館／大庭公民館／生馬公民館／持田公民館／古江公民館／本庄公民館／大野公民館／秋鹿公民館／鹿島公民館／島根公民館／美保関公民館／八雲公民館／玉湯公民館／穴道公民館／八束公民館／東出雲公民館

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	1,351		
委託料	711,113		
使用料及び賃借料	1,462		
負担金補助及び交付金	234		
事業費計		714,160	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公民館における生涯学習、社会教育活動の推進	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		公民館年間利用者数（人）	700,500	900,000	930,000	1,000,000
	目標（何を達成するのか）					
	公民館における社会教育事業に対して経費を支出、助成する。					

事業概要	公民館を中心とした市民の自発的・自主的なグループ活動やサークル活動の学習成果発表の場としての市民学習発表会、及び広域地域の課題に対応する事業としてのブロック事業を実施し、市民の地域間交流を深め、また生涯学習を推進するもの。
	■公民館の事業にかかる経費。 ・市民学習発表会委託料 2,000千円

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	決算額見込み 市民学習発表会等委託料 1,880千円		計画 市民学習発表会等委託 2,000千円		計画 市民学習発表会等委託	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源 内訳	事業費	1,880	2,000
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,880	2,000
	歳入合計	1,880	2,000

課題	開催にかかる公民館の事務負担の軽減	方向性 従前からの事務事業の進め方を研究し、館長及び職員と協議しながら、開催内容や運営方法等について検討していく。
----	-------------------	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	公民館振興事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

ブロック	会場	日程	内容
松東ブロック	川津公民館	11月16日（土）PM	ステージ発表 模擬店
中央ブロック	市民活動センター	11月16日（土）PM	ステージ発表
松北ブロック	鹿島文化ホール	11月23日（土）AM/PM	ステージ発表 模擬店
松南ブロック	八雲アルパホール	11月23日（土）AM	ステージ発表 模擬店
湖南ブロック	玉湯公民館	11月16日（土）AM	ステージ発表 模擬店

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,000		
事業費計		2,000	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	重層的支援体制整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域の住民や多様な主体が参画し、人や資源が世代や分野を超えてつながることで、住民の暮らしと生きがい、地域を創る地域共生社会の実現を目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		ふくしなんでも相談所の設置数	47	55	59	72
	目標（何を達成するのか）	※サテライト含む				
	複雑化・複合化した課題に的確に対応するための包括的・総合的な相談支援体制を構築する。 また、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築する。					

事業概要	地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築に向けて、既存の分野別（介護、障がい、子ども、生活困窮）事業に、新たに分野横断的な取組みを加え「Ⅰ相談支援、Ⅱ参加支援、Ⅲ地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する。 分野別で行う既存の相談支援や地域づくりの取組みはそれぞれの事業で継続して予算化し実施する。 分野横断的な事業（本予算）は、これまでの地域共生モデル事業（H29～R2年度）の取組みを発展させ、複雑化した課題や制度の狭間の課題に対応するため、オーダーメイドの支援プランを作成する等、多機関が連携する体制の構築や支援を行う。 運営主体は、これまで様々な分野で相談支援等を担ってきた松江市社会福祉協議会へ委託。 〔数値目標の目標年度〕ふくしなんでも相談所の設置数：2029（R11）年度
------	--

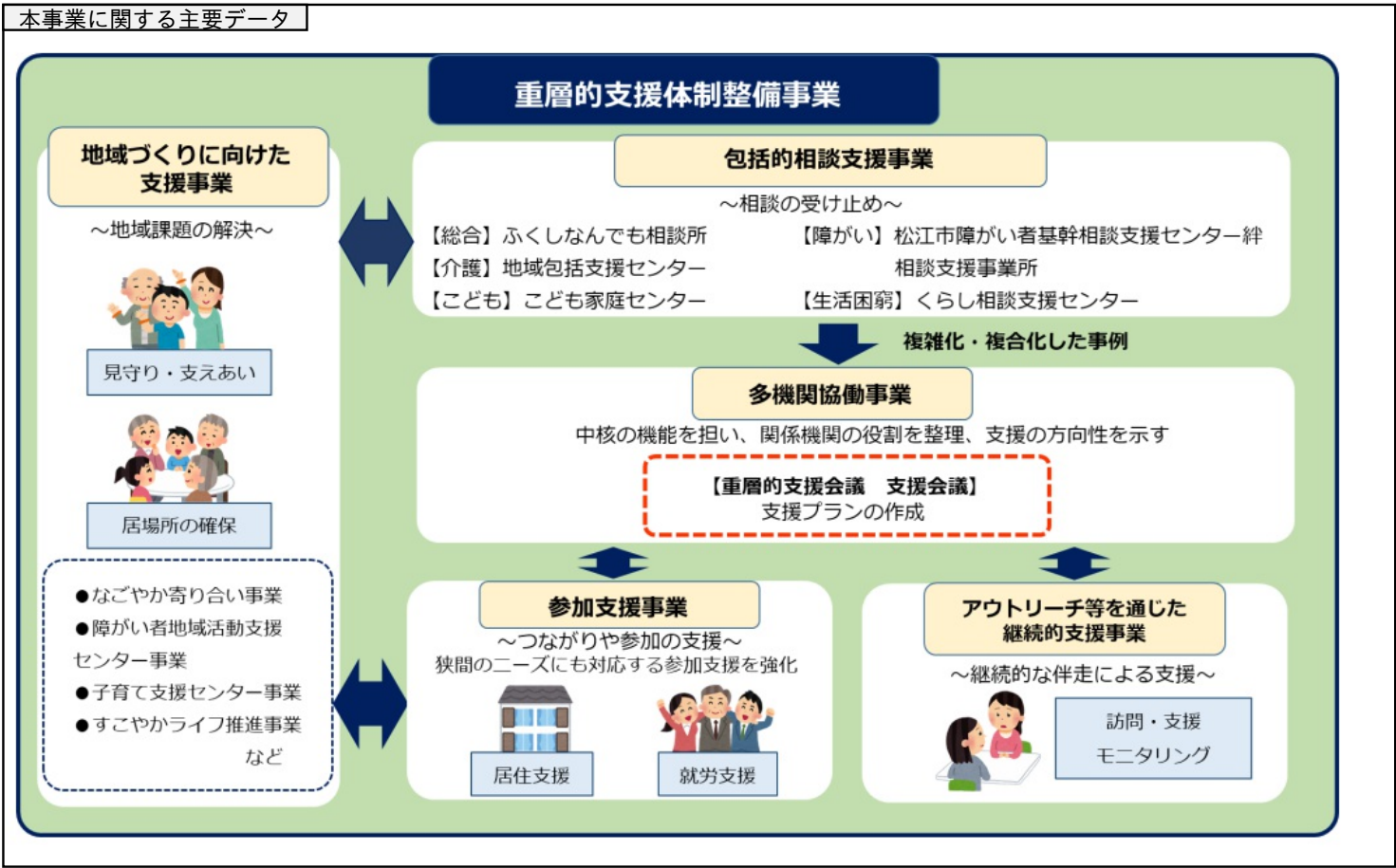
事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・あらゆる生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進めた。 ・単独の相談支援機関では対応が難しい事例を重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成した。 ・必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援に取り組んだ。 ・地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援を実施した。		・引き続きあらゆる生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進める。 ・単独の相談支援機関では対応が難しい事例は重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成する。 ・必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援や居場所づくりを多機関が連携して行う。 ・地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援を行う。		・引き続きあらゆる生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進める。 ・単独の相談支援機関では対応が難しい事例は重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成する。 ・必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援や居場所づくりを多機関が連携して行う。 ・地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援を行う。	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		37,726	36,682
財源内訳	国・県支出金	25,878	25,107
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	11,848	11,575
歳入合計		37,726	36,682

課題	住民の抱える生活、福祉課題は複雑化、複合化してきている。そのニーズに対応するため、相談支援体制の強化を図る必要がある。 現在、地域包括支援センター等に「ふくしなんでも相談所」を開設しているが、住民がより身近な地域で相談できる体制をつくるとともに、複合的な課題について多機関と連携して支援を行っていく必要がある。	方向性	住民のより身近なエリアでの相談支援体制の構築を目指すとともに、単独の支援機関では難しい複合化した課題、既存の取組では対応できない狭間のニーズに対応し、多機関と連携して包括的な支援を行う。 また、引き続き、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を維持していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	重層的支援体制整備事業（包括的な支援体制の整備）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ふくしなんでも相談所の運用・周知	通年	地域づくりに向けた支援事業の実施
	通年	多機関協働事業の実施		
	通年	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施		
	通年	参加支援事業の実施		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	36,682		
事業費計			36,682

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	松江市まめなかポイント事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防の促進と活躍の場の拡大及び地域活動・ボランティア活動の推進を行うことを目的とするもの。	項目（成果指標） ボランティア登録者数（人）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			116	300	300	300
	目標（何を達成するのか）					
	地域活動・ボランティア活動に参加する個人及び団体数を増加させるもの。					

事業概要	松江市まめなかポイント事業は、平成29年5月より、介護保険制度の総合事業の一般介護予防事業の一つとして、松江市社会福祉協議会に委託し事業を開始した。 ※財源：介護保険料50％、国25％、県12.5％、市（一般財源）12.5％
	この事業の内容として、次の活動につき換金可能なポイントを付与することにより、介護予防への意識の高揚、元気高齢者の社会参加につなげるもの。 ①65歳以上の市民がボランティア受入施設（社会福祉施設等）においてボランティア活動を行った場合に、その個人に対し、ポイントを付与するもの。 ②なごやか寄り合い事業を実施する団体のうち、まめなかポイント事業に登録した団体に対し、1回の活動につきポイントを付与するもの。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・ボランティア登録者 116人	・ボランティア登録者 300人	・ボランティア登録者 300人
	・事業説明会の実施	・事業説明会の実施	・事業説明会の実施
	達成度		
4	計画目標に向け進捗は遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	・事業の概要、活動内容及び利点などについて、事例等を用いてわかりやすく周知していく必要がある。	方向性	・事業を委託している社会福祉協議会と共に、登録数増加をめざす。 ・登録していただける可能性がある方が参加する研修会や行事等を積極的に活用し、制度を広く周知する。 ・活動の場となる受入施設を拡充する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	ボランティアポイント事業（ボランティア活動に参加しやすいまちづくり）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
1．登録状況について	
令和6年度実績(見込)	
・ボランティア登録者数 117人	
・ボランティア受入施設数 54施設	
・なごやか寄り合い登録団体数 207団体	
2．ボランティアポイント制度について	
(1) ポイントの額：100ポイントを100円に交換	
①社会福祉施設等でのボランティア活動（個人活動）	
ボランティア個人登録者が社会福祉施設等においてボランティア活動を実施した場合、その個人登録者に対し、	
1時間あたり100ポイントを付与する。	
但し、1日の上限を200ポイント、年間の上限を5,000ポイントとする。	
②なごやか寄り合い事業（団体登録）	
なごやか寄り合い事業登録団体がなごやか寄り合い事業を実施した場合、その登録団体に対し、	
1回あたり1,000ポイントを付与する。	
但し、年間の上限を10,000ポイントとする。	
(2) ポイントの交換：年度末（3月）に現金と交換	
3．社会福祉施設等での主なボランティア活動内容	
・衣類のたたみ、仕分け ・洗濯物の仕分け ・行事の補助 ・体操指導 ・話し相手	
・レクリエーション ・コーラス ・外出時の補助 ・囲碁、将棋の相手	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	シルバー人材センター運営費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	定年退職後等の高齢者に対し、自己の経験や知識を活かした仕事を提供し、生きがい充実や社会参加の促進を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		シルバー人材センター加入者数（人）	1,000	1,065	1,100	1,155
		受託事業契約金額（千円）	331,116	334,921	341,620	348,452
	目標（何を達成するのか）	シルバー人材センター加入者および契約金額の増				

事業概要	定年退職後等において、臨時的な就業を通して自己の経験や知識を活かし、自らの生きがいの充実または社会参加を希望する高齢者に対して就業機会を確保し、高齢者福祉の向上を図るためにシルバー人材センターの運営費を補助する。 根拠法令等 「松江市高齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱」 （数値目標の目標年度） シルバー人材センター加入者数（人）、受託事業契約金額（千円）、派遣事業契約金額（千円）：2027(R9)年度（第六次中期事業計画（公益社団法人松江市シルバー人材センター作成、計画期間は令和5年度から令和9年度）における目標値）
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	補助金交付予定額 31,126千円	補助金交付予定額 31,177千円	補助金交付予定額 令和7年11月末の事業実績に基づき算定するため未定
	会員数 1,000人	会員数 1,065人	会員数 1,100人
	受託事業契約金額 331,116千円	受託事業契約金額 334,921千円 派遣事業契約金額 128,714千円	受託事業契約金額 341,620千円 派遣事業契約金額 135,149千円
	派遣事業契約金額 120,483千円		

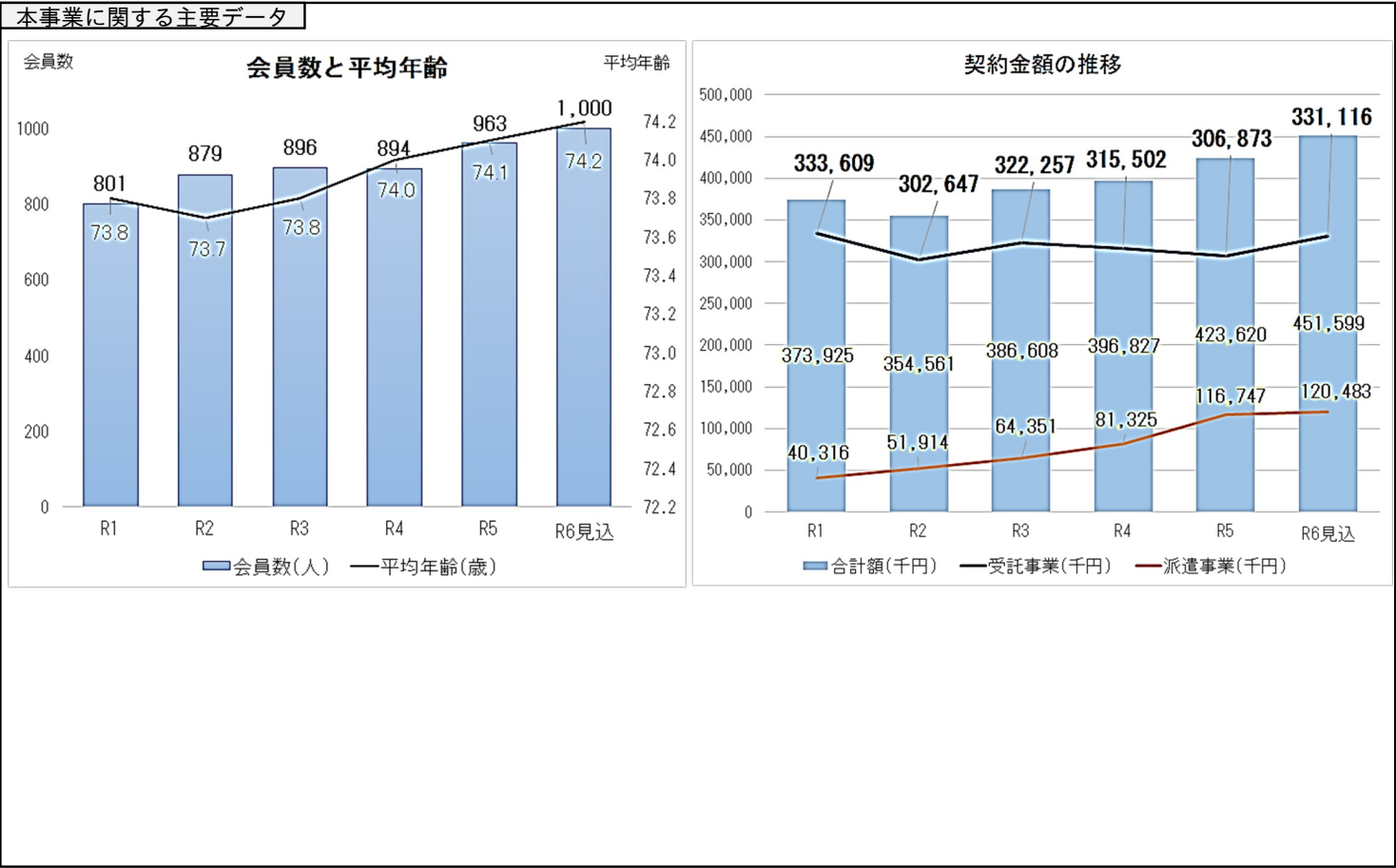
達成度	
2	計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		31,804	31,816
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債		
	その他	0	639
	一般財源	31,804	31,177
歳入合計		31,804	31,816

課題	高齢者にふさわしい仕事を受注し、会員の希望や能力に応じた仕事を提供するためには、企業等のニーズ把握や人材マッチングを効果的に行う必要がある。	方向性	就業先や新規事業等の開拓、人材マッチング等を行うコーディネーターを配置し、就業機会の拡充を図る。 また、会員のデジタル化対応を支援するためスマホ教室を開催し、会員専用ホームページでの就業情報閲覧や情報伝達等の利用拡大をはかる。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとつづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	高齢者や障がい者の活躍の場推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付申請		
	5月	第1回補助金交付		
	10月	第2回補助金交付		
	3月～	清算・実績報告		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	31,816		
事業費計		31,816	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部障がい者福祉課	障がい者の活躍の場づくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	障がいのある方が、社会の中で就労し自分らしく活躍できるよう体制を整える。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		障がい者雇用率（松江）	2.69	2.74	2.79	2.9
	目標（何を達成するのか）	障がい者雇用率達成事業所割合（松江）	67.5	68	68.5	70
	求職者の適性にあった就労を、関係機関と連携して支援する。					

事業概要	○障がいのある方が社会で活躍できるよう、市独自の就労支援策の検討を行う。なお、関係機関との役割整理、意見聴取、調査等を踏まえ制度を具体化する。 ①ハローワークなどの就労支援機関と連携し、本人の特性、能力に合った就労の増、また就労定着が図れる支援策の検討。 ②障がい者雇用が増えるよう企業等への啓発を行う。 ③就労を希望する障がいのある人が、本人の希望、障がい特性や能力に適した就労への支援の強化として導入される「就労選択支援」（令和7年10月施行予定）について、新制度を想定した就労アセスメント（就労能力等の評価）のノウハウを培うため、市内就労支援機関とともに松江市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会の下部会議として「就労アセスメントワーキングチーム」を設置し、効果的な制度導入を支援する。 （数値目標の目標年度） 項目名：障がい者雇用率（松江）及び障がい者雇用率達成事業所割合（松江）：2029（R11）年度
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	○「就労アセスメントワーキングチーム」を開催し、新制度導入に伴う市内事業所へのフォロー方策、体制などの検討をおこなった。また、チームの取組の一環として「就労選択支援セミナー」を開催し、地域の障がい者福祉事業所の他、国の担当官を招き、新制度に係る最新情報の共有を行った。 ○労働局と協働で、一般・福祉事業所の意見交換会を開催し、障がい者雇用に係る相互理解を図った。		○「就労アセスメントワーキングチーム」を開催し、新制度の円滑な導入と運用に向け、市内事業所へのフォロー方策の検討や情報共有などを継続して行う。 ○労働局の合同面接会に協力するとともに、一般・福祉事業所の意見交換会を開催し、支援機関等との連携を深めながら、障がい者雇用増に取り組む。		○「就労アセスメントワーキングチーム」を継続して開催し、就労選択支援事業所のアセスメントケースに係る助言を行うとともに、運用の中立性を確認し、本人の適正や希望に沿った適切な支援を確保する。 ○労働局の合同面接会に協力するとともに、一般・福祉事業所の意見交換会を開催し、支援機関等との連携を深めながら、障がい者雇用増に取り組む。	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		0	0
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	○国による障がい雇用に係る法定雇用率の段階的引き上げに伴い、一層の障がい者雇用が求められる状況である。	方向性	・「就労アセスメントワーキングチーム」を継続し、「就労選択支援」の円滑な導入を図ることで、障がい者の適性や希望に応じた就労への支援を強化する。 ・国等と連携し、就労マッチングに資する取組みとして、合同面接会、一般・福祉事業所との意見交換会などを実施する。
----	---	-----	--

健康福祉部障がい者福祉課 障がい者の活躍の場づくり推進事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	高齢者や障がい者の活躍の場推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	就労アセスメントワーキングチームの開催		
	調整中	面談会（島根労働局と共催）		
	9月	一般・福祉事業所の意見交換会（島根労働局と共催）		

本事業に関する主要データ										
◆ハローワーク松江管内の状況 ※各年度6月1日時点										
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
雇用義務事業所数	205	209	211	213	235	231	238	249	247	246
	雇用率達成企業数	113	120	125	131	145	152	156	163	164
	達成割合	55.1%	57.4%	59.2%	61.5%	61.7%	65.8%	65.5%	65.5%	66.4%
	未達成企業のうち1人不足する企業数	66	63	63	64	66	57	66	65	67
雇用障がい者数	605	719.5	714	710	821	818.5	881	913.5	889.5	929.5
雇用率	2.00%	2.09%	2.10%	2.09%	2.33%	2.32%	2.49%	2.59%	2.57%	2.72%
法定雇用率（民間企業）	2.0%				2.2%			2.3%		
障がい者雇用義務事業者	従業員50人				従業員45.5人			従業員43.5人		
有効求職者（月平均）	418	418	508	584	556	664	818	950	1,039	1,203
就職件数（月平均）	22	26	26	28	30	30	25	27	29	30
※各年6月1日時点の数値。なお障がい者雇用の報告義務のある一定規模以上の事業所に係る情報 ○就労アセスメントワーキングチームの概要 【事務局】市障がい者福祉課、基幹相談支援センター絆、松江障害者就業・生活支援センターぶらす、（社福）桑友 【メンバー】オフィスまるべりー、桑友、島根障害者職業センター、松江公共職業安定所、小松クリニック、ワークセンターフレンド、松江養護学校、島根県中小企業家同友会、相談支援事業所ジョイ、らいとあつぷ 【活動内容】 「就労選択支援」を見据えた就労アセスメントの試行によるノウハウ収集、制度導入に向けてのフォロー体制の検討										

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部障がい者福祉課	障がい差別のない共生社会推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	障がいの有無に関わらず、「誰もが住みよい共生社会のまち 松江」の実現を図るもの。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		出前講座・研修 累計参加者数 （H28～）	17,877	20,300	22,000	22,000
	目標（何を達成するのか）					
	共生社会の実現には、障がい特性や合理的配慮についての理解の推進の取組みが重要であり、より多くの市民に研修会や出前講座に参加していただくもの。					

事業概要	○「松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例」の施行（平成28年10月1日）を契機として、障がいのある人への合理的配慮や障がいの特性等についての理解を促進するために、関係機関や当事者の方と連携して、講座や研修を開催するとともに、障がい者の雇用や配慮等に理解のある事業所・団体の表彰等を継続して実施していくことで「住みよい共生社会の実現」を図るもの。 ○なお「松江市手話言語条例」（施行 令和6年12月20日）に基づき、手話への理解、普及に取り組み、障がい理解の推進及び共生社会の実現を図る。 （数値目標の目標年度） 項目名：出前講座・研修累計参加者数：2026（R8）年度 ※「松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例」について、この資料では略称「松江市障がい者差別解消条例」と表記する。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○障がい理解や合理的配慮等について市報等を活用し周知啓発を実施。 ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施。 ○松江市障がい者差別解消条例に基づく表彰を実施。（企業1団体） ○「障がい理解と共生社会」をテーマとした講演会を開催。 ○松江市手話言語条例を制定。また条例制定記念イベントを開催。（3月に親子向け手話教室と講演会）	○障がい理解、合理的配慮、手話等について市報等を活用し周知啓発を行う。 ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施する。 ○手話の初心者やこども向けの手話教室を開催する。 ○障がい理解、差別解消などの取組みが優れている団体、個人を表彰する。	○障がい理解、合理的配慮、手話等について市報等を活用し周知啓発を行う。 ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施する。 ○手話の初心者やこども向けの手話教室を開催する。 ○障がい理解、差別解消などの取組みが優れている団体、個人を表彰する。
	【出前講座（手話も含む）】 30回 延1,100人 【あいサポート】 35回 延1,200人	【出前講座（手話も含む）】 25回 延1,000人 【あいサポート】 35回 延1,500人	【出前講座（手話も含む）】 25回 延1,000人 【あいサポート】 35回 延1,500人
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		948	1,370
財源内訳	国・県支出金	438	597
	地方債		
	その他		0
	一般財源	510	773
歳入合計		948	1,370

課題	○障がいのある人に対する「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」について、未だ十分な意識の醸成が図られてない。より多くの人に障がい理解や差別解消について周知啓発を図り、考える機会を作る必要がある。 ○「事業者による合理的配慮の提供の義務化」の浸透は十分ではない。 ○松江市手話言語条例の制定から日が浅く、市民の認知が少ない。	方向性	○引き続き、障がい者支援機関や当事者団体と連携して、市民、企業、学校等へ障がい理解や差別解消の普及啓発を図る。併せて、「事業者による合理的配慮の提供が義務化」の周知を継続する。 ○松江市手話言語条例について、市報、手話教室などを通じ周知を継続する。
----	---	-----	---

健康福祉部障がい者福祉課 障がい差別のない共生社会推進事業費

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座		
	11月	障がい者差別解消推進委員会の開催		
	12月	障がい者週間における周知啓発及び表彰		
	実施時期調整中	初心者・こども向け手話教室		

本事業に関する主要データ	
○松江市障がい者差別解消推進委員会（設置根拠：松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例 平成28年10月1日施行）	
・差別解消や障がい理解の取り組みについての審議	
・差別事案の調査審議	
・合理的配慮や障がい理解推進に優れた事業所、団体の選考	
・委員構成（10名）	
島根県弁護士会、松江市身障者福祉協会、松江市手をつなぐ育成会、松江市精神障がい者家族会協議会、島根県立大学、松江人権擁護委員協議会、松江市医師会、松江公共職業安定所、市内特別支援学校、松江市相談支援事業所連絡協議会	
○あいサポーター研修（平成23年度～ 実施主体：島根県 委託先：島根県社会福祉協議会）	
誰もが、多様な障がいの特性や障がいのある方の困りごと、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、そして必要な時にちょっとした手助けができる”やさしくて温かい地域社会づくり”を目指し、島根県社会福祉協議会が県内の市町村社会福祉協議会と協力して「あいサポート運動」に取り組んでいる。「あいサポーター研修」は、この運動を進めていく人材の養成を目的とするもの。なお、子ども向けの研修も開催されている。	
○松江市手話言語条例とは	
・「手話が言語である」との認識に基づき、手話に対する理解の促進、普及及び手話を使いやすい環境の整備に関して基本理念を定め、市及び市民等の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策を総合的かつ計画的に実施し、全ての市民等が、障がいの有無にかかわらず、互いに尊重して支え合い、安心して暮らせる共生社会を実現することを目的とする条例。	
※手話言語条例制定自治体数	
39都道府県、21区、371市、128町、7村 計566自治体（令和7年3月26日現在）	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	195		
報償費	26		
需用費	854		
委託料	285		
負担金補助及び交付金	10		
事業費計		1,370	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
市民部市民生活相談課	まちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民活動・地域活動への市民の参画割合を高めるため、市民、NP0、企業、行政などが連携し、活動の裾野を広げる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		市民活動・地域活動への市民の参画割合％	54.8	65	65	65
	目標（何を達成するのか）	まちづくり推進事業参加者数	3,310	1,500	1,500	1,500
	市民活動・地域活動を市民、町内会・自治会、NP0、企業、行政などが共有する仕組みを確立し、活動への興味・関心・参画意識の醸成、意欲の増進を図る。					

事業概要	＜成功事例発表＞地域で既に実践されている先進的な市民活動・地域活動を共有し、他の地域への広がりを目指し、「まちづくりを考える日」を開催する。 ＜地域課題提案＞地域での新たな取り組みや、これまでの市民活動・地域活動の充実化について、多様な団体が一緒に考え、知恵を出し合う場として、「まちづくりでつながる日」を開催する。
------	---

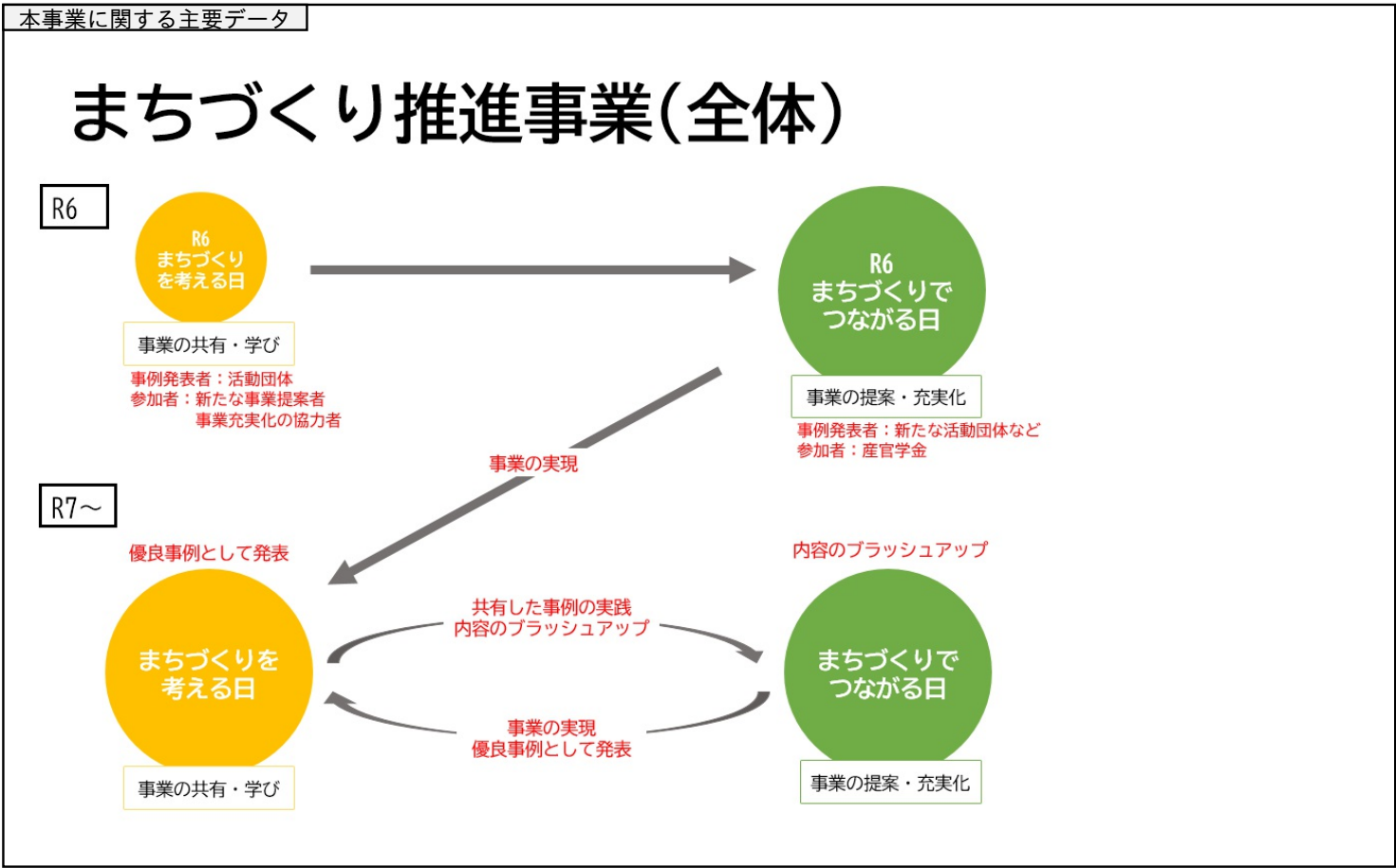
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○まちづくりを考える日の開催 実施日：令和6年7月31日（水） ○まちづくりでつながる日の開催 実施日：令和7年2月7日（金） ○市ホームページなどで情報発信を行い、市民、町内会・自治会、NP0、企業、行政などの協働・連携を促進	○まちづくりを考える日の開催 ○まちづくりでつながる日の開催 ○市ホームページなどで情報発信を行い、市民、町内会・自治会、NP0、企業、行政などの協働・連携を促進	○まちづくりを考える日の開催 ○まちづくりでつながる日の開催 ○市ホームページなどで情報発信を行い、市民、町内会・自治会、NP0、企業、行政などの協働・連携を促進
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		1,059	1,289
財源内訳	国・県支出金	957	961
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	102	328
歳入合計		1,059	1,289

課題	○より多くの市民、NP0、企業などに市民活動・地域活動を広げていく必要がある。	方向性	○地域課題の共有を図り、地域の実情や市民活動・地域活動の大切さを知っていただく。 ○先進的な取り組みや、ユニークな市民活動・地域活動について情報共有し、興味・関心をもっていただけるよう促す。 ○町内会・自治会連合会と連携して実施し、町内会などの事例発表や情報共有の場を設け、市民・地域間交流の活性化や、参加者の裾野を広げる。 ○市民、町内会・自治会、NP0、企業、行政などがつながる機会を設け、市民活動・地域活動についての情報共有や、実践へのきっかけづくりを行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	まちづくり推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	まちづくりを考える日		
	2月	まちづくりでつながる日		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	101		
旅費	4		
需用費	20		
役務費	48		
委託料	400		
使用料及び賃借料	716		
事業費計		1,289	